2024年度学生便覧(履修ガイド)

国際学部

在学中保存

※2024年4月時点の内容を掲載しています。 内容に変更がある場合は、公式ホームページ または、CHUKYO ALBO等にて案内します。





■ はじめに

中京大学での生活で守ってほしいことや、施設等の使い方を掲載。

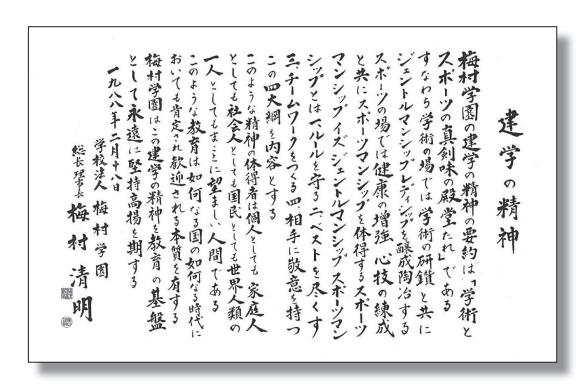
1	大学からのお知らせ	2
2	授業担当教員からのお知らせ	3
3	授業の取扱い·教務センター	4
4	履修登録(春学期·秋学期共通)	6
5	時間割·単位修得状況·成績·GPAの確認方法	8
6	試験	9

7	追試験	10
8	レポート	11
9	不正行為·義務違反·研究倫理	12
10	成績·単位認定	13
11	卒業·留年	15

■ 教育課程と資格課程

学部のカリキュラムや卒業要件、取得できる資格などを掲載。 必ず確認してから、履修登録をしてください。

1	教育理念·教育目標	18
2	カリキュラム概念	22
3	授業科目区分と単位制度	23
4	学科·専攻·専修一覧	24
5	進級要件と卒業要件	25
6	全学共通科目一覧表 (GLS専攻以外全専攻共通)	26
7	全学共通科目について	27
8	学部固有科目一覧表	28
9	学部固有科目の履修について	49
10	Honors Program / Plurilingual Program	54
11	4年間のスケジュール	56
12	学修相談・指導について	57
13	全学開放科目について	58
14	単位互換に関する包括協定の案内	59
15	大学院進学奨励学生制度について	60
16	資格課程	61
17	教職課程	62
18	日本語教師養成課程について	68
19	司書教諭課程	69
20	司書課程	70
21	学芸員課程	71
22	教育課程表一覧	73
23	履修計画表	79



建学の精神

「校訓・建学の精神」

校訓と建学の精神は、学校開設にあたって、次代を担う人材の育成を願い、創立者がその理念と気概を示したものです。わが国の教育で大きな役割を果たしている私立学校は、それぞれの校訓・建学の精神に基づいて教育活動を展開、個性豊かな教育の場として発展してきました。

梅村学園の校訓は、1923年(大正12年)、学校法人梅村学園の母体である中京商業学校の開校にあたり、創立者の梅村清光がその理念と気概をうたい上げたものです。また、中京大学が四年制大学となった1956年(昭和31年)に初代学長の梅村清明が建学の精神として具体化し、この精神は時代を超え、中京大学・中京大学附属中京高校に脈々と受け継がれています。

「建学の精神の四大綱」について

中京大学の創立者であり、初代学長の梅村清明(初代梅村学園理事長)は、建学の精神にうたわれた「学術の場」と「スポーツの場」のあり方について、次のように示しました。

「学術の場では学術の研鑽と共にジェントルマンシップ、レディシップを醸成陶冶する」。

学問に真摯、真剣に取り組むよう求めたうえに、男性も女性も人間としての人格陶冶が教育の理念であることを掲げました。大学が学術の殿堂、すなわち、知の集積拠点として教育・研究両面でその役割を高めていくことが目標であることはいうまでもありません。

「スポーツの場では健康の増強、心技の練成と共にスポーツマンシップを体得する」。

スポーツ各競技の技の向上をめざし、精神力を鍛錬するだけにとどまらず、スポーツマンシップとして、1)ルールを守る、2)ベストを尽くす、3)チームワークをつくる、4)相手に敬意を持つ、の四大綱の体得を求めました。そして、「このような精神の体得者は個人としても、家庭人としても、社会人としても、国民としても、世界人類の一人としてもまことに望ましい人間である」として、「このような教育は如何なる国の如何なる時代においても肯定され、歓迎される本質を有する」と、建学の精神を時空を超えた教育理念として堅持する気概を示しました。

大学からのお知らせ

教務センター/情報センター

大学からの連絡事項は、主に中京大学公式ホームページ、大学 Webシステム「CHUKYO ALBO |を通じて行われます。

また大学Webシステム「CHUKYO MaNaBo」を通じて、履修し ている授業ごとの連絡が授業担当教員から直接行われることもあり ます。在学中はこれらに毎日目を通し、大学や教員からのお知らせを 随時確認してください。

■お知らせの種類と手段

	中京大学公式 ホームページ	CHUKYO ALBO	CHUKYO MaNaBo
台風等緊急時における授 業等のお知らせ	0	×	×
大学全体に関するニュース	0	×	×
授業の休講·補講·教室変更	×	0	0
授業担当教員からの連絡	×	×	0
学生生活に関するお知らせ	0	0	×

中京大学公式ホームページ

URL https://www.chukyo-u.ac.jp/

個人ではなく不特定多数の方を対象にした情報を伝達します。

■スマートフォンからのアクセス

スマートフォンからは、次のURLもしくはQRコードから アクセスしてください。

URL https://www.chukyo-u.ac.jp/student-staff/



■中京大学公式ホームページトップページ



ポータルシステム[CHUKYO ALBO]

「CHUKYO ALBO」とは、授業履修方法や休講・補講・教室変更に 関する情報、奨学金・キャリアイベント・留学等も含めた学生生活全般 に関する情報の他、個別の学生呼び出し等、大学からの様々なお知ら せを伝達する大学Webシステムです。

またCHUKYO ALBOは、各種学生サービス(CHUKYO MaNaBo、m.mail等)を利用するための入口ともなります。 さらに 学生情報登録(変更)・履修登録・時間割・成績確認等もCHUKYO ALBOを通して行います。

対応期限が定められた重要なお知らせも、このCHUKYO ALBO を通じて随時届きます。 在学中は毎日ログインし、 見落としがないよ う、必ず内容を確認するようにしてください。

■ 利用可能時間

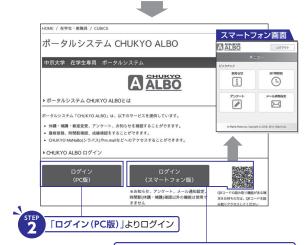
CHUKYO ALBOの利用可能時間は6:00~27:00です。

■ CHUKYO ALBOのログイン方法

ログイン方法 ログインには中京大学全学ID(CU_ID)が必要です。



「中京大学公式ホームページ」⇒「在学生の方」 ⇒「在学生メニュー」⇒「CHUKYO ALBO」をクリック



スマートフォンで「CHUKYO ALBO」を利用する際は、 「ログイン(スマートフォン版)」ボタンか 「QRコード」からログインしてください。 ※スマートフォン版からは履修登録できません。

CHUKYO ALBOトップ画面について



- ① CHUKYO MaNaBo・シラバス こちらから各種学生サービスを閲覧 できます。
- 2 m.mail

学生用メールシステム「m.mail」が確認 できます。

- ③ お知らせ 各項目のタブを選択すると、画面が切り
- 替わります。 ④ アンケート

各部署からのアンケートを確認できます。30分間操作をしない場合セッションタイ ムアウト(時間切れ)となります。

当日の時間割を確認できます。「休講」「補講」も確認できます。

数室変更の場合、 「授業変更」のアイコンが表示されます。

- ⑥⑦ 画面説明•操作方法 こちらからヘルプを参照ください。
- ⑧ 履修申請•成績時間割表確認 履修登録はここから行います 成績や時間割の確認もここをクリック

9 休講一覧/補講一覧 今後の休講・補講の一覧を確認できます。

⑩ 進路登録(希望)〈1~3年〉 進路登録(決定)(4年) 住所•連絡先変更(学生•保証人) こちらから行います。

授業担当教員 / 情報センター

教育支援システム「CHUKYO MaNaBo」

CHUKYO MaNaBoは、中京大学の教育支援システムです。オンラインによる授業受講で使用されるほか、授業担当教員から CHUKYO MaNaBo のお知らせを通じて受講方法や課題等に関する指示がなされる場合がありますので、授業期間中は毎日確認するようにしてください。

■CHUKYO MaNaBoでできること

オンラインでの授業受講

Webを利用して教材参照、レポート提出、小テスト受講、授業担当教員とのメール連絡等を行うことができます。

 授業担当教員からのお知らせの確認 授業担当教員からの受講者への連絡(課題提示、試験に関する案内、 休講等)を確認することができます。

・授業以外での利用 学部・学科内の連絡ツール、授業改善のためのアンケート、卒業論文 の提出、追試験申請、成績問合せ申請等を行うことができます。

■CHUKYO MaNaBo利用時間

CHUKYO MaNaBoの利用時間は、6:00~27:00です。

■動作推奨環境

	OS	ブラウザ
パソコン	Windows 10以上 macOS 12以上	Google Chrome / Microsoft Edge / Mozilla Firefox
スマートフォン/ タブレット	iOS 15以上 Android 12以上	Safari 15以上 Google Chrome 105以上

複数タブでの利用には対応しておりません。また、パソコンとスマートフォンなど2つ以上の端末からの同時利用にも対応しておりません。このような利用を行うと、授業の受講時にトラブルが発生する可能性があります。注意してください。

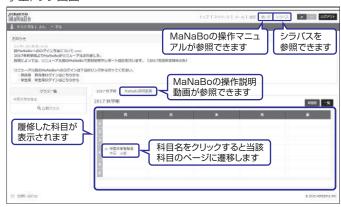
■MaNaBoのログイン方法

中京大学公式ホームページ→在学生の方→CHUKYO ALBO→ 教育支援システム(MaNaBo) にアクセスします。



■CHUKYO MaNaBo画面説明

学生トップ画面



※課題や資料など新着情報のある科目には「NEW」のアイコンが表示されます。

メール通知を設定しましょう!

よく使うメールアドレスを登録しておくことで各種お知らせなど重要な情報が自動配信されます。利用者自身でメールアドレスを登録する必要があります。CHUKYO ALBO Mailに登録することでMaNaBoにも同じメールアドレスが登録されます。

- ●授業2週目までは休講・補講・教室変更の情報が送信されない 場合がありますので、CHUKYO ALBO画面で確認してください。
- ●中京大学の学生ひとりに1つ与えられる「m.mail」のメールアドレスの登録を強くお奨めします。

■CHUKYO ALBOの利用ができる端末と情報の一覧

利用端末情報の種類	パソコン	スマートフォン等
お知らせ	0	A
申込 (アンケート)	0	0
休講・補講 教室変更	0	0

- …… 参照することができます。
- ▲ …… スマートフォン等の機種によって、添付ファイルや URLリンクを参照できない場合があります。
- ※登録したメールアドレスに届くCHUKYO ALBO Mailでは、発信部署、タイトル、内容が配信されますが、一部内容が参照できない場合があります。詳細は必ずCHUKYO ALBOで確認してください。

〈パソコン動作保証環境〉

OS: Windows 10,11

ブラウザ: Google Chrome Microsoft Edge 複数タブでの利用には対応しておりません。 Apple社製OSでの動作保証はしておりません。

授業の取扱い・教務センター

教務センター

授業実施方法

授業実施方法は、「面接授業」と「遠隔授業」に分類され、授業科目 によって異なります。

各授業の実施方法は、シラバス、時間割表、CHUKYO MaNaBo で確認することができます。

【面接授業】	対面での授業が全授業回のうち半数以上 (15回授業であれば8回以上が対面での授業)
【遠隔授業】	オンラインでの授業が全授業回のうち半数以上(15回授業であれば8回以上がオンラインでの授業)

授業時間(1時限90分)

授業時間はキャンパス毎に時間帯が異なります。

キャンパス時限	名古屋キャンパス	豊田キャンパス
1 9:00~10:30		9:30~11:00
2	10:45~12:15	11:10~12:40
3	13:10~14:40	13:30~15:00
4	14:55~16:25	15:10~16:40
5	16:40~18:10	16:50~18:20
+.>./107		
キャンパス時限	名古屋キャンパス	

教室番号の見方

Α В

C

教室は番号又はアルファベットで表示しています。

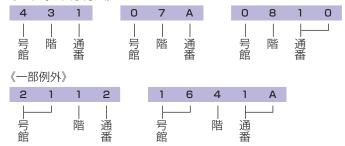
9:00~10:00

10:10~11:10

11:20~12:20

建物の場所については中京大学公式ホームページのキャンパス マップを確認してください。

《基本的な表示方法》



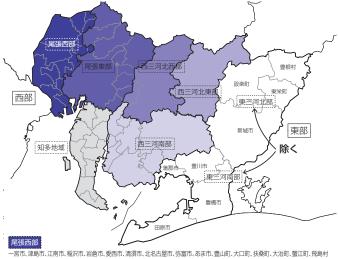
緊急時における授業等の取扱い

気象警報			
	発令されている場合	午前7時以前(7時を含む)に解除	1時限(A時限)より 平常通り授業
気象庁より 愛知県下		午前7時から(7時を含まない) 午前11時前(11時を含まない)に解除	3時限より平常通り授業
愛知県ト (東三河北部及び 東三河南部を除く) に暴風警報※1、 特別警報※2、 のいずれかが		午前11時以後(11時を含む)に解除	休講 ただし、夜間開講に ついては、16時以降 (16時を含む)に解 除の場合、休講
	場さ発 合れ令 た	直ちに授業を中止し、学生はすみやた	いに下校してください。
		南海トラフ地震	
	発令又は招集 発令又は招集 発表時	午前7時以前(7時を含む)に解除	1時限(A時限)より 平常通り授業
		午前7時から(7時を含まない) 午前11時前(11時を含まない)に解除	3時限より平常通り授業
地震情報の発表時		午前11時以後(11時を含む)に解除	休講 ただし、夜間開講に ついては、16時以降 (16時を含む)に解 除の場合、休講
	た招発令 場合 れ	直ちに授業を中止し、学生はすみやた	 かに下校してください。
法定伝染病、テロ等その他の災害			

暴風、大雨、大雪、又は地震による災害以外の災害(法定伝染病、爆破宣言、テロ、二次災害 等)が発生し、本学諸活動に支障があると判断した場合は、その都度、掲示・全学一斉放送 中京大学公式ホームページ等で指示する。

交通ストライキ			
JR東海、名鉄及び 名古屋市営バス・地下鉄	午前7時以前(7時を含む)に解除	1時限(A時限)より 平常通り授業	
のうちいずれか一つが ストライキを行っている	午前7時から(7時を含まない) 午前11時前(11時を含まない)に解除	3時限より平常通り授業	
場合	午前11時以後(11時を含む)に解除	全時限休講	

- ※1 暴風警報には暴風雪警報も含みます。
- ※2 特別警報のうち、大雨特別警報、暴風特別警報、暴風雪特別警報、大雪特別警 報のいずれかを対象とします。
- ※3公共交通機関の運休などの影響が出ることが想定される場合、気象庁から暴 風警報等の発令がなされる前に、休講等の措置をとることがあります。
- 注意 1. 上記の取扱い事項は、定期試験期間中及び集中講義期間中も適用され ます。
 - 2. 上記の取扱い事項は、オンデマンド型の遠隔授業等については、原則とし て適用されません。ただし、一部科目や授業の継続が困難な場合は休講 となる場合があります。
 - 3. 緊急時における休講は中京大学公式ホームページでお知らせします。



西三河南部

西三河北西部 豊田市西部、みよし市 西三河北東部 豊田市東部

岡崎市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、幸田町

知多地域

授業の欠席

本学には忌引・公欠の制度はありません。欠席する場合は、直接、 授業担当教員に申し出て指示に従ってください。授業欠席の取扱い については、授業担当教員に一任されています。なお、以下の点に 注意してください。

■30日以上欠席した場合

病気・ケガ(診断書が必要)等、その他正当な理由により授業を30 日以上欠席した場合は、教務センターで所定の用紙を受け取り、必要 事項を記入の上、教務センターへ提出してください(代理提出可)。

■教育実習・介護等体験の場合

教育実習等の履修にかかわる事情で授業を欠席する場合は、教務センター(教職支援係)で所定の用紙を受け取り、必要事項を記入の上、当該科目の担当教員に提出してください。

■就職活動の場合

就職活動や企業訪問等のために授業を欠席する場合は、その旨を 事前に当該科目の担当教員に申し出てください。キャリア支援課や 教務センターでは公欠願の証明等は一切しておりません。

休講

授業は、担当教員の都合により休講となる場合があります。休講については、原則としてCHUKYO ALBOで案内します ②
※メール登録をしておくとメールでもお知らせが届きます。

*>>>>3参照

※科目により、教員からCHUKYO MaNaBoを通じて直接指示がなされる場合があります。

補講

休講となった授業科目は原則振替授業として補講を行います。補講の実施日時・場所については、CHUKYO ALBOで案内します。

※メール登録をしておくとメールでもお知らせが届きます。

※補講が設定された日時において、別の授業の補講が重なる場合があります。担当教員に相談してください。 ▶▶▶ ₽3参照

※科目により、教員からCHUKYO MaNaBoを通じて直接指示がなされる場合があります。

教室変更

対面による授業実施科目に教室変更が生じた場合は、CHUKYO ALBOで案内します。€

★請・補講・教室変更などのお知らせがある場合は、CHUKYO ALBOにて連絡しますので随時確認してください。授業2週目までは、休講・補講・教室変更の情報はメール送信されない場合があります。CHUKYO ALBO「休講一覧」「補講一覧」又はCHUKYO ALBOトップ「時間割」画面にて確認してください。

教科書について

問合せ先:中京大学生活協同組合

■新入生

教科書の販売方法は、「学内特設会場での新入生向け一斉販売」を予定しております。販売日、販売時間等につきましては、生協ホームページで詳細をご案内します。

※感染症等の状況により販売方法がWeb注文→宅配になる可能性があります。

詳細は、中京大学生協ホームページでご案内します。

URL https://www.univcoop-tokai.jp/chukyouniv-coop/



■在学生

教科書の購入期間があります。中京大学生協のホームページの 教科書購入案内を確認の上、購入してください。

教務センターについて

■教務センターの主な業務

- 1. 履修登録に関すること
- 2. 授業及び休講・補講・教室変更に関すること
- 3. 試験に関すること
- 4. 成績・卒業見込証明書をはじめとした各種証明書の発行に関すること
- 5. 進級・卒業に関すること
- 6. 教職課程に関すること
- 7. 司書・司書教諭をはじめとした各種資格課程に関すること
- 8. 研究生・科目等履修生の願書受付に関すること

■開室時間と場所

‡E	1 7E	名古屋キャンパス	豊田キャンパス
場所		5号館1階	1号館1階
	平日	9:00~17:00	
開室時間	土曜日 (補講実施日のみ)	9:00~	12:30

※閉室日については、中京大学公式ホームページの学年暦(行事予定)を確認してください。

教務センターへの問合せ

教務センターの業務に関することについて問合せをする場合は、 以下の点に注意してください。

教員への連絡には応じられません。

教員への連絡はCHUKYO MaNaBoのメール機能を通じて行ってください。専任教員の研究室については、中京大学公式ホームページの研究室一覧を確認してください。

教員の電話番号やメールアドレスなど、個人の情報については一切教えられません。

電話による学生呼び出し・照会には、一切応じられません。

大学では、学生一人ひとりの所在について把握していません。したがって電話口への取り次ぎや学内放送は一切行いません。家族や友人に周知しておいてください。

友人の住所等は教えられません。

プライバシー保護の観点から、友人の住所等については一切教えられません。

4

教務センター

履修登録

履修登録とは、各自で時間割を作成し、履修しようとする授業科目 をパソコンを用いて登録することです。以下資料(①~④)を使用して、 時間割を作成します。

■履修登録時に使用する資料

- ①学生便覧(履修ガイド)※本冊子
- ②時間割表(中京大学公式ホームページで参照)

春学期・秋学期と各学期の時間割を作成する際に使用します。授 業科目の「曜日時限」や「担当教員」などが記載されています。 在学生へは3月中旬頃に中京大学公式ホームページにPDFで掲 載します。所属学部の時間割に記載されている科目が、ご自身の 履修可能科目になります。

③**シラバス**(中京大学公式ホームページで参照)

インターネットから閲覧することができ、履修登録をする際に、授業 内容等を確認するための重要な資料です。授業概要、目的、学修 到達目標、授業方法、成績評価方法・基準、教科書・教材・参考文献や 授業計画などが記載されています。

4 履修計画表(中京大学公式ホームページからダウンロード) CHUKYO ALBOで履修登録をする際に、時間割を組み立てるた めのフォーマットです。

※最終ページに掲載しています。

シラバス及び時間割表の参照方法

中京大学公式ホームページ→在学生の方→シラバス又は時間割表 にアクセスする



※シラバスはALBOからも参照することができます。

中京大学公式ホームページ→在学生の方→CHUKYO ALBO→シ **ラバス** にアクセスする



■参照可能時間

シラバスの参照可能時間は、6:00~27:00です。

シラバスのトップ画面



履修登録の注意事項

- ●卒業要件や授業内容を考慮し、慎重に履修科目の検討をしてくだ
- ●必ず履修登録期間・時間内に登録作業を行ってください。期間内 であれば変更可能です。

登録の日程については、中京大学公式ホームページの学年暦を確 認してください。なお、日程については、変更の可能性があります。 詳細な日時については、CHUKYO ALBOの「お知らせ」で案内し ますので、必ず確認してください。

- ・履修登録修正期間中に、正しく履修登録できているかを確認してく ださい。
- ●履修登録はパソコンにてCHUKYO ALBOを利用してください。 スマートフォンからも可能な場合がありますが、動作保証の対象外 です。
- ■履修登録修正期間を過ぎて科目の追加・取消を行うことはできま

<中京大学教務規程>(履修登録関連抜粋)

第4章 履修登録

(履修登録の手続)

第12条 学生は、学期ごとに履修する授業科目について、履修登録を行わな ければならない。

2 履修登録をしていない授業科目は、単位を修得することはできない。

(履修登録の無効)

第13条 同一曜日時限に行われる複数の授業科目は、重複して履修登録し てはならない。また、同一科目の同時履修や既に単位を修得した授業科目を 再度履修することはできない。

(履修登録単位数の上限)

第14条 学期ごとに履修登録できる単位数は、各学部・学科の定めるところ

(履修登録の条件)

第15条 履修登録できる授業科目は、原則として入学年度ごとに定められた 教育課程に設置されたもののみとする。

2 履修登録は、授業科目ごとに指定された履修可能な学年または班で行わ なければならない。

(履修者数制限)

第16条 授業内容や施設等の状況によって、履修者数を制限することがある。

(履修登録期間)

第17条 履修登録は、学年暦に定める期間に行わなければならない。

(履修登録修正)

第18条 履修登録後は、学年暦に定める履修登録修正期間に限り、履修登録 の修正を認める。それ以外の期間については特別の理由のない限り履修登 録の修正は認めない。

(履修登録取消)

第19条 負傷、疾病により長期にわたり履修が継続できない場合は、所定の 期間に限り、履修登録の取り消しを認めることがある。

(1)

履修登録 (一次申込)

□¹ P7参照

履修したい科目 をPC画面上で 選択し、申込みを してください。

※登録しても抽 選の結果で履修 できない場合が あります。

※各自のPCから登 録してください。

(2) 時間割開示

者多数の場合

抽選

(一次抽選結果) □ • P8参照

抽選結果を必ず 確認してください。

※抽選漏れした 科目は表示され ません。

※この時点で表 示されている科 目は確定です。

(3) 履修登録 (二次申込)

□• P7参照

者多数の場合、

抽選

一次抽選漏れし た部分を中心に、 再度履修したい 科目の申込みを してください。

※希望者多数の 場合、抽選となり ます(先着順では ありません)。

※各自のPCから登 録してください。

(4) 時間割開示

(二次抽選結果)

☐ P8参照

抽選結果を必ず 確認してください。

※抽選漏れした 科目は表示され ません。

※この時点で表 示されている科 目は確定です。

(5) 履修登録 修正

□ P7参照

一次抽選漏れした部 分を中心に、再度履 修したい科目の申込 みをしてください。

授

業

開

※この時点で申請 した科目は、抽選 にはなりません。 申請できれば確定 となります。

※履修登録修正可 能時間が学年によ り指定される場合 があります。詳しく はCHUKYO ALB Oにて案内します。

※各自のPCから登 録してください。

(6) 履修登録 修正

□• P7参照

授業が始まった 後、この期間中は 履修する科目の 申請·削除を行う ことができます。

※この時点で申 請·削除できれば 確定となります。

※各自のPCから登 録してください。

7 瞎間翓 確認

☐ P8参照

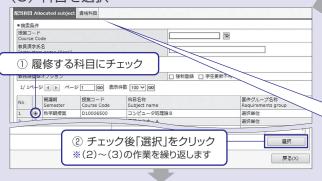
「⑥履修登録修 正」期間中、修正 を行うたびに、必 ず成績表·履修時 間割表PDFにて 自分の時間割を 確認してください。 (成績表·履修時 間割表PDFは、 出力時の情報が 表示されます。)

履修登録方法

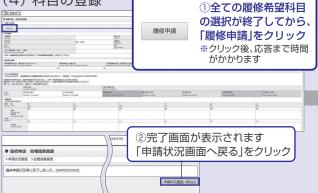
(1) CHUKYO ALBOから履修申請画面へ



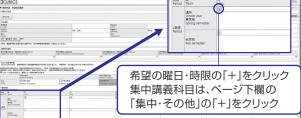
(3) 科目を選択



(4)科目の登録



(2)曜日・時限を選択



※(2)の画面が表示されない場合、下記の「事前準備/ 個人情報の登録」をご確認ください。



追加した科目を変更する場合、 「一」をクリックし科目を削除して ください。

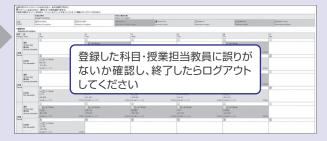


<u>/!</u>\

資格・教職課程の科目を選択 する場合、タブを切り替える 必要があります。

(5) 登録科目の確認

登録した科目の背景色が「黄色」⇒「オレンジ色」に変わります。 科目により抽選があるため、申請時期によっては確定ではない 場合があります。



教務センター

時間割・単位修得状況・成績・GPAの確認方法

(1) 成績時間割表確認画面へ

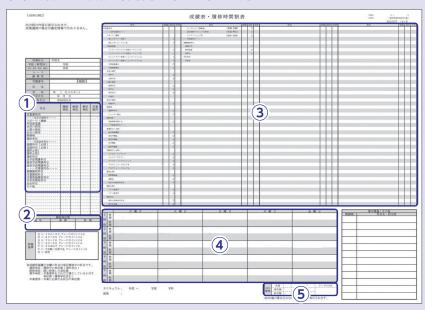


(2) 成績表・履修時間割表出力へ



※(2)の画面が表示されない場合、下記の「事前準備/進路情報の登録」 をご確認ください。

(3) 成績表・履修時間割表(PDF)の表示



閲覧できなくなる期間があります。

表示したらスクリーンショットを撮るか、プリントアウトするなどして保存して ください。

① 単位修得状況欄

現在の履修・修得状況と、卒業に必要な各 区分の単位数が表示されます。

② 履修単位数

履修中の単位数が表示されます。 通年科目は、2で割った数値が学期ごとの 履修登録制限単位としてカウントされます。 例)通年4 春期20 → 春は22単位としてカウント

③ 履修·修得科目一覧

現在履修している科目、これまでに履修した 科目とその成績が一覧で表示されます。

④ 履修時間割表

登録している時間割が表示されます。

- ※出力時の情報が表示されます。
- ※時間割はMaNaBoでも確認可能です。
- ※集中講義科目は、右下「集中講義・その他」 欄に表示されます。

⑤ GPA欄

トータルGPA及びセメスターごとのGPA が表示されます。

集中講義

教育効果を上げるため短期で行う授業のことです。開講科目・開 講日時・場所については、時間割表又はCHUKYO ALBOの「お知ら せ」で案内します。履修登録を忘れずに行ってください。

遠隔授業の修得単位について

法令では、通学制大学の学部授業において、遠隔授業 ♪>> P4参照 に位置づけられる授業で修得した単位は卒業所要単位のうち 60 単 位までしか認められないこととされており、本学の学則第 51 条第4 項にもその旨が定められています。履修しようとする授業が遠隔授 業か否かはシラバスで確認できます。卒業所要単位のうち遠隔授業 による修得単位数がどれくらいかは自身で管理する必要があります。

試験の種類

■定期試験

学年暦に定める定期試験期間に行う試験です。

■追試験

疾病その他やむを得ない事由により定期試験を受けることができなかった学生に対して行う試験です。

受験の条件

- 1. 履修登録した授業であること。
- 2. 当該授業の総授業回数の3分の2以上出席していること。
- 3. 学費が納入されていること。

〈受験上の注意(対面による試験〉

- 1. 監督者の指示に従ってください。
- 2. 一人おきに着席してください。
- 3. 学生証を机上に置いてください。学生証を持っていない場合は受験することができません。試験開始前までに学生支援課で仮学生証の発給を受けてください。
- 4. 筆記用具及び持込を許可された資料等以外は全てカバンの中に入れてください。
- 5. スマートフォンや携帯電話等を時計代わりに使用することはできません。時計型のウェアラブル端末など時間を計る以外の機能を持った時計の使用も禁止です。また、ノートパソコン・タブレット等を使用することはできません。これらの機器の電源及びアラームを切ってカバンの中に入れてください。
- 6. 机上に文字・図形・符号等を書かないでください。また既に記載されていた場合は消してください。
- 7. 遅刻者の入室は試験開始後20分まで認めます。それ以降の入室は認めません。
- 8. 試験開始後30分を経過しなければ退室は認められません。なお、試験終了時まで再入室はできません。
- 9. 退室する場合は他の学生の迷惑にならないよう静かに退室してください。
- 10. 試験中の物品貸借や私語は禁止します。
- 11. 答案の提出は必ず各自で行ってください。
- 12. 答案は無解答でも提出してください。なお、試験場から外へ持ち出すことはできません。
- 13. 病気・ケガ等で指定された試験場において受験できないと思われる場合は、あらかじめ教務センターへ申し出て指示を受けてください。
- 14. 受験者以外は試験場内へ立ち入ることはできません。

試験時間帯〈1時限60分〉

試験は、1時限60分です(定期試験・追試験共通)。

時限	時間(名古屋・豊田キャンパス共通)
1	9:30~10:30
2	11:00~12:00
3	13:00~14:00
4	14:30~15:30
5	16:00~17:00

A時限、B時限及びC時限の定期試験及び追試験を行う時間帯は、1時限又は2時限とします。

定期試験

■定期試験実施期間

定期試験は春学期と秋学期の年2回実施します。

■定期試験時間割

試験内容や実施方法は、授業担当教員から授業内又はCHUKYO MaNaBoより確認してください。

対面による定期試験を実施する授業科目の一覧を試験の約1週間前に発表します(中京大学公式ホームページ等にて公開)。

オンラインによる定期試験等を実施する授業もありますので、授業担当教員からの連絡を必ず確認してください。

- ※定期試験は、通常授業と異なる教室で行う場合があります。
- ※試験における持込参照物や試験範囲に関する発表は教務センターやCHUKYO ALBOでは行いません。授業中又はCHUKYO MaNaBoより授業担当教員からの連絡を確認してください。
- ※定期試験におけるレポート提出については「レポート」 ▶▶▶ P11 参照 を確認してください。

7

追試験

教務センター

追試験

■追試験

疾病その他やむを得ない事由により定期試験を受けることができ なかった学生に対して行う試験です。

定期試験を正当な理由により欠席した場合は、追試験の申請を 行ってください。

定期試験期間外の試験欠席については、各自で授業担当教員から 直接指示を受けてください。

追試験を欠席した学生や不合格となった学生に対して、再度追試 験は行いません。

《対象授業》

- ・定期試験期間中に対面による試験を実施した授業
- ・定期試験期間中にオンラインによる試験を実施した授業の中で 追試験対象と指定された一部の授業(CHUKYO ALBO「お知 らせ」等で案内予定)
- ※上記以外の授業で試験を受けられなかった場合は、授業担当教 員に直接連絡してください。
- ※対象授業は変更となる可能性があります。

《手続方法》

欠席した当該授業の試験日の翌日から数えて7日以内に、 CHUKYO MaNaBoから申請してください。(申請方法の詳細は CHUKYO ALBO「お知らせ」等で案内予定)

《CHUKYO MaNaBoで提出する書類》

欠席理由・欠席日を証明できる書類(下記参照)の画像データ ※書類に学籍番号と氏名を明記してください。

《受験資格》

欠席理由が以下の①~⑥のいずれかに該当するものを認めます。

欠席理由	必要書類
①公共交通機関の事故·故障等 による不通又は遅延	公共交通機関の発行する事故· 遅延証明書
②病気又は負傷	医療機関の発行する診断書 ※欠席した期間が記載されているもの
③親族(3親等以内)の死亡 又は葬儀	死亡診断書の写し又は葬儀日程 のわかる文書
④本学の代表として出場する 競技大会又は全国レベル 以上の大会への出場	当該大会のプログラム又は 参加を証明する文書
⑤就職活動における筆記試験 又は面接試験等	試験日等を明示した文書等 ※選考に影響しない、企業説明 会、インターンシップは追試験 申請の対象となりません。
⑥その他、正当な理由として 教授会が認めた事項	受験できなかった理由を証明する文書又は証明可能な書類

- ※自家用車を利用して遅延した場合は、証明することができないため、 欠席や遅刻理由として認められませんので注意してください。
- ※パソコンの故障や通信障害などの事由による申請は認めません。 パソコンの動作確認を試験前に必ず行ってください。

《実施日》

実施期間は、中京大学公式ホームページの学年暦(行事予定)で確 認してください。

実施有無・日時・試験方法は、CHUKYO ALBO 「お知らせ」等で案 内します。実施する場合、日時は原則、「授業と同じ曜日・時限」を適 用します。

※授業により必ずしも実施するとは限りません。

通常評価〈S·A·B·C·D·F〉となります。

レポートの種類

- 1. 授業中に課題として提出するレポート
- 2. 試験に代わるレポート
- 3. 単位申請の課題として提出するレポート

作成にあたっての禁止事項

- 1. 他人の著作物やWeb上の情報等を参照・引用したにもかかわらず、 引用部分の明示や出典の記載もなく、自身で作成したように記述 してはいけません。
- 2. 他人が作成したレポートを自分のものとして提出してはいけません。
- 3. 他人に依頼し作成されたレポートを自分のものとして提出しては いけません。
- 4. 他人に依頼されてレポートを作成してはいけません。
- 5. 転記目的で他人が作成したレポートの提供を受けてはいけませ ん。また、自身が作成した論文・レポートを転記目的で他人に提 供してはいけません。
- 6. その他、論文・レポートの公平性を損なう行為をしてはいけません。

提出時の注意

レポートは、テーマ、枚数、提出期限など異なりますが、以下につい て特に注意してください。

- 1. テーマ、科目名、授業担当教員、学部、学科、学年、学籍番号、氏名 を記載してください。
- 2. 一度提出したレポートは締切日前であっても加筆・修正はできま
- 3. その他提出方法・期間等、詳細は授業担当教員の指示に従ってく ださい。

①《定期試験期間内にレポートを教室で提出する場合》

定期試験時間割で指定された日時・教室にて提出してください。 試験開始後20分までに指定教室に入室しなければ提出できません。

②《教務センターレポート回収ボックスに投函する場合(豊田キャン パス)》

提出場所として回収ボックスが指定された場合のみ投函できます。 投函口は科目指定ですので間違いのないよう投函してください。な お、一度投函されたレポートは返却できません。

不正行為·義務違反·研究倫理

教務センター/研究支援課

不正行為·義務違反

■不正行為について

定期試験において不正行為(「中京大学試験規程」参照)をした場 合、当該定期試験期間中に受験した全科目(レポート科目を除く)の 成績評価は「F」(不受験)となり、さらに有期停学の処分が課されま す。また、追試験を受験することもできません。

その他の試験やレポート等において不正行為(「中京大学学生懲戒 規程 | 参照)をした場合、別表に基づき、懲戒処分を受けることになり ます。

■義務違反について

定期試験において義務違反(「中京大学試験規程」参照)をした場 合、当該試験科目の成績評価は「F」となります。 また、当該科目の追 試験を受験することもできません。

《中京大学試験規程》(一部抜粋)

(定期試験の不正行為)

第9条 定期試験における不正行為とは、その本分に違反して受験し た者及びさせた者の行為が次の各号に該当する場合をいう。

- (1) 受験科目の内容を記入した物品等の所持
- (2) 通信機能又は文字、画像等の記録、閲覧等の機能を有した機器 の所持
- (3) 答案用紙等の交換及び貸借
- (4) 机上等に受験科目の内容を記入していた場合
- (5) 本人以外の者が受験した場合
- (6) 他の者の答案を写した場合
- (7) 試験場外から答案用紙を持ち込んだ場合
- (8) 参照を許可されていないノート・教科書等を見た場合
- (9) 口頭等による答案の授受
- (10) 参照を許可されているものを貸借した場合
- (11) 前各号の検証のための指示に従わなかった場合
- (12) 試験監督者の監督業務を著しく妨害した場合
- (13) その他前各号に準ずる行為

(不正行為の懲戒)

第10条 定期試験において不正行為を発見したときは、教務委員会 で審議し、不正行為を行った者が所属する学部教授会において懲戒を 決定する。この場合の懲戒は、有期停学とし、かつレポート科目及び 定期試験期間外に実施される試験を除き、当該学期の定期試験期間 中に定期試験が実施された全授業科目の成績評価をFとする。なお、 春学期定期試験期間中に定期試験が実施された通年科目の成績評価 もFとする。

(定期試験の義務違反)

第11条 定期試験における義務違反とは、次の各号に該当する場合 をいう。

- (1) 試験に使用する用紙が所定の用紙でない場合
- (2) 第9条第11号及び第12号の場合を除き、試験監督者の指示に 従わない場合
- (3) 受験時、自己の学生証を机上に提出しない場合
- (4) その他前3号に準ずる場合

(義務違反の懲戒)

第12条 定期試験において義務違反を発見したときは、教務委員会 で審議し、義務違反を行った者が所属する学部教授会において懲戒を 決定する。この場合の懲戒は、当該試験科目の成績評価をFとする。 なお、通年科目については、第10条に準ずる。

《中京大学学生懲戒規程》(一部抜粋)

(懲戒の対象となる行為)

第5条 懲戒の対象となる行為は、次に掲げるものとする。

- (1) 刑事法上、処罰の対象となる行為(犯罪行為)
- (2) 重大な交通法規違反行為
- (3) ハラスメント行為
- 情報倫理に反する行為 (4)
- 研究倫理に反する行為 (5)
- 他の学生の学修、研究、教職員の教育研究活動等を妨害する行
- (7) 試験等における不正行為
- 論文等の作成における学問的倫理に反する行為
- その他学生としての本分に反する行為
- 2 懲戒の対象となる前項各号に規定する行為の例は別表に定める。
- 3 第1項各号について、別に規程が定められている場合は、その規 程に従う。

別表(第5条関係)

区分	第5条第1各号に規定する行為の例	懲戒の標準例
	本学が実施する試験(定期試験を除く) 等におけるカンニング等の不正行為	停学又は戒告
試験 · 論文等 不正行為	本学が実施する試験(定期試験を除く)等において、監督者の注意又は指示に従わなかった場合	停学又は戒告
	論文・レポートの作成等における剽窃、 無断引用等の悪質な行為	停学又は戒告

なお、オンラインでの定期試験における禁止事項等については、定期 試験期間前にCHUKYO ALBOにて配信しますので確認してください。

研究倫理

学生であっても、研究活動に従事するときは、研究者に準ずるものとし て扱われますので不正行為にならないよう、十分に注意をはらう必要があ ります。例えば、卒業論文のための研究や、論文執筆において下記の不 正があった場合は、意図的でなくても処罰の対象となる場合があります。

■研究における不正行為

ねつ造

存在しないデータ、研究結果等を作成すること。

改ざん

研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動に よって得られた結果等を変造又は偽造すること。

盗用

他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又 は用語を、当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用すること。

《中京大学研究倫理規程》(一部抜粋)

(象校)

第2条 研究者とは、本学の専任の大学教員のみならず、本学におい て研究活動に従事する者をいう。なお、学生であっても、研究活動に 従事するときは、研究者に準ずるものとする。

(告発等への対応)

第20条 本学は研究倫理に関して、相談、告発等がある場合、適切な 措置を講ずる。

(懲戒)

第22条 研究者は、第20条に規定する措置の結果によっては、「学 校法人梅村学園懲戒規程」に従い処分されることがある。

2 前項において、研究者が学生である場合には、「中京大学学生懲 戒規程 |に従い処分されることがある。

成績·単位認定

教務センター

成績評価基準

成績評価は、担当教員の評価方法・基準によって、試験(筆記・口頭・実技等)、レポート、授業参加状況等に基づいて行われます。 成績評価基準は次のとおりです。

区 分	評 語	得点	グレード ポイント(GP)	評価内容 (英文内容)
	S 100~90点 4.0		4.0	学習目標をほぼ完全に達成している (Excellent)
	А	89~80点	3.0	学習目標を相応に達成している (Very Good)
合 格	В	B 79~70点 2.0		学習目標を相応に達成しているが、不十分な点がある (Good)
	С	69~60点	1.0	学習目標の最低限は満たしている (Pass)
		_	本学以外で修得、又は資格を取得したもので本学が単位認定したもの (Credit given under Credit provision)	
		0.0	学習目標の最低限を満たしていない (Fail)	
不合格	F	不受験	0.0	成績評価要件を満たしていない(試験不受験、課題未提出、出席不足等) (Withdrawal)

GPA

GPAとは、Grade Point Averageの略称であり、成績評価を数 値化したものです。4.0~0.0という数字で表され、この数値が高い ほど優秀な成績を修めているということになります。

《GPA導入の目的》

- ①大学教育における成績評価基準の標準化
- ②厳格な成績評価による教育効果の向上

《GPA算出式》

成績評価をグレードポイントで置き換え、単位数をかけたものの総 和を履修登録単位数で割って求めます。

> 4.0×Sの修得単位数 + 3.0×Aの修得単位数 + 2.0×Bの修得単位数 + 1.0×Cの修得単位数

GPA = -

総履修登録単位数(DやFの単位数も含む)

- ※全学共通科目·学部固有科目がGPA算出の対象となります。 N(認定された単位)及び自由科目の単位は計算式に含みません。
- ※GPAの値は、小数点第4位を切り捨て、小数点第3位までの数値 で表示します。
- ※要卒単位を超えて単位認定された科目は、単位集計表上、自由科 目に区分されますが、GPA算出の対象となります。

《GPAの運用》

GPAの値を指標として、教育奨励賞の対象者や卒業式での成績優 秀表彰者の選考等を行っています。

学習意欲を高めるために、各学期の成績が確定後、GPAの分布と 平均値を公表しています。また、GPAの値に基づき、選抜等を行う 科目もあります。

成績開示

《春学期科目》

8月にCHUKYO ALBOで開示します。

開示日は中京大学公式ホームページの学年暦(行事予定)で確認 してください。

《秋学期科目·通年科目》

2月にCHUKYO ALBOで開示します。

開示日は中京大学公式ホームページの学年暦(行事予定)で確認 してください。

《成績問合せ》

成績評価に関する問合せは、各学期の成績開示後に受け付けます。 問合せ期間及び方法等の詳細についてはCHUKYO ALBOの「お知 らせ」で発表します。

ただし、成績評価が妥当でない理由を具体的に事実に基づいて立 証することができないものや、成績の再考や救済を求める内容のも のは一切受け付けません。また、個々の判断でMaNaBoメールなど を通じて授業担当教員に直接問い合わせることはできません。成績 に関する問合せはすべてこの制度を利用してください。

《その他》

教育後援会より5月と10月に「成績表・履修時間割表」を保証人 宛に送付します。

また、成績不振などの場合に教務センターより保証人宛に成績表・ 履修時間割表等を送付する場合があります。

成績·単位認定

教務センター

単位集計表の見方

例)		7	8	9	O
	区分	履修 単位	既修 単位	要卒 単位	卒業 要件
0	卒業要件内	24	96	120	124
2	全学共通科目	2	46	44	44
	教養発展科目	0	2	2	2
	英語基礎A·B	0	4	4	4
	第二外国語基礎A·B	0	4	4	4
	スポーツ・健康(実技)	0	2	2	2
	スポーツ・健康(講義)	0	2	2	2
	自然の探究	0	4	4	4
	人間の探究	0	4	4	4
	社会の探究	2	10	4	4
	複合領域	0	6	4	4
	選択単位	0	8	14	14
3	フロート単位	0	0	6	6
4	学部固有科目	22	50	70	74
	必修科目	4	12	16	20
	選択科目	18	38	54	54
6	卒業要件外	2	2	4	
	教職課程科目	2	2	4	
	司書課程科目	0	0	0	
	司書教諭課程科目	0	0	0	
	学芸員課程科目	0	0	0	
6	自由科目	0	0	0	
	その他	0	0	0	

※集計方法は中京大学ホームページを確認してください。

● 卒業要件内

卒業要件に算入される単位数の集計欄です。

2 全学共通科目

全学共通科目における各科目区分ごとの集計欄です。

3 フロート単位

全学共通科目と学部固有科目の区分で修得した単位のうち、各区 分の卒業要件を超過した単位数がフロート単位になります。なお フロートの卒業要件を超過すると自由科目の単位となります。

※フロート単位を設定している学部は、国際学部(18単位)及び心 理学部(8単位)のみです。その他の学部には、フロート単位の 概念はありません。

4 学部固有科目

学部固有科目における各科目区分ごとの集計欄です。

6 卒業要件外

教職課程科目及び他の資格科目の集計欄です。

6 自由科目

この表における自由科目とは教職・資格科目単位以外で、卒業要 件に算入されない単位数です。

7 履修単位

履修登録している単位数(通年科目を含む単位数)

8 既修単位

すでに修得した単位数

9 要卒単位

卒業に必要な単位数をどれだけ満たしているかを示した単位数 ※履修中の単位数(● 履修単位)を含みます。要卒単位は、履修単 位がすべて合格すると仮定して算出した数字のため、履修科目が 不合格となった場合には、要卒単位の数字がその分だけ減ります。

① 卒業要件

卒業に必要な各区分の単位数

Point!

- 「⑨ 要卒単位 |の数値は、「⑩ 卒業要件 |の数値を 超えることはありません。
- 「⑨ 要卒単位」と「⑩ 卒業要件」の数値が等しい場合 は、履修登録中の科目の合格を前提として、その区 分については卒業のために必要な要件を満たして いることを意味します。

教務センター/財務課

卒業

卒業は、秋学期終了時において、卒業要件を満たした場合に、各学 部教授会によりその可否について判定されます。その結果は3月上 旬にCHUKYO ALBOの「お知らせ」で連絡します。卒業式の案内 は3月中旬に保証人宛に送付します。

春学期卒業

春学期終了時において、以下の卒業要件を満たした場合は、各学 部教授会による卒業判定後、春学期卒業(9月卒業)となります。そ の結果は9月中旬までにCHUKYO ALBOの「お知らせ」で連絡しま す。卒業式の案内を9月中旬に保証人宛に送付します。

《卒業要件》

- 通算4年(8セメスター)以上の在学(在学期間に休学は含みません)
- 4年次に2セメスター以上の在学
- 各学部・学科で定められている卒業要件(卒業所要単位、その他要 件等)の充足

■卒業延期

春学期卒業(9月卒業)の延期(翌年3月卒業)を希望する場合は、 期限までに教務センター窓口で「卒業延期願」に必要事項を記入の 上提出し、秋学期分学費を納入してください。

卒業延期願の 提出期限	8月末日頃 (詳細はCHUKYO ALBOの「お知らせ」で 案内します)
卒業延期願の提出先	教務センター

《注意事項》

秋学期の履修登録が必要です。ただし、必ずしも単位を修得する 必要はありません。

《納入する学費》

該当学年に適用される納付金額と同額。

留年

進級や卒業に必要な要件を満たさなかった場合は、その学年に留 年となります。卒業せずに留年となった場合は、文書をもって、その 旨を保証人宛に通知します。

- ※秋学期に進級することはありません。
- ※各学部の要件については学生便覧(履修ガイド)【教育課程と資格 課程】の「進級要件と卒業要件」を参照してください。

《納入する学費》

該当学年に適用される納付金額と同額。

memo

国際学部

教育課程と資格課程

教務センター

教育研究上の目的

【国際学部】

グローバル化の進展に伴い、現在の国際社会では人もモノも情 報も自由に往来することが可能となっている。従来の「国境」という 概念が変化し、かつては複数の独立した主権国家で構成されていた 地域が、今では一つの連邦国家ともいえるほどの状態にまで至って いる。こうして、異なる歴史や文化的伝統を持つ人々が、ともに一 つの社会で生活していくという、多様性を前提とした社会が生まれ ている。他方、世界各地で排他的なナショナリズムが高揚し、文明 の衝突と言われる現象も現れている。世界全体が激動している現在、 対応すべき課題・問題は複雑かつ多様化していることが多く、一つ の学問領域に基づいて追究することは難しい。また世界の多様性へ の理解が求められている現在、母語の言語能力しか持たない人材が 様々な課題に取り組んでいくことは困難である。そこで本学部は、 グローバル社会における複雑な課題・問題に取り組んでいくために、 「人」の行動や「社会」の動きを様々な学問領域から研究・学修し、複 言語能力の涵養に努め、国際社会が直面する諸課題を多面的に追 究し、解決に取り組むことができる知識・能力を身につけた人材を 養成する。

〔国際学科〕

現在の国際社会は、冷戦終了後に噴出した民族紛争、テロの多 発など、様々な課題を抱えている。そうした課題は政治的、経済的 あるいは歴史的なものなど多岐にわたっており、対応する主体も国 連のような国際機関から国家、あるいは各種のNGOなど多様であ る。またグローバル化の進展だけでなく、高度の情報化や産業構造 の変化など、国際社会との密接な関係の中で生きていく日本にとっ て、国際経済の動向やそこで行われるビジネスの内容などに関する 高度な理解が求められている。そこで本学科に国際人間学専攻、 国際政治学専攻、国際経済学専攻、Global Liberal Studies専攻 を置き、英語を中心とした複言語能力を涵養するとともに、各専攻 の視座から人文学、社会科学等の多面的な学問領域を教授すること によって、国際社会が直面する様々な課題・問題に取り組める知識・ 能力を身に付けさせ、世界で活躍できるグローバル人材を育成する。 グローバル化の進展だけでなく、高度の情報化や産業構造の変化 など、国際社会との密接な関係の中で生きていく日本にとって、国 際社会における政治・経済の動向やそこで行われるビジネスの内容 などに関する高度な理解が求められている。したがって本学科は、 国際社会の的確な現状理解をベースに、多様な人々と円滑なコミュ ニケーションができる能力を有し、複雑な諸課題に対応できる高度 な専門的知見と技能を有する人材を養成する。

〔言語文化学科〕

言語・文化の多様性と普遍性の理解を深めることをその学びの中 心とし、複言語・複文化学専攻と英米学専攻の二つの研究コースに おいて、中京大学の建学の精神に謳われる「学術を通した人格陶冶」 を実現すること、真のグローバル精神を涵養することを目的とする。 特に、言語・文化のスペシャリストになるために必要な高度な専門 的知識と教養を身につけること、及びジェネラリストになるために必 要な広範で深遠な知識と教養を身につけることを目的とする。多様 な文化的価値観が混在する社会のなかで、複数の言語やその背景 となる文化的社会的知識を用いて、人々との「共生」を導くことがで き、言語や文化という人間活動の根本を探求しながら、現代社会の 諸問題を解決する努力を怠らず、社会の様々な要請にも言語文化 の知見を活かして挑み続けることができる自律的学習者、並びに言 語研究・文学研究・文化研究等の専門家を養成する。

学位授与の方針

国際学部国際学科及び言語文化学科は、教育研究上の目的に基 づき、定められた課程を修得し、関連分野の研究テーマに関する卒 業論文を作成・提出し、審査を受けて合格に達した者に対して、学士 (国際学)の学位を授与します。

以下に達成の基準である学修成果を示します。それらは、国際学部 に共通する基準、各学科の基準、そして、各専攻の基準により構成 されます。

<学修成果(教育目標)>

■国際学部共通の基準

- 1. 学究的な思考方法に基づいて、理論的な考察と学際的な研究を 深め、その知識を国際社会で活用できる能力を有している。
- 2. 国際社会の諸課題に取り組む様々な組織の中で、チームワーク を重視するとともにリーダーシップを発揮できるマネジメント能 力を有している。

●国際学科共通の基準

- 1. 英語に関する高い運用能力を持ち、国際社会の多様性を認識し て相互のコミュニケーションを円滑に行うことができる。
- 2. 複言語能力の涵養に努め、多種多様な言語・文化を持つ人々と 交流できる。
- 3. グローバリゼーションの進展によって多様化・複雑化する国際社 会の諸課題について、対応するために必要な人文科学・社会科 学を多面的に学修し、専門的知見や技能を活用できる。

●国際学科各専攻の基準

≪国際人間学専攻≫

- 1. 哲学や思想、人間学、歴史学に関する重要文献や資料を正確に 読解するために必要な論理的思考力と日本語力、語学力を身に 付けている。
- 2. グローバル化、科学技術の進展によって深刻化する現代の国際 社会の重要課題を主体的に考察しつつ、人間や社会のあり方を 哲学的・歴史学的な観点から批判的に問い直すことができる。
- 3. 東西諸文化の差異や特殊性とその中での日本の位置を、思想や 歴史の視点から理解するとともに、人類に共通するグローバル な普遍性を探求する、開かれた対話的な態度を身に付けている。

≪国際政治学専攻≫

- 1. 国際社会の諸問題を理解できるように、国際政治学・国際開発 学の基本的な知識を有している。
- 2. 世界の課題や問題の原因を見出し、それらを解決するための方 策をグローバルな視野で考え、チームの中で主体的に行動する ことができる。
- 3. グローバリゼーションのなかで問題解決に必要となる適切な情報 を収集し、論理的に議論することができる。

≪国際経済学専攻≫

- 1. グローバル化が進む国際社会の中で活動する企業、消費者、政 府といった様々な主体の行動や相互依存関係やそれらが社会に 及ぼす効果を定性的かつ定量的に分析し、グローバル社会にお ける経済主体間で生じる課題・問題を解決できる能力を身に付 けている。
- 2. グローバル社会の中で活動する企業の経営管理や経営戦略につ いて、理論や数量的スキルを用いて定性的かつ定量的に分析し、 企業が抱える課題・問題を解決できる能力を身に付けている。
- 3. 多様な文化的背景を持った人々との開かれた対話を通じ、組織 運営を行う能力を有している。

≪Global Liberal Studies専攻≫

- 1. Students will have attained a global perspective on contemporary issues.
 - 現代の諸問題についてグローバルな視点を獲得している。
- 2. Students will be able to engage, both orally and in writing, in the critical analysis of global issues. グローバルな問題の批判的分析に会話でも論文でも取り組むこ とができる。
- 3. Students will have achieved a high level of proficiency in Japanese.
 - 日本語の高度なプロフィシェンシー(熟達度、運用能力)に達して いる。

●言語文化学科共通の基準

- 1. 「言語文化の専門家」という立場から、社会における様々な事例 に対し、自らの意見を世界に向けて発信することができる。
- 2. 言語文化に関する広範で深遠な知識と教養を活かし、その時々 の社会的文化的文脈に応じて、しなやかに対応することができる。
- 3. 英語やその他の外国語を用いて国際社会の様々な場面に適切に 対応できる外国語運用能力を有している。

●言語文化学科各専攻の基準

≪複言語・複文化学専攻≫

- 1. 複言語・複文化能力の向上に努め、多種多様な言語・文化を持 つ人々と交流できる。
- 2. 世界の様々な言語・文化の多様性と普遍性を深く認識し、母語・ 母文化・アイデンティティを相対的に捉えることができる。
- 3. 多種多様な言語・文化を持つ世界の人々との協働を通じて、多 様なイノベーションの創出・問題解決・情報共有・相互理解を促 進するファシリテーション能力を有している。

≪英米学専攻≫

- 1. リンガ・フランカとしての英語のあり方を前提として、実際的に 英語を使用し、広く多様な国際コミュニケーションを円滑に行う ことができる。
- 2. 英語という言語に対する体系的理解を深め、英語教育者・実務 翻訳家・通訳者等になるために必要な専門的能力を身に付けて
- 3. 単に英語圏の文化や文学・歴史のみならず、多くの英語圏の国々 と日本の文化や文学・歴史との比較も含めて学修し、英語圏文 学・文化の多様性と、ナラティヴという切り口から国際社会のあ り方や成り立ちを複眼的かつ体系的に理解できる。

教育課程編成・実施の方針

国際学部は、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づいて教 育課程を編成し、効果的な教育方法を実践します。

本学部では、グローバル社会における複雑な課題・問題に取り組 んでいくために必要となる複言語能力の涵養に努め、「人」の行動や 「社会」の動きを様々な学問領域から学修します。

それを実現するために、以下のとおりの教育課程を編成します。

<専門教育課程の構成(国際学部共通事項)>

- 1. 学部の共通言語を日本語と英語とし、日本語を母語とする学生 には1年次第2セメスターにおいて英語圏留学を必修とする。ま た、1年次から2年次にかけて、英語の運用能力だけでなく、英 語を通して、論文作成・ディスカッション技能・批判的思考力・対 話力などのアカデミック・スキルズを習得する(CEFR基準でC1 程度)。
- 2. 両学科・全専攻の専修科目に英語のみで授業を行う科目を設置 し、英語力を強化する。
- 3. 2年次において、フランス語・ドイツ語・スペイン語・ロシア語・ 中国語・イタリア語・韓国語の7つの言語から1言語を選択し、 第二外国語として集中的に習得する(CEFR 基準でA2-B1程
- 4. 学生自身が専門とする科目の履修だけに留まらず、学部内にあ るすべての専攻・専修の開講科目も履修できるリベラルアーツ 教育を実践する。これを通じて、特定分野の専門性の追究だけ でなく、幅広く多岐にわたる学際的な学修を可能にする。
- 5. 自身が選択した第1メジャーに加えて、他の専攻(専修)の体系 的な履修をすすめることにより、Double Major(2つの専攻(専 修)のゼミまで履修)あるいは、1Major+1Minor(専攻(専修) の講義科目を20単位以上履修)として、2つの専攻(専修)にお ける学修の高い次元での両立ができるものとする。
- 6. 社会的・職業的自立に関する指導の柱とすべく、学部共通基礎 の必修科目として第3セメスターに「キャリア・デザイン」を置く。 自らの適性を探るとともに、現代社会における職業・職場の多様 な実態と可能性に触れ、グローバル化が進展する現代社会にお いて、働くことと生きることに関する視野を広げる。
- 7. 学部固有科目の年次配当と教育のねらいを下表のとおりとする。 各段階を経て着実に学びのスパイラルアップを図ることができる ものとする。

1年次	1セメスター	「入門ゼミ」、「英語」、「専攻基礎科目」を 履修し、大学で学ぶ上での、また各専攻 で学ぶ上での確実な基礎を身に付ける。
1 十次	2セメスター	約3か月にわたり、英語圏に留学する。事 前事後学習も含め、その成果を「Overseas University Studies」として単位認定する。
2年次	3セメスター	英語」、「第二外国語」、「キャリア・デザイン」、専修基礎科目、専修科目を履修し、 言語運用能力の向上を図るとともに、専
乙十次	4セメスター	修で学ぶ上でのベースとなる知識を身に付ける。
3年次	5セメスター	「ゼミ(演習)」、「専修選択科目」を履修し、 専門分野に関する発展的な知識と課題発
04次	6セメスター	見・解決能力を身に付ける。希望者は第二外国語の発展的な学びを行う。
4年次	7セメスター	「ゼミ(卒業研究)」において、学士課程教
, , ,	8セメスター	育の集大成となる卒業論文を完成させる。

<国際学科の専門教育課程の構成>

- 1. 国際学科に以下の専攻・専修を置き、それぞれにおいて専攻基 礎科目、専修基礎科目、専修科目、選択科目、ゼミ(演習)を配 置し、段階的で体系的な学びを実現する。
 - ・国際人間学専攻(哲学・人間学専修、グローバル・ヒストリー専
 - ·国際政治学専攻(国際政治学専修、国際開発学専修)
 - ・国際経済学専攻(国際経済学専修、国際ビジネス学専修)
 - · Global Liberal Studies 専攻(Global Liberal Studies 専修)
- 2. 日本語を母語としない学生(Global Liberal Studies 専攻の学 生)は、1年次から3年次にかけて日本語科目の段階的な履修を すすめ、高度な日本語能力を習得する(JF 日本語教育スタンダー ドB2/日本語能力試験N2程度)。また、Global Liberal Studies 専攻の専門教育の授業は、すべて英語で行う。
- 3. ゼミ(卒業研究)を必修科目として置く。第1メジャーとする専門 分野の学びの集大成である卒業論文(卒業研究)を完成させる。

【国際人間学専攻】

- 1. 哲学・人間学専修、グローバル・ヒストリー専修をおき、2年次 にそれぞれの専修に配属され、3年次に各分野のゼミ(演習)に 配属される。
- 2. 3年次のゼミ(演習)での専門的な学びに基づき、4年次にその 専門性を活かした卒業研究を完成させる。

[哲学:人間学専修]

- 1. 1·2年次に「現代哲学概論 | 「現代人間学概論 | 「Introduction to Philosophy and Humanities」「哲学·人間学入門I·II」 「比較思想概論」(専修必修科目)を履修することを通じて哲学・ 人間学に関する基礎的な素養を身に付け、3・4年次には「心と AIの哲学 | 「Comparative Thought | など専修選択科目を履 修することを通じて、哲学・人間学に関する幅広い知識と教養を
- 2. 3年次にゼミ(演習)に分かれ、卒業研究に向けて各教員の研究 分野に基づいた専門的な学習を行う。4年次には卒業研究を完 成させる。

[グローバル・ヒストリー専修]

- 1. 1 · 2年次で「グローバル・ヒストリー概論 I · Ⅱ」を軸に、その他の 関連基礎科目を通じて、長い歴史・広い空間を意識したグロー バル・ヒストリーの考え方を身に付ける。
- 2. 3年次以降は、「History of Modern Japan」や「複数性のアジ ア史」などの科目で、テーマや時代を特化した学びにより専門的 な知識を深め、4年次での卒業研究に結実させる。

【国際政治学専攻】

1年次向けには自専攻基礎科目として、国際政治学あるいは国際開 発学を学ぶに当たって必要な基礎知識を習得するために、「国際関 係論」と「国際開発学入門」を設置する。

[国際政治学専修]

- 1. 2年次においては2単位の自専修基礎科目として「国際関係史」 「Introduction to International Politics」を設置し、さらな る基礎知識の習得を促す。さらに4単位の自専修科目として「国 際政治学」「国際政治史」「日本政治外交史」を設け、より高度 な学修を進めることで、3年次のゼミ(演習)と4年次のゼミ(卒 業研究)への橋渡しとする。また、「International Politics」で は英語で授業を行い、専門性の高い英語力の涵養を図る。
- 2. 3年次では「国際政治」「国際政治史」「日本外交史」のいずれか の分野に関するゼミ(演習)で専門性を高めるとともに、4年次で は各ゼミ(卒業研究)の教員が卒業研究指導を行って卒業論文を 完成させる。

[国際開発学専修]

1. 2年次においては2単位の自専修基礎科目として「国際協力論」 [International Development Studies I] を設置し、さらな る基礎知識の習得を促す。さらに4単位の自専修科目として「社 会開発論」「グローバル・ガバナンス論」「持続可能な開発論」

を設け、より高度な学修を進めることで、3年次のゼミ(演習)と 4年次の卒業研究への橋渡しとする。また、「International Development Studies IJ では英語で授業を行い、専門性の 高い英語力の涵養を図る。

2. 3年次では「社会開発論」「グローバル・ガバナンス論」「持続可 能な開発論 | のいずれかの分野に関するゼミ(演習)で専門性を 高めるとともに、4年次では各ゼミ(卒業研究)の教員が卒業研 究指導を行って卒業論文を完成させる。

【国際経済学専攻】

- 1. 経済学・経営学の主たる領域において、諸問題を解決するため に必要な知識や思考能力を身に付けることを目的とした専攻基 礎科目、専修基礎科目、専修科目、選択科目、ゼミ(演習、卒 業研究)を配置する。
- 2. 専攻基礎科目として、経済学及び経営学の基礎的な知識や思考 能力を身に付けることを目的とした科目を配置する。

[国際経済学専修]

- 1. 専修基礎科目、専修科目として、経済学の主たる領域であるマ クロ経済学、ミクロ経済学、計量経済学の3分野について、経 済における諸問題を解決するために必要な知識や思考能力を身 に付けることを目的とした科目を配置する。
- 2. 選択科目として、グローバル経済で起こっていることを深く理解し、 問題解決能力を身に付けるための科目を配置する。
- 3. ゼミ(演習、卒業研究)では、経済学に関わる分野の学びを深め、 その集大成である卒業研究を完成させる。

[国際ビジネス学専修]

- 1. 専修基礎科目、専修科目として、経営学の主たる領域である組織・ 人材マネジメント、会計・ファイナンス、戦略・マーケティングの 3分野について、ビジネスにおける諸問題を解決するために必要 な知識や思考能力を身に付けることを目的とした科目を配置する。
- 2. 選択科目として、グローバルビジネスで起こっていることを深く 理解し、問題解決能力を身に付けるための科目を配置する。
- 3. ゼミ(演習、卒業研究)では、経営学に関わる分野の学びを深め、 その集大成である卒業研究を完成させる。

<言語文化学科の専門教育課程の構成>

- 1. 言語文化学科に以下の専攻・専修を置き、それぞれにおいて専 攻基礎科目、専修基礎科目、専修科目、選択科目、ゼミ(演習) を配置し、段階的で体系的な学びを実現する。
 - ・複言語・複文化学専攻(言語学専修、異文化コミュニケーション
 - · 英米学専攻(英語学· 英語教育専修、英語圏文学· 文化専修)
- 2. ゼミ(卒業研究)を必修科目として置く。第1メジャーとする専門 分野の学びの集大成である卒業論文(卒業研究)を完成させる。

【複言語·複文化学専攻】

- 1. 1年次に専攻基礎科目として「ことばの仕組み」「異文化理解概 論」を履修する。
- 2. 複言語・複文化能力の向上のため、世界の言語プログラム(第 二外国語)では、2年次に基礎科目を、3年次に応用科目を履修し、 第二外国語を発展的に学ぶPlurilingual Programの修了を目 指すこととする。

[言語学専修]

人間言語に見られる諸特性についての幅広い知識と言語学の基本 的な考え方を習得した上で、言語の構造、音声、獲得などの側面 について深く理解する。この目標を達成するため、2年次に基礎科 目として「理論言語学入門」「Introduction to Linguistics」、専 修科目として「統語と音韻の境界領域」「理論言語学」「比較統語論」 [Workshop in Linguistic Research]を履修する。3年次にゼミ (演習)として、統語と音韻の境界領域、理論言語学、比較統語論 のいずれかの分野を履修する。4年次には各ゼミ(卒業研究)教員の 指導のもとで集大成として卒業研究を完成させる。

[異文化コミュニケーション専修]

世界の言語・文化について、歴史的、社会的背景についての幅広 い教養を習得した上で、二言語以上の外国語運用能力を活用しなが ら、異文化間のコミュニケーションの多様性について深く理解する。 この目標を達成するため、2年次に基礎科目として「Introduction to Theory of Culture」「コミュニケーション論概論」を履修する。 さらに選択科目として、複言語複文化、文学、多文化共生と宗教、 映画とメディア、社会言語学、芸術と宗教、ポピュラー文化に関す る分野から選んで履修する。3年次にはゼミ(演習)として、外国語 学習、比較文学、社会言語学、西洋精神文化、多文化共生、比較 文化、表象文化のいずれかの分野を履修する。4年次には各ゼミ(卒 業研究)教員の指導のもとで集大成として卒業研究を完成させる。

【英米学専攻】

- 1. リンガ・フランカとして、実際的に英語を使用して広く多様な国 際コミュニケーション能力を習得する。
- 2. 英語圏の言語や社会・文化について広範な知識を獲得するとと もに、それらについて学際的見地から批判的に研究し理解する。 [英語圏文学·文化専修]

多様な英語圏の文化や文学・歴史について、日本の文化や文学・歴 史との比較も含めて学修し、国際社会という背景において、物語研 究という観点から、英語圏文学・文化の多様性について複眼的かつ 体系的に理解する。

[英語学·英語教育専修]

英語という言語に対する体系的理解を深め、英語教育者、実務翻訳 家、通訳者等になるために必要な専門的能力を身に付ける。

<授業方法(国際学部共通事項)>

国際学部における教育効果を最大のものとするために、以下のと おりの方法で授業を行う。

- 1. インターアクティブな語学の授業やゼミ、専門分野の教員による 専門性の高い講義と学生主体のアクティブ・ラーニングを織り交 ぜた授業を行うこととする。
- 2. 「世界の言語(英語・第二外国語・日本語)」と1セメスター4単位 設定の講義科目(専修科目・専修選択科目)は、同一科目を1週 のうちに間隔をあけて複数回授業を行う仕組みとし、学生の記 憶が鮮明なうちに次なる内容を教授して授業の密度そのものを 上げる工夫をする。
- 3. 英語と第二外国語の授業は、ひとつの科目を原則として3名の 教員が1コマずつ順繰りに受け持つリレー形式で行うこととし、 その中には必ずネイティブスピーカーを含み、コミュニケーショ ン能力の向上を重視した授業展開を実践する。
- 4. 3年次に開講するゼミは2限連続で行うこととし、時間をかけた 発表や討議ができるようにする。
- 5. 各科目においては、学びの進捗確認の観点と、常に緊張感をもっ て授業に臨むことを求める観点から、適宜中間的な確認テストを 行うこととする。

2

カリキュラム(教育課程)

カリキュラム(教育課程)とは、教育目標を達成するために、学生 の学習段階や能力に応じて編成した教育内容の計画のことです。本 学のカリキュラム(教育課程)は、全学共通科目と学部固有科目から なります。卒業にはそれぞれの科目群から学科ごとに必要とされる 単位を修得する必要があります。

また、全学共通科目と学部固有科目から学生個人の関心や意欲 に応じて自由に科目を選択して履修できるフロート単位や、学際的 な知識を身につけるための全学開放科目(他学部開講科目履修制 度)などがあります。

全学共通科目 ▶▶▶ P26参照

教養教育科目ともいいます。所属学部や研究領域を問わず全学 牛が履修する科目です。

4年間にわたって学部・学科ごとの学部固有科目と並行して学び、 幅広い知識と教養を身につけます。

学部固有科目 ▶▶▶ P28参照

学部・学科ごとに開講されている専門教育科目です。

学部・学科によって履修の仕組みは異なりますが、一般的には1、 2年生で基礎的な科目を学び、3、4年生ではより専門性の高い科 目を学びます。大学ならではの授業スタイルである「演習(ゼミナー ル)」も開講されています。

■資格課程【教職・司書課程等】 ▶▶▶ P61参照

専門教育を通じて資格取得を希望する学生のための課程です。 学部・学科ごとに設けられているもので、「教職課程」をはじめ「司 書課程 | など多彩な資格課程があります。

※学部・学科によって取得できる資格の種類は異なります。

※資格課程において取得する単位には卒業所要単位には含まれな いものもあります。

全学開放科目【他学部開講科目履修制度】(>>> P58参照

10学部を擁する本学では、学部横断的に学部固有科目を学べる 独自の教育システムを設定しています。

他学部の学部固有科目を学ぶことで幅広く深い知識を得られるう え、自身の専門分野からのアプローチ以外の学際的な視点・考え方 を身につけることができます。

セメスター制と通年制

セメスター制とは、1年を春学期と秋学期に分け、学期ごとに単 位認定を行う制度です。通年制とは、1年間(春・秋の2学期間)で 単位認定を行う制度です。本学はセメスター制を基本としていますが、 通年制の科目もあります。

学	年			2	2	3	3	2	1
学	期	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
セメス	スター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8

各種サポートプログラム

本学では「学部の学び」に加えて、資格取得サポートや留学サポー トプログラム、さらに就職に向けたキャリアサポートプログラムを用 意し、入学から卒業まで幅広い支援体制を整えています。

■資格取得サポートプログラム(資格センター)

資格センター主催の資格取得プログラムでは、外部専門講師によ る実践的な試験対策講座を開講し、高い合格率を誇っています。

資格試験対策だけでなく、就職に直結する公務員試験対策など、将 来の目的に合わせた資格講座を開講しています。

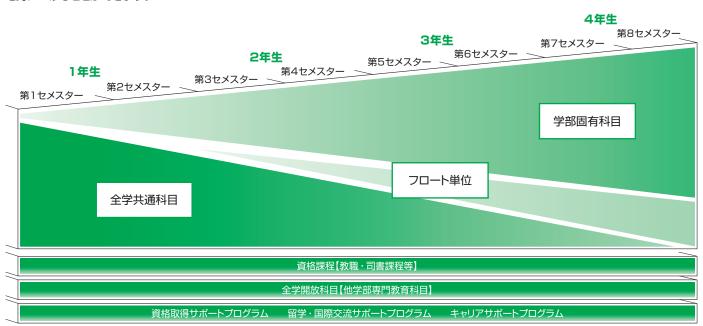
■留学・国際交流サポートプログラム(グローバル教育センター)

グローバル教育センターでは、交換・認定留学をはじめ、ディズ ニー・インターンシップや海外短期研修など、様々な留学制度を取 り揃えています。国際交流全般に関わる窓口として、留学希望者へ のサポートのほか、英語対策講座の提供、学内国際交流イベントを 実施しています。

■キャリアサポートプログラム(キャリア支援課)

就職への意識を高めると同時に自己発見と将来の進路選択のた め、1年生から4年生まで、それぞれの学年ごとに「キャリアサポー トプログラム | を実施し、早くから就職を意識することで高い成果を 上げています。

また、職場体験を通じて職業意識を高める「インターンシッププロ グラム」も実施しています。



※フロート単位とは、全学共通科目と学部固有科目から、自分の興味や関心、意欲に応じて授業を自由に選択して履修できる単位のことです。

授業科目区分と単位制度

問合せ先

教務センター

授業科目区分

全学共通科目と学部固有科目は次のように区分されます。

…… 卒業するために必ず修得しなければならな 1. 必修科目

い科目

2. 選択必修科目 …… 選択科目のうち指定された複数の科目から

選択して必ず修得しなければならない科目

3. 選択科目 …… 卒業するために各学部の定める科目のうちか

ら適宜選択して修得しなければならない科目

…… 単位の認定はされるが、卒業所要単位には 4. 自由科目

算入されない科目

単位制

本学では「大学設置基準」にもとづいた単位制を採用しています。 単位制とは、授業科目を履修して試験に合格することによって、授 業科目ごとに定められている単位を修得する制度のことです。大学 設置基準では、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内 容をもって構成する旨の内容が記載されています。したがって、単 位を修得するには、大学での授業に加え、予習・復習等の自主学習 が必要となります。

単位数

中京大学学則では、以下のように定められています。

科目区分	授業時間数	単位数	
講義科目、演習科目	15~30時間	1単位	
外国語基礎科目、実験·実習·実技科目	30~45時間	1単位	

授業の方法

授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより 又はこれらの併用により行うものとします。

学問の方法や成果、また、研究対象などについて、その内容・性 質などを説き聞かせる授業形態。

《演習》

教員の講義と共に、学生も討議・研究発表等を行いつつ指導を受 ける授業形態。

《実験》

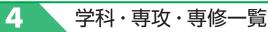
事柄の当否などを確かめるために、また、ある理論や仮説で考え られていることが、正しいかどうかなどを実際に試してみる授業方 法。

《実習》

講義などで学んだ知識を基に、実地(実物)について学習する授業 方法。

《実技》

講義などで学んだ知識を基に、実際に演技を行う授業方法。



問合せ先

教務センター

専攻及び専修の略語について

国際学部は2学科6専攻11専修に分かれています。

1年次は「専攻」別の所属となり、2年次以降は「専修」別の所属になります。

自分の所属する専攻・専修の略語は必ず覚えてください。

学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード
	二 欧 1 8 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	P1	哲学·人間学	PHAN	P1-1
	国際人間学	PI	グローバル・ヒストリー	GHIS	P1-2
		DO	国際政治学	INTP	P2-1
国際	国際政治学	P2	国際開発学	INTD	P2-2
	国際経済学	P3	国際経済学	INTE	P3-1
			国際ビジネス学	INTB	P3-2
	Global Liberal Studies	P4	Global Liberal Studies	GLOB	P4-1
	複言語·複文化学	P5	言語学	LING	P5-1
≕新☆ル		P5	異文化コミュニケーション	INTC	P5-2
言語文化	英米学	P6	英語学·英語教育	ELNG	P6-1
	大 小子		英語圏文学·文化	ELIT	P6-2

- ①学籍番号の先頭2文字は「専攻コード(P1~P6)」です。
- ②学部固有科目のうち、多くの科目は各専修に区分され、設置されています。カリキュラム表中の各科目の欄には、「専修略(アルファベット4 文字)」の記載があります。
- ③Global Liberal Studies専攻は、日本語を母語とせず、かつ高い英語力をもつ学生のための専攻であるため、他の専攻と卒業要件やカリ キュラム内容が異なります。そのため、Global Liberal Studies専修科目については、教育課程表上に記載があっても他専攻学生の履修 ができない科目や配当学年が異なる科目があります。詳細はP28以降の専修別カリキュラム表で確認してください。

進級要件と卒業要件

問合せ先

教務センター

進級要件及び卒業要件は、それぞれに示す条件を満たす必要が あります。

進級要件

国際学部では、2年次進級時に進級判定を行います。進級判定は、 1年次の秋学期終了時に行います。要件の確認については、すべて 各自の責任において行ってください。

- ①進級判定結果は、3月上旬にCHUKYO ALBOで発表します。
- ②留年になった場合は、3月中に文書を以てその旨を保証人宛に通
- ③本学には仮進級はありません。 次の条件をどちらも満たしている場合、次年度春学期に進級しま す。秋学期に進級することはありません。

■進級要件

Overseas University Studiesの単位を修得すること。

卒業要件

次の条件をどちらも満たしている場合、卒業します。

■在学期間に関する条件

通算4年間(8セメスター)以上在学し、かつ4年次に2セメスター 以上の在学が必要です。なお、在学期間に休学は含みません。

■学業に関する条件

卒業に必要な単位は下表の通りです。履修登録や修得単位の確 認については、すべて各自の責任において行ってください。

国際学科(GLS専攻除く)・言語文化学科共通

科目区分 卒業要件(所要単位)							
	所要単位)						
全学共通		スポーツ・4領域	選択必修	18単位			
土子六地		小計		18単位			
		フロート単位		18単位			
	Α	世界の言語(英語)	必修	22単位			
	В	世界の言語(第二外国語)	必修	8単位			
	С	学部基礎	必修	4単位			
	D	自専攻基礎	必修	4単位			
	Е	他専攻基礎	選択必修	4単位			
当 郊田 古	F	自専修基礎	必修	4単位			
学部固有	G	他専修基礎	選択必修	2単位			
	Н	自専修科目	※必修	16単位			
	-1	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8単位			
	J	選択科目	選択	26単位			
	Κ	卒業研究	必修	6単位			
	104単位						
	総計 140単位						

※【H】の自専修科目について、以下の専修のみ科目区分が「選択必 修」となります。

複言語·複文化学専攻	異文化コミュニケーション専修(P5-2)			
英 业党事办	英語学·英語教育専修(P6-1)			
英米学専攻 	英語圏文学·文化専修(P6-2)			

フロート単位

全学共通科目と学部固有科目から自由に選択し、履修・修得する 単位のことです。卒業要件を満たすためには決められた単位数を修 得しなければなりません。

フロート単位として算入される単位

区分	フロート単位として算入される単位	参照
全学共通	<スポーツ・4領域> 各区分の卒業要件(所要単位)を超過 した単位 <その他区分> 直接フロート単位となります	26ページ
学部固有	【J】選択科目の卒業要件(所要単位) (26単位)を超過した単位	28~47 ページ

履修登録制限単位

下表の通り学期ごとに定められた履修登録制限単位(1学期に履 修できる単位数の限度)を超えて科目を履修登録することはできま せん。

学 年			2	2	3	3	4		
学 期	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
セメスター	1	2	3	4	5	6	7	8	
制限単位数 (全学科共通)	24	24	24	24	24	24	24	24	

自由科目は履修登録制限単位に含まれません。また、卒業要件(所 要単位)にも含まれません。



全学共通科目一覧表(GLS専攻以外全専攻共通) 教務センター

学	单 年	1 年	2 年	3 年	4 年	卒業要件							
系	科目群	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	- (18単位)							
コミュニケーション系(演習系)	スポーツ ・ 健康	ティームスポーツ・ソフトボール $I(1)$ ティームスポーツ・ソフトボール $I(1)$											
	自然の探究		P B(2) 統 計 学A(2) P B(2) 地 学 A(2)		学A(2) 物 理 学B(2) 学A(2) 生 物 学B(2)	件を超えて 修得した単 4単位 位は、フロー ト単位に算 入されます。							
ソフィ	人間の 探 究	心 理 学(2) 日 本	₽ B(2) 倫理 学A(2)史A(2) 日本 史B(2)史B(2) 文 学 A(2)	東 洋 史A(2) 東 洋	学A(2) 論 理 学B(2) 史B(2) 学A(2) 言 語 学B(2)	4単位							
ソフィア系(講義系)	社会の 探 究	日本国憲法(2) 法 経済学A(2) 経済	学(2) 政治学A(2)学B(2) 地理学A(2)		学A(2) 社 会 学B(2) 学A(2) 教 育 学B(2)	4単位							
	新領域		ー論B(2) 健康科学A(2) +学B(2) 平和 論A(2)	平 和 論B(2) 職業と	学A(2) 環境科学B(2) 社会(2) グローバル・メディア論(2)	4単位							
				異文化研究(2) 									
	ゼミ		教養テーマ・	ゼミ(通年4)									
					教養探究ゼミ(2)								
ケーショ	コンピュータ		コンピュータ処理論A(2) コンピュータ処理論B(2)										
コミュニケーション系(演習系)	外国語演習	ニケーションIIA(2) ニケーションIIB(2) ア 英 語 B(2) 格 対 策 II A(2) 格 対 策 II B(2) ミ ナ ー B(2)	左の科目は、フロー ト単位に算入されま す。										
(講義系)	テーマ			マ講義A(2) 教養テーマ マ講義C(2) 教養テーマ									
恋系			中京大学	を知る(2)									
			海外教養	泰科目(4)									

全学共通科目について

大学においては専門的知識を身に付けるだけでなく、幅広く深い 教養と総合的な判断力を培うためのカリキュラムが用意されていま す。全学共通科目には多様な科目が置かれていますので、Webシ ラバスで各科目の内容を確認して科目を選択し、総合的な知識を身 に付けるとともに、論理的思考力とコミュニケーション能力を磨いて

- ※履修登録は各自がCHUKYO ALBOで行います。
- ※復学者・編転入学者の履修については、教務センター窓口まで申 し出てください。

不開講科目/履修者数制限

履修希望者が極端に少ない場合、科目によっては、各学期始めに 授業担当教員と履修者との合意の上で、その学期の授業を不開講 とすることがあります。初回の授業には必ず出席し、授業担当教員 の説明をよく聞いてください。

また、履修希望者が多すぎて授業に支障をきたす場合には、履修 者数の制限を行うこともあります。

スポーツ・健康

スポーツ・健康科目(各1単位)の中から卒業所要単位として2単 位を修得しなければなりません。

《履修上の注意》

- ①各セメスターともに1科目(1単位)しか履修登録できません(シー ズンスポーツを除く)。
- ②各スポーツ・健康科目は履修者数制限を行います。
- ③「I は春学期、「II は秋学期の開講科目となります。
- ④「シーズンスポーツA・ゴルフ」は春学期の集中講義期間に行いま す。履修を希望する場合は、CHUKYO ALBOで履修登録を行っ た上で、4月上旬の「シーズンスポーツA・ゴルフ」ガイダンスに必 ず出席してください。詳細は、3月下旬~4月上旬にCHUKYO ALBOにてお知らせします。

「シーズンスポーツB·スケート」は豊田キャンパスにて行います (授業時間帯は豊田キャンパスの時間帯)。詳細は、3月下旬~4 月上旬にCHUKYO ALBOにてお知らせします。

- ※シーズンスポーツのみの履修登録も可能です。
- ※シーズンスポーツは個人スポーツ、ティームスポーツ、フィットネ スとの同時履修登録が可能です。
- ⑤障害者スポーツA・Bは、長期にわたり他のスポーツ種目の履修 が困難と考えられる学生を対象とします。履修には医療機関が発 行する診断書が必要です。履修希望者は、履修登録前までに学 生サポートセンターに申し出てください。その後、学生サポート センターと授業担当教員との間で協議した上で、履修の可否を決 定します。

自然の探究/人間の探究/社会の探究/新領域

「○○A」と「○○B」は独立した科目です。Webシラバスで各科目 の内容を確認してください。

教養テーマゼミ/教養探究ゼミ

履修希望者は、初回の授業に必ず出席してください。

《履修上の注意》

- ①「教養テーマゼミ」は1~4年生が履修登録できる科目です。
- ②「教養探究ゼミ」は4年生の秋学期のみ履修登録できる科目です。

外国語演習(英語)

各科目のレベルと到達目標については下表を参照してください。

科目名	受講対象者のレベルと到達目標
英語 コミュニ ケーションI	「話す」力の育成に重点を置き、オーラルコミュニケーション能力を身に付けます。TOEIC400点~700点、英検2級、準2級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
英語 コミュニ ケーションII	「話す」力の育成に重点を置き、オーラルコミュニケーション能力を身に付けます。TOEIC700点程度、英検準1級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
メディア英語	新聞、雑誌、テレビなどのメディアで使われる 英語の理解力向上をはかります。
英語資格 対策I	留学や就職など様々な場で必要となる英語試験の対策を通じて総合的な英語力の向上をめざします。TOEIC400点~700点、英検2級、準2級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
英語資格 対策Ⅱ	留学や就職など様々な場で必要となる英語試験の対策を通じて総合的な英語力の向上をめざします。TOEIC700点程度、英検準1級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
英語セミナー	専門的な英語の運用能力向上を望む学生の ニーズに応えるための上級者用集中クラスです。

《履修上の注意》

「英語コミュニケーションIA、IIA、IB、IIB」と「英語資格対策IA、 IIA、IB、IIB」については、それぞれ以下の履修登録上の制限があり

- ①春学期にIAとIIAを同時に履修登録することはできません。
- ②秋学期にIBとIIBを同時に履修登録することはできません。
- ③IIAを修得後、IAを履修登録することはできません。
- ④IIBを修得後、IBを履修登録することはできません。

海外教養科目

- ①グローバル教育センターの交換留学及び認定留学に参加した学生 が留学先大学で修得した科目については、原則として全学共通科 目にある科目に読み替えてこれを認定します(成績表上には「N」と して表記されます)。
- ②上記読み替えがきかない科目の中で、教養教育研究院が認めた 科目については、全学共通科目の「海外教養科目」として認定しま
- ③「海外教養科目」として認定できる単位数は4単位までとし、1又 は3単位などの分割認定も認めます。

学部固有科目一覧表 国際学部 国際学科 国際人間学専攻(P1) 哲学·人間学専修(PHAN (P1-1)) 1年春 区分 単位数 科目名【単位数】 科目名【単位数】 科目名【単位数】 主専修 科目名【単位数】 主専修 English for Practical Communication [2] Overseas University Studies [12] Integrated Academic Skills I[2] 全専修 Integrated Academic Skills II(2) 全専修 世界の言語 (英語) English for Discussion and Presentation [2] 必修 全専修 English for Academic フランス語IA【2】 ロシア語IA【2】 フランス語IB【2】 ロシア語IB【2】 ロシア語IIA【2】 フランス語IIA【2】 フランス語IIB【2】 ロシア語IIB【2】 ドイツ語IA【2】 イタリア語IA【2】 ドイツ語IB【2】 イタリア語IB【2】 イタリア語IA【2】 ドイツ語IA【2】 イタリア語IB【2】 ドイツ語IB【2】 必修 全専修 全専修 スペイン語IA【2】 韓国語IA【2】 スペイン語IB【2】 韓国語IB【2】 スペイン語IIA【2】 スペイン語IB【2】 韓国語IIA【2】 韓国語IB【2】 中国語IB【2】 中国語IA【2】 中国語IIA【2】 中国語IB【2】 入門ゼミ(アカデミック スキルズ)【2】 学部基礎 4 キャリア・デザイン【2】 全専修 必修 哲学・人間学入門「(論理と哲学) 【2】 PHAN 自専攻基礎 必修 グローバル・ヒストリー概 論I(歴史学)【2】 GHIS 国際関係論【2】 INTP 国際開発学入門【2】 INTD 国際経済学入門[(ミクロ経済学)【2] INTE 国際経営学入門I(組織·戦略) [2] INTB 4 %1 他専攻基礎 ことばの仕組み【2】 LING 異文化理解概論【2】 INTO 英語学概論【2】 FI NG 英語圏文学概論【2】 ELIT 哲学・人間学入門Ⅱ(人間学)【2】 PHAN Introduction to Philosophy and Humanities [2] PHAN 自専修基礎 必修 4 GHIS グローバル・ヒストリー概論II(グローバル・ヒストリー)【2】 GHIS Introduction to Global History [2] 8 INTP 国際関係史【2】 Introduction to International Politics [2] INTP INTD 国際協力論【2】 International Development Studies [2] INTD 国際経済学入門II(マクロ経済学)【2】 Introduction to International Economics (2) INTE 2 %1 他専修基礎 国際経営学入門Ⅱ(会計・ファイナンス)【2】 INTB Introduction to International Business [2] INTB Introduction to Linguistics [2] LING 理論言語学入門【2】 LING Introduction to Theory of Culture [2] INTC コミュニケーション論概論【2】 INTC ELNG 英語と文法化【2】 English Language [2] ELNG ELIT Understanding Fiction, Drama and Poetry [2] ELIT Understanding Film and Popular Culture [2] 現代哲学概論【4】 PHAN 現代人間学概論【4】 PHAN 自専修科目 16 必修 Basics of Modern Philosophy and Comparative Thought [4] PHAN 比較思想概論【4】 PHAN 自専修科目(ゼミ) 8 GLOB 日本語学【2】 GL OB 日本語教授法【2】 日本語教育実習【2】 GLOB 選択科目 選択 海外留学科目【最大12】〈2~4年全専修〉 国内インターンシップ【2】〈2~4年全専修〉 海外インターンシップ【2】〈2~4年全専修〉 海外セミナー【2】〈1~4年全専修〉 PHAN P1-1 国際経済学 INTE 複言語・ 複文化学 人間学 LING INTB P3-1 国際人間学 国際経済学 РЗ P5 国際 ブローバル・ヒストリ・ GHIS P1-2 国際ビジネス学 ニケーション INTC P5-2 国際 学科 文化 P4 P2-1 Global Liberal Studies Global Liberal Studies GLOB P4-1 英語学·英語教育 ELNG P6-1 INTP 国際政治学 国際政治学 英米学 国際開発学 INTD P2-2 英語圏文学·文化 ELIT P6-2

2000年8月 10 10 10 10 10 10 10 1	科目	3£ 名【単位	F春 ū数】	主専修	科目	33 名【単位	年秋 立数】	主専修	4年春科目名【単位数】	4年秋 科目名【単位数】		学年 区分		卒業要 単位数
### ARP ### (PET ARP ### ARP											А		必修	22
大株内科目(第二外国語応用)	ランス語IVA【2】 ランス語VA【2】 イツ語ⅢA【2】 イツ語IVA【2】 イツ語VA【2】 イツ語VA【2】		中国語NA [2] 中国語VA [2] ロシア語皿A [2] ロシア語NA [2] ロシア語VA [2]	全専修	フランス語NB [2] フランス語VB [2] ドイツ語IIB [2] ドイツ語NB [2] ドイツ語VB [2] スペイン語IIB [2]		中国語NB [2] 中国語VB [2] ロシア語皿B [2] ロシア語NB [2] ロシア語VB [2]	· · · 全専修 ·			В	世界の言語 (第二外国語)	必修	8 **1
F 日本学生 日本学 日本学生 日本学 日本学生 日本学 日本学生 日本学 日本学生 日本学生 日本学生 日本学生 日本学生 日本学 日											С	学部基礎	必修	4
# 位として集計されます。 F 情報を担じ、								小国語の	5用)		D	自専攻基礎	必修	4
学 人類学術部((限代語学) [4] PHAN 哲学 人類学所部((現代語学) [4] PHAN 記述が(日本) [4] PHAN 記述(日本) [4] PHA											Ε	他専攻基礎	選択必修	4 ※1
日本学 大阪学素部((原代哲学)(4)											F	自専修基礎	必修	4
PHAN 哲学 - 人間学演習[(現代哲学)[4]											G	他専修基礎	選択必修	2 *1
PHAN 哲学・人間学演習(比較思想) [4]											Н	自専修科目	必修	16
Dept. De											1	自専修科目	選択	8
PHAN									卒業研究【通句	年6】〈全専修〉	K			6
Final Linguistics [4]			音声学と音韻論【4】		正義論【4】									
### 25-7 全部		PHAN	Current Topics in Linguistics [4]	LING	(East and West) [4]	PHAN	言語学特別研究【4】	LING						
数性のアジア史[4] GHIS 翻形・遊形と現代社会[4] INTC 体放治論[4] INTC 体放治論[4] INTC Communication Research[4] INTD 交易分割を	ョナリズム【4】													
本政治論[4] INTP Workshop in Intercutural Communication Research [4] INTC MRX (MRX (MRX (MRX (MRX (MRX (MRX (MRX														
取政治学[4]			Workshop in Intercultural											
Wight Profession Special Topics in International Management Ma	上較政治学【4】	INTP		ELNG	国際機構論【4】	INTP	英語科単元構成論【4】	ELNG						
INTD 英語の通訳[2] ELNG 市民社会と開発[4] INTD 英語の通訳[2] ELNG 中国														
Revelopment Policy[4] INTD 英語の翻訳[2] ELNG フィールドと開発[4] INTD 英語の翻訳[2] ELNG Professional English[4] ELIT 開発経済学[4] INTE Media Literacy [4] ELIT 法経済学 [4] INTE Current Topics [4] ELIT 産業組織論[4] INTE mixex project Current Topics [4] ELIT 産業組織論[4] INTE English Project Current Topics [4] ELIT 原規経済学[4] INTE Current Topics [4] ELIT 原規経済学[4] INTE English Project Current Topics [4] ELIT 原規経済学[4] INTE English Project Current Topics [4] ELIT 原規経済学[4] INTE English Project Current Topics [4] ELIT 原規経済学[4] INTB M市民権の文化史[4] ELIT アドウスト 総・フ・アナンス[4] INTB Dリフ・オカル・リーディング[4] ELIT アドウスト 組織・人材 INTB の目的 Media and Culture [4] GLOB Lecture on Cross-cultural Management [4] INTB Pup-オカル・リーディング[4] ELIT Priウスト 組織・人材 INTB Clotal Media and Culture [4] GLOB Lecture on Cross-cultural Management [4] INTB Pup-オカル・リーディング[4] ELIT Priウスト 組織・人材 INTB Clotal Media and Culture [4] GLOB Lecture on Cross-cultural Management [4] INTB Pup-オカル・リーディング[4] ELIT Priウスト 組織・人材 INTB Clotal Media and Culture [4] GLOB Elations [4] GLOB Relations [4] GLOB International Academic Relations [4] GLOB International English Linguistics [2] INTB Imperior International English Linguistics [2] ELNG Imperior International Politics [2] INTB Imperior International Politics [2] INTB International Politics [2] INTB International Economics [2] INTD International Economics [2														
Apy	nternational													
選択科目 INTE Current Topics [4] ELIT 産業組織論[4] INTE 職業としての文学教育[4] ELIT 環境経済学[4] INTE にはreature and Media for Children and Young Adults [4] ELIT 環境経済学[4] INTE English Project Workshop [4] ELIT でいていないないのでは、														
Recture on Economic Oiloy (4) INTE Literature and Media for Children and Young Adults (4) ELIT 環境経済学[4] INTE Workshop [4] ELIT ジジネスデータ分析[4] INTB 市民権の文化史[4] ELIT アドレスト 観察・マーケティング[4] INTB 映画論 [4] INTB 市民権の文化史[4] ELIT アドレスト 観察・マーケティング[4] INTB 映画論 [4] INTB が下文化デザイン論[4] ELIT アドレスト 組織・人材 INTB Global Media and Culture [4] GLOB Lecture on Cross-cultural Management [4] INTB Relations [4] GLOB International Academic Relations [4] GLOB Global Peace and Security[4] GLOB Global Peace and Security[4] GLOB Global Peace and Security[4] GLOB Belations [4] INTB Relations [4] ELIT アドレスト 組織・人材 NTB Global Media and Culture [4] GLOB Global Peace and Security[4] GLOB Global Peace and Security[4] GLOB Belations [4] Final Philosophical Anthropology[2] PHAN Special Topics in International Business Studies [2] INTB Global History [2] GHIS Special Topics in International Philosophical Anthropology[2] PHAN Special Topics in International Philosophical P														
20日の [4]	ecture on Economic		Literature and Media for				English Project							
選問籍企業論[4] INTB 都市文化デザイン論[4] ELIT アドノンスト会計・ファイナンス[4] INTB クリティカル・リーディング[4] ELIT アドノンスト 組織・人材 INTB Global Media and Culture [4] GLOB Lecture on Cross-cultural Management [4] INTB International Academic Relations [4] (4] GLOB 「Wenty-First Century Cities [4] GLOB 「wenty-First Century Cities In International Economics [2] 「wenty-First Century Cities In International Provided I												Ann 1		26
Twenty-First Century Cities [4] GLOB Global Peace and Security [4] GLOB Ferrial Representation of Philosophical Anthropology [2] PHAN Global Peace and Security [4] GLOB Ferrial Representation of Philosophical Anthropology [2] PHAN Global Peace and Security [4] GLOB Ferrial Representation of Philosophical Anthropology [2] PHAN Global Peace and Security [4] GLOB Ferrial Representation of Philosophical Anthropology [2] PHAN Global Peace and Security [4] GLOB Ferrial Representation of Philosophical Anthropology [2] PHAN Global Peace and Security [4] GLOB Ferrial Representation of Philosophical Anthropology [2] PHAN Global Peace and Security [4] GLOB Ferrial Representation of Philosophical Anthropology [2] PHAN Global Peace and Security [4] GLOB Ferrial Representation of Philosophical Anthropology [2] PHAN Global Peace and Security [4] GLOB Ferrial Representation of Philosophical Anthropology [2] PHAN Global Peace and Security [4] GLOB Ferrial Representation of Philosophical Anthropology [2] PHAN Global Peace and Security [4] GLOB Ferrial Representation of Philosophical Anthropology [2] PHAN Global Peace and Security [4] GLOB Ferrial Representation of Philosophical Anthropology [2] PHAN Global Peace and Security [4] GLOB Ferrial Representation of Philosophical Anthropology [2] PHAN Global Peace and Security [4] GLOB Ferrial Representation of Philosophical Anthropology [2] PHAN Global Peace and Security [4] GLOB Ferrial Representation of Philosophical Anthropology [2] PHAN Global Peace and Security [4] GLOB Ferrial Representation of Philosophical Anthropology [2] PHAN Global Peace and Security [4] GLOB Ferrial Representation of Philosophical Anthropology [2] PHAN Global Peace and Security [4] GLOB Ferrial Representation of Philosophical Anthropology [2] P	多国籍企業論【4】		都市文化デザイン論【4】		アドバンスト 会計・ファイナンス【4】		クリティカル・リーディング【4】				J	選択科目	選択	×2
Twenty-First Century Cities [4] GLOB Global Peace and Security [4] GLOB 集中講義科目 (開講期はCHUKYO ALBO又はホームページにて確認してください) 投票が多く、開講期は (各・秋)が年度によって変動します。 大のでは、「日本の時間は、「日本の	アドバンスト 組織・人材	INTB		GLOB	Lecture on Cross- cultural Management [4]	INTB	International Academic Relations [4]	GLOB						
原学・人間学特殊講義 [2] PHAN 英語学特殊講義 [2] ELNG Special Topics in Philosophical Anthropology [2] PHAN Business Studies [2] INTB 開議年の始まる前の 別当中旬にCHUKYO ALBO又は ボームページにて、 [開講年度の始まる前の 別当中旬にCHUKYO ALBO又は ボームページにて、 [開講年度の始まる前の 別当中旬にCHUKYO ALBO又は ボームページにて、 [開講用・開講日・担当者名」を確認して [2] INTB 国際ビジネス学特殊講義 [2] INTB Special Topics in International Politics [2] INTD 国際ビジネス学特殊講義 [2] INTB Special Topics in International Politics [2] INTD 言語学特殊講義 [2] LING Special Topics in International Politics [2] INTD Special Topics in English Linguistics [2] ELNG 国際経済学特殊講義 [2] INTE 異文化コミュニケーション INTC Special Topics in International Economics [2] INTE Special Topics in English Linguistics [2] ELIT (別表の(48ページ)) ※3 (別表の(48ペー以)) ※4 対象: 3))※4 対象: 3))※4 対象: 3))※4 対象: 3)》※4 対象: 3)》 「関語では、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は	マネシメント【4】		Twenty-First Century Cities [4]				Global Peace and Security [4]	GLOB	一 務象教員が 授業が多く	が担ヨ96				
哲学・人間学特殊講義 [2] PHAN 英語学特殊講義 [2] ELNG Special Topics in Phan Special Topics in Special Topics in Special Topics in Clobal History [2] PHAN Special Topics in Special Topics in Linguistics [2] LING Special Topics in Linguistics [2] LING Special Topics in International Politics [2] INTP 国際ビジネス学特殊講義 [2] INTB 国際ビジネス学特殊講義 [2] INTB Special Topics in International Politics [2] INTD Special Topics in English Linguistics [2] ELNG 国際経済学特殊講義 [2] INTE 異文化コミュニケーション INTC Special Topics in International Economics [2] INTE Special Topics in English Linguistics [2] ELIT 「別表①(48ページ)) ※3 は第19回と Major JAMajor JA	7ネシメント 【 4】			O ALDO	D又はホームページにて確認し	してくだ			よって変動	がます。				
プローバリ・ヒストリー特 GHIS 英語圏文学・文化特殊講義 ELIT Global Topics in Global History [2] GHIS 「2] GHIS 「2] GHIS 「2] GHIS 「2] GHIS 「2] GHIS 「3] GHIS 「2] GHIS 「3] GHIS 「3] GHIS 「3] GHIS 「3] GHIS 「3] GHIS 「3] GHIS 「4]	マネシメント [4]				Chanial Tanian in		opecial robics in international	INTR	開講年度の	始まる前の				
国際政治学特殊講義[2] INTP 国際ビジネス学特殊講義[2] INTB Special Topics in Interrultural Communication [2] INTD Special Topics in English Linguistics [2] ELING (別表①48ページ)※3 (別表①48ページ)※4 (別表②48ページ)※4 (別表③48ペーダ))※4 対象:3 (別表②48ペーダ))※4 (別表②48ペーダ))※4 対象:3 (別表②48ペーダ))※4 (別表②48ペーダ))※4 (別表②48ペーダ))※4 (別表②48ペーダ))》4 (別表②48ペーダ))※4 対象:3 (別表②48ペーダ))4 (別表②48ペーダ)4 (別表②48ペーダ	哲学·人間学特殊講義【2】		英語学特殊講義【2】	ELNG	Philosophical Anthropology [2]	PHAN	Business Studies [2]		3月中旬に	PHOK IO				
国際開発学特殊講義 [2] INTD 言語学特殊講義 [2] LING Special Topics in International Development Studies [2] INTD Special Topics in English Linguistics [2] ELNG 関連発育学特殊講義 [2] INTE 関文化コミュニケーション INTC Special Topics in English Linguistics [2] INTE Special Topics in English Linguistics [2] ELIT Special Topics in English Ling	哲学・人間学特殊講義【2】 プローバル・ヒストリー特	PHAN	英語学特殊講義【2】	ELNG	Philosophical Anthropology [2]		Special Topics in		I ALBO又は					
International Economics [2] INTO International Economics [2] INTO Literature and Culture [2] LITERATURE (別表①(48ページ))※3 (別表①(48ページ))※3 (別表②(48ページ))※3 (別表②(48ページ))※4 対象: シリ)※4 対象:	哲学・人間学特殊講義 [2] プローバル・ヒストリー特殊講義 [2]	PHAN	英語学特殊講義【2】 英語圏文学·文化特殊講義 【2】	ELNG ELIT	Philosophical Anthropology[2] Special Topics in Global History [2] Special Topics in	GHIS	Special Topics in Linguistics [2] Special Topics in Intercultural Communication [2]	LING	ALBO又は ホームペー 「開講期・ 担当者名」	ージにて、 開講日・ を確認し				
MMX(U(40 ペーン)/ ※0	哲学・人間学特殊講義[2] グローバル・ヒストリー特 珠講義[2] 国際政治学特殊講義[2]	PHAN GHIS INTP	英語学特殊講義[2] 英語圏文学・文化特殊講義 [2] 国際ビジネス学特殊講義[2] 言語学特殊講義[2]	ELNG ELIT INTB	Philosophical Anthropology[2] Special Topics in Global History [2] Special Topics in International Politics [2] Special Topics in International	GHIS	Special Topics in Linguistics [2] Special Topics in Intercultural Communication [2] Special Topics in English Linguistics [2]	LING	ALBO又は ホームペー 「開講期・ 担当者名」	ージにて、 開講日・ を確認し				
	哲学・人間学特殊講義[2] グローパル・ヒストリー特 殊講義[2] 国際政治学特殊講義[2] 国際開発学特殊講義[2] 国際経済学特殊講義[2]	PHAN GHIS INTP INTD	英語学特殊講義[2] 英語圏文学・文化特殊講義 [2] 国際ビジネス学特殊講義[2] 言語学特殊講義[2] 異文化コミュニケーション	ELNG ELIT INTB LING	Philosophical Anthropology[2] Special Topics in Global History [2] Special Topics in International Politics [2] Special Topics in International Development Studies [2] Special Topics in	GHIS INTP INTD	Special Topics in Linguistics [2] Special Topics in Intercultural Communication [2] Special Topics in English Linguistics [2] Special Topics in English	LING INTC ELNG	ALBO又は ホームペー 「開講期・ 担当者名」 てください	-ジにて、 開講日 を確認し \。				
	哲学・人間学特殊講義 [2] ガローバル・ヒストリー特 株講義 [2] 国際政治学特殊講義 [2] 国際開発学特殊講義 [2] 国際経済学特殊講義 [2]	PHAN GHIS INTP INTD INTE 表①(48	英語学特殊講義[2] 英語圏文学・文化特殊講義[2] 国際ビジネス学特殊講義[2] 言語学特殊講義[2] 異文化コミュニケーション 特殊講義[2] ページ)〉※3	ELNG ELIT INTB LING	Philosophical Anthropology[2] Special Topics in Global History [2] Special Topics in International Politics[2] Special Topics in International Development Studies [2] Special Topics in International Economics[2]	GHIS INTP INTD INTE 表②(48	Special Topics in Linguistics [2] Special Topics in Intercultural Communication [2] Special Topics in English Linguistics [2] Special Topics in English Literature and Culture [2] 3(-5))*3	LING INTC ELNG	ALBO又は ホームペー 「開講者名」 てください 〈別表③(48ペー ジ))※4 対象:	- ジにて、 開講日・ を確認し い。 (別表④(48ページ))※4 対象:				
	哲学・人間学特殊講義 [2] プローバル・ヒストリー特 末講義 [2] 国際政治学特殊講義 [2] 国際開発学特殊講義 [2] 国際経済学特殊講義 [2]	PHAN GHIS INTP INTD INTE 表①(48	英語学特殊講義[2] 英語圏文学・文化特殊講義[2] 国際ビジネス学特殊講義[2] 言語学特殊講義[2] 異文化コミュニケーション 特殊講義[2] ページ)〉※3	ELNG ELIT INTB LING	Philosophical Anthropology[2] Special Topics in Global History [2] Special Topics in International Politics[2] Special Topics in International Development Studies [2] Special Topics in International Economics[2]	GHIS INTP INTD INTE 表②(48	Special Topics in Linguistics [2] Special Topics in Intercultural Communication [2] Special Topics in English Linguistics [2] Special Topics in English Literature and Culture [2] 3(-5))*3	LING INTC ELNG	ALBO又は ホームペー 「開講者名」 てください 〈別表③(48ペー ジ))※4 対象:	- ジにて、 開講日・ を確認し い。 (別表④(48ページ))※4 対象:				

- 【注意事項】

 学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。

 学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。

 ※1 各区分の卒業要件を超えて修得した単位は、「【J]選択単位」として集計されます。

 ※2 [【J]選択単位」が卒業要件を超えた場合は、「フロート単位」として集計されます。

 ※3 Double Major、IMajor+1 Minorを修了するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。)

 ※4 Double Majorを修了するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。)

 ※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

科目	3年 名【単位		主専修	科目	名【単位	年秋 立数】	主専修	4年春科目名【単位数】	4年秋 科目名【単位数】		学年 区分		卒業要 単位数
										А	世界の言語 (英語)	必修	22
7ランス語IIA [2] 7ランス語IVA [2] 7ランス語VA [2] ベイツ語IIA [2] ベイツ語IVA [2] ベイン語IIA [2] スペイン語IIA [2]		中国語IIA [2] 中国語IVA [2] 中国語VA [2] ロシア語IIA [2] ロシア語VA [2] ロシア語VA [2] スペイン語VA [2]	全専修	フランス語皿B【2】 フランス語VB【2】 フランス語VB【2】 ドイツ語皿B【2】 ドイツ語VB【2】 ドイツ語VB【2】 ドイツ語VB【2】 スペイン語皿B【2】 スペイン語WB【2】		中国語IIB [2] 中国語IVB [2] 中国語VB [2] ロシア語IIB [2] ロシア語IVB [2] ロシア語VB [2] スペイン語VB [2]	全専修		1	В	世界の言語 (第二外国語)	必修	8 **1
										С		必修	4
						太枠内科目(第二タ を修得した場合、 修得単位数は「 J選 単位として集計され	択単位	立 」の		E	他專攻基礎	必修 選択修	4 *1
										F	自専修基礎	必修	4
										G	他專修基礎	選択必修	2 ※1
										Н	自専修科目	必修	16
グローバル・ヒストリー演習] グローバル・ヒストリー演習] グローバル・ヒストリー演習]	[(アジア]	[4]	GHIS	グローバル・ヒストリー演習! グローバル・ヒストリー演習! グローバル・ヒストリー演習!	[(アジア	7)[4]	GHIS GHIS			1	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8
グローバル現代思想【4】	PHAN	言語獲得【4】	LING	アジア思想【4】	PHAN	言語の起源と進化【4】	LING	卒業研究【通	年6】全専修	K	卒業研究	必修	6
		音声学と音韻論【4】 Current Topics in		正義論【4】		意味論【4】	LING						
応用倫理学【4】	PHAN	Linguistics [4]	LING	Comparative Thought (East and West) [4]	PHAN	言語学特別研究【4】	LING						
歴史のなかの国民国家とナショナリズム【4】		ヨーロッパ文化研究【4】		宗教からたどる世界史【4】	GHIS		INTC						
資料とデータで読む世界史【4】 複数性のアジア史【4】		日中比較文化論(4) 翻訳・通訳と現代社会(4)		越境する世界史【4】 History of Modern Japan【4】		文化論的メディア研究【4】 ロシア・東欧地域研究【4】	INTC						
日本政治論【4】	INTP	Workshop in Intercultural		難民と国際政治【4】	INTP		INTC						
比較政治学【4】	INTP	Communication Research [4] 英語科教育法I[4]		国際機構論【4】	INTP		ELNG						
Lecture on Foreign Policy [4]				安全保障論【4】	INTP								
国際平和開発論【4】		実用英語運用法【4】		地域特性と開発【4】	INTD		ELNG						
国際環境政策論【4】 International Development Policy[4]	INTD	英語の通訳【2】 英語の翻訳【2】		市民社会と開発【4】	INTD		ELNG ELNG						
海外投資論【4】	INTE	Professional English [4]		開発経済学【4】	INTE		ELIT						
公共経済学【4】	INTE	Current Topics [4]	ELIT	産業組織論【4】	INTE	職業としての文学教育【4】	ELIT						
Lecture on Economic Policy (4)	INTE	Literature and Media for Children and Young Adults [4]	ELIT	環境経済学【4】	INTE	English Project Workshop [4]	ELIT						
ビジネスデータ分析【4】	INTB	市民権の文化史【4】	ELIT	アドバンスト 戦略・マー ケティング【4】	INTB	映画論【4】	ELIT		4				
多国籍企業論【4】	INTB	都市文化デザイン論【4】	ELIT	アドバンスト 会計・ファイナンス[4]	INTB	クリティカル・リーディング【4】	ELIT			J	選択科目	選択	26 %2
アドバンスト 組織・人材マネジメント【4】	INTB	Global Media and Culture [4] Twenty-First Century Cities [4] 議義對日(閱議期(十〇日)[4]		Lecture on Cross- cultural Management [4] ン又はホームページにて確認し	INTB	International Academic Relations [4] Global Peace and Security[4]	GLOB GLOB	集中講義科務家教員が 授業が多く (春・秋)か	が担当する				
哲学・人間学特殊講義【2】		講義科白(開講期はCHUKY 英語学特殊講義【2】	ELNG	Special Topics in	PHAN	Special Topics in International	INTB	よつく変動]します。				
グローバル・ヒストリー特		英語圏文学・文化特殊講義		Philosophical Anthropology [2] Special Topics in		Business Studies [2] Special Topics in		開講年度の3月中旬に	CHUKYO				
殊講義【2】	GHIS	[2]	ELIT	Global History [2]	GHIS	Linguistics [2]	LING	ALBO又は ホームペー	-ジにて、				
国際政治学特殊講義【2】	INTP	国際ビジネス学特殊講義 [2]	INTB	Special Topics in International Politics [2] Special Topics in	INTP	Special Topics in Intercultural Communication [2] Special Topics in	INTC	「開講期・ 担当者名」 てください	を確認し				
国際開発学特殊講義【2】	INTD	言語学特殊講義【2】	LING	International Development Studies [2]	INTD	English Linguistics [2]	ELNG	7					
国際経済学特殊講義【2】	INTE	異文化コミュニケーション 特殊講義【2】 ページ)〉※3	INTC	Special Topics in International Economics [2]	INTE	Special Topics in English Literature and Culture[2] 3ページ)>※3	ELIT	⟨別表③(48ペー	〈別表④(48ページ)〉※4 対象:				
/===													

[【]注意事項】 学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。 ※1 各区分の卒業要件を超えて修得した単位は、「【J】選択単位」として集計されます。 ※2 「【J】選択単位」が卒業要件を超えた場合は、「フロート単位」として集計されます。 ※3 Double Major・1 Major+1 Minorを修了するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。) ※4 Double Majorを修了するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。) ※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

	8	学	部固	有科	目一覧表	国際学部	国際学科	斗 国際政	(治学専攻	文(P2) 国	際政治学専	廖(INT	P (P2	2-1))
		学年 区分		卒業要件 単位数	1.1		8 科日名	手秋 【単位数】		科日名【自	2年春 é位数】		主専修	2年秋 科目名【単位数】 主専修
				- 12 XX	English for Pract Communication	ical	Overseas	University	Integrate	d Academic	Skills I(2)		全専修	
	А	世界の言語 (英語)	必修	22	English for Discu and Presentation English for Acade Purposes [2]	ssion 1【2】 全專修								
	В	世界の言語 第二外国語)	必修	8 *1	Tuposes [2]			-	フランス語 フランス語 ドイツ語IA ドイツ語IIA スペイン語 中国語IA 中国語IIA	IA [2] [2] [2] IA [2] IA [2]	ロシア語IA ロシア語IIA イタリア語II イタリア語II 韓国語IA 【 韓国語IIA 【	(2) A (2) IA (2) 2)	・全専修	フランス語IB [2] ロシア語IB [2] フランス語IB [2] ロシア語IB [2] ドイツ語IB [2] イタリア語IB [2] ドイツ語IB [2] イタリア語IB [2] スペイン語IB [2] 韓国語IB [2] スペイン語IB [2] 韓国語IB [2] 中国語IB [2] 中国語IB [2]
	С	学部基礎	必修	4	入門ゼミ(アカデミック・スキ)	ルズ)【2】全専作 INTF		-		デザイン【2】			全専修	
2		他專攻基礎	選択必修	4 *1	国際関係論[2] 国際開発学入門[2] 哲学、人間学入門[論理とき クローバル・とハナー類論[歴 国際経営学入門[(結議・戦 ことばの仕組み[2] 異文化理解概論[2] 英語学概論[2] 英語参概論[2]	INTE (学)[2] PHA (史学)[2] GHIS (等)[2] INTE (路)[2] INTE (INTE (ELNO)	N S S S S S S S S S S S S S S S S S S S							
6	F	自専修基礎	必修	4	央記憶 又子 炳洲【2】	CLII		<u> </u>		on to Internation		[2]		
7										学入門I(人間等 ion to Global		1		Introduction to Philosophy and Humanities [2] PHAN グローバル・ヒストリー概論I (グローバル・ヒストリー) [2] GHIS
9	G	他専修基礎	選択必修	2 ※1					国際経済学 国際経営学 理論言語学 Introducti	nal Developr 入門I(マクロ線 入門I(会計・) 入門【2】 ion to Theory anguage 【2】	経済学)【2】 ファイナンス) · of Culture	[2]	INTE INTB LING INTC	Introduction to International Business [2] INTB
									Understar	nding Film and		ulture[2]	ELIT	Understanding Fiction, Drama and Poetry[2] ELIT
2	Н	自専修科目	必修	16					日本政治外 国際政治学					国際政治史【4】 INTP International Politics【4】 INTP
4		自専修科目	選択	8										
5	K	(ゼミ) <u></u> 卒業研究	必修	6				-						
6	IX	十未训儿	处小多	0			_		日本語教授	法【2】			GLOB	日本語学【2】 GLOB 日本語教育実習【2】 GLOB
8 9 20 21 22 23	U	選択科目	選択	26 *2							国内海外	外留学科 ミット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ンシップ ンシップ	【2】〈2~4年全専修〉
j	学科	事攻	Ē,	アントド			-ド 学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード 🤄	学科	専攻 専攻コード 専修 専修コード
	国際学科	国際人間等国際政治等		P2	グローバル・ヒストリー (国際政治学 I	HAN P1- BHIS P1-2 NTP P2- NTD P2-2	国際 国際 Glo	際経済学 bal Liberal Studie	P3 [国際経済学 国際ビジネス学 Global Liberal Stud			複詞 複数 複数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数	

	3年 1名【単位	F春 泣数】	主専修	科目	名【単位	丰秋 立数】	主専修	4年春 科目名【単位数】	4年秋 科目名【単位数】		学年 区分		卒業要 単位
										А	世界の言語 (英語)	必修	22
アランス語皿A [2] アランス語WA [2] アランス語VA [2] ドイツ語皿A [2] ドイツ語WA [2] ドイツ語VA [2] ベイン語MA [2]		中国語ⅢA [2] 中国語VA [2] 中国語VA [2] ロシア語ⅢA [2] ロシア語WA [2] ロシア語VA [2] スペイン語VA [2]	· · 全専修 ·	フランス語ⅢB【2】 フランス語IVB【2】 フランス語VB【2】 ドイツ語ⅢB【2】 ドイツ語VB【2】 ドイツ語VB【2】 スペイン語ⅢB【2】 スペイン語IVB【2】		中国語IIB [2] 中国語VB [2] 中国語VB [2] ロシア語IIB [2] ロシア語VB [2] ロシア語VB [2] スペイン語VB [2]	・全専修		1	В	世界の言語 (第二外国語)	必修	8 *1
										С	学部基礎	必修	4
						太枠内科目(第二タを修得した場合、 修得単位数は「 J選 単位として集計され	択単位	立 」の		D E	他専攻基礎	選択修	4 *1
										F	自専修基礎	必修	4
										G	他専修基礎	選択必修	2 ※1
										Н	自専修科目	必修	16
国際政治学演習I(日本政治 国際政治学演習I(国際政治 国際政治学演習I(国際政治	史)【4】	[4]	INTP INTP	国際政治学演習II(日本政治 国際政治学演習II(国際政治 国際政治学演習II(国際政治	史)【4】	[4]	INTP INTP			1	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8
ブローバル現代思想【4】	Трылл	言語獲得【4】	LING	アジア思想【4】	DLIANI	言語の起源と進化【4】	LING	卒業研究【通	年6】全専修	K	卒業研究	必修	6
ひとAIの哲学【4】		音声学と音韻論【4】		正義論【4】		意味論【4】	LING						
芯用倫理学【4】	PHAN	Current Topics in Linguistics [4]	LING	Comparative Thought (East and West) [4]	PHAN	言語学特別研究【4】	LING						
歴史のなかの国民国家とナ	СПІС	ヨーロッパ文化研究【4】	INTC	宗教からたどる世界史【4】	GHIS	現代社会と宗教【4】	INTC						
ショナリズム【4】													
資料とデータで読む世界史【4】 复数性のアジア史【4】		日中比較文化論【4】 翻訳・通訳と現代社会【4】		越境する世界史【4】 History of Modern Japan【4】		文化論的メディア研究【4】 ロシア・東欧地域研究【4】	INTC						
後数性のアクア文(中) 日本政治論(4)	INTP	Workshop in Intercultural	INTC	難民と国際政治【4】	INTP	文化科学研究【4】	INTC						
		Communication Research [4]				英語科単元構成論【4】							
比較政治学【4】 Lecture on Foreign Policy【4】	INTP	英語科教育法I(4) 教育文法論[4]	_	国際機構論【4】 安全保障論【4】	INTP	央語科里兀傳成論【4】 Changes in English 【4】	ELNG FLNG						
国際平和開発論【4】		実用英語運用法【4】		地域特性と開発【4】	INTD	認知言語学と英語教育【4】							
国際環境政策論【4】	INTD	英語の通訳[[2]	_	市民社会と開発【4】	INTD	英語の通訳[[2]	ELNG						
nternational Development Policy[4]		英語の翻訳【2】		フィールドと開発【4】	INTD	英語の翻訳I【2】	ELNG						
海外投資論【4】 公共経済学【4】	INTE	Professional English (4) Current Topics (4)	ELIT	開発経済学【4】 産業組織論【4】	INTE	Media Literacy 【4】 職業としての文学教育【4】	ELIT						
Lecture on Economic	INTE	Literature and Media for	ELIT	環境経済学【4】	INTE	English Project Workshop [4]	ELIT						
Policy (4)		Children and Young Adults [4]											
ごジネスデータ分析【4】	INTB	市民権の文化史【4】	ELIT	アドバンスト 戦略・マー ケティング【4】	INTB	映画論【4】	ELIT						00
多国籍企業論【4】	INTB	都市文化デザイン論【4】	ELIT	アドバンスト 会計・ファイナンス【4】	INTB	クリティカル・リーディング【4】	ELIT			J	選択科目	選択	26 %2
アドバンスト 組織・人材 マネジメント【4】	INTB	Global Media and Culture [4]	GLOB	Lecture on Cross- cultural Management [4]	INTB	International Academic Relations [4]	GLOB	集中講義和	料目は、実				
		Twenty-First Century Cities [4]				Global Peace and Security [4]	GLOB	務家教員が	が担当する				
			O ALB	O又はホームページにて確認	してくだ			(春・秋)カ	作度に				
哲学·人間学特殊講義【2】	PHAN	英語学特殊講義【2】	ELNG	Special Topics in Philosophical Anthropology [2]	PHAN	Special Topics in International Business Studies [2]	INTB	よって変動 開講年度の	始まる前の				
	GHIS	英語圏文学・文化特殊講義	ELIT	Special Topics in	GHIS	Special Topics in	LING	3月中旬に ALBO又は	JHUKYO				
グローバル・ヒストリー特		【2】 国際ビジネス学特殊講義		Global History [2] Special Topics in		Linguistics [2] Special Topics in Intercultural		ホームペー	-ジにて、				
殊講義【2】			INTB	International Politics [2]	INTP	Communication [2]	INTC	担当者名」	を確認し				
	INTP	[2] 言語学特殊講義[2]	LING	Special Topics in International	INTD	Special Topics in English Linguistics [2]	ELNG	てください	١,٠				
殊講義【2】 国際政治学特殊講義【2】				Special Topics in	INTD	Special Topics in English Linguistics [2] Special Topics in English Literature and Culture [2]	ELNG ELIT	24/230	100				

[【]注意事項】 学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。 ※1 各区分の卒業要件を超えて修得した単位は、『【J】選択単位」として集計されます。 ※2 『【J】選択単位」が卒業要件を超えて場合は、『Jコート単位」として集計されます。 ※3 Double Major、1 Major+1 Minorを修了するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。) ※4 Double Majorを修了するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。) ※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

	8	学	部固]有科	目一覧表	国際	学部 [国際学科 国際政	女治学専:	攻(P2) 国際	祭開発学専修	多(INTE) (P2	2-2))
		学年 区分		卒業要件 単位数	1.1		主専修	1年秋 科目名【単位数】		2 科目名【単	2年春		主専修	2年秋 科目名【単位数】 主専修
		四月		— 123X	English for Pract Communication	ical		Overseas University Studies [12]	Integrate	ed Academic S				Integrated Academic Skills II[2] 全專修
	А	世界の言語 (英語)	必修	22	English for Discu and Presentation English for Acad Purposes [2]	ssion [2]	全専修	Otudies [12]						
	В	世界の言語 (第二外国語)	必修	8 ※1	Laboses [5]				フランス語 フランス語 ドイツ語II スペイン語 スペイン 中国語IA 中国語IIA	FIA (2) A (2) A (2) FIA (2) FIA (2) (2)	□シア語IA 【 □シア語IA 【 イタリア語IA イタリア語IA 韓国語IA 【2】 韓国語IA 【2】	[2] [2] [2]	全専修	フランス語IB (2) ロシア語IB (2) フランス語IB (2) ロシア語IB (2) ドイツ語IB (2) イタリア語IB (2) ドイツ語IB (2) イタリア語IB (2) スペイン語IB (2) 韓国語IB (2) スペイン語IB (2) 韓国語IB (2) 中国語IB (2) 中国語IB (2)
	С	学部基礎	必修	4	入門ゼミ(アカデミック・スキル		全専修 INTP			デザイン【2】			全専修	I MINIAGE ACT
2		自専攻基礎 他専攻基礎	選択 と	4 *1	国際関係論[2] 国際開発学入門[2] 哲学、人間学入門[論理とき クローバル・ヒストリー概論[歴 国際経営学入門[(組織・戦 ことばの仕組み[2] 異文化理解概論[2] 英語学概論[2] 英語響文学概論[2]	(学)[2] F (学)[2] (学)[2] (学)[2] (略)[2] (略)[2]	INTD PHAN GHIS INTE							
6	F	自専修基礎	必修	4	火品圏又子阪洲【2】		CLII			onal Developm			INTD	
7										間学入門Ⅱ(人間学 tion to Global				Introduction to Philosophy and Humanities [2] PHAN グローバル・ヒストリー概論 I (グローバル・ヒストリー) [2] GHIS
8 9 10 11	G	他専修基礎	選択必修	2 ※1					国際経済 国際経営 理論言語 Introduc English	tion to Theory _anguage【2】	経済学)【2】 プァイナンス)【2 of Culture【	2] [2]	INTP INTE INTB LING INTC ELNG	国際関係史 [2] INTP Introduction to International Economics [2] INTE Introduction to International Business [2] INTB Introduction to Linguistics [2] LING コミュニケーション論概論 [2] INTC 英語と文法化 [2] ELNG
12							-		Understa 社会開発	nding Film and ⋒[4]	Popular Cult	ure [2]	ELIT	Understanding Fiction, Drama and Poetry [2] ELIT 持続可能な開発論 [4] INTD
13	Н	自専修科目	必修	16			_			レ・ガバナンス論	[4]			International Development StudiesII[4] INTD
14	1	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8										
15	K	卒業研究	必修	6			\dashv							
17 18 19 20 21 22 23	J	選択科目	選択	26 *2							国内~海外~	留学科目ンターンナー	/シップ /シップ	[2] 〈2~4年全専修〉
	学科	斗 専攻	Ę	専攻コード			修コード	学科 専攻	専攻コード	専修 専修	専修略 専	修コード 学	料	専攻 専攻コード 専修 専修コード
	国際学科	国際人間等		P2	グローバル・ヒストリー (国際政治学 I	HIS NTP	P1-1 P1-2 P2-1 P2-2	国際 学科 Global Liberal Studie	P3 98 P4	国際経済学 国際ビジネス学 Global Liberal Studi	INTB F	- V	福 複	

	名【単位	F春 ī数】	主専修	科目	-0- 名【単位	∓秋 立数】	主専修	4年春科目名【単位数】	4年秋 科目名【単位数】		学年 区分		卒業要(単位数
										А	世界の言語 (英語)	必修	22
アランス語皿A [2] アランス語VA [2] アランス語VA [2] ドイツ語皿A [2] ドイツ語WA [2] ドイツ語VA [2] スペイン語皿A [2] スペイン語WA [2]		中国語IIA [2] 中国語VA [2] 中国語VA [2] ロシア語IIA [2] ロシア語VA [2] ロシア語VA [2] スペイン語VA [2]	全専修	フランス語ⅢB【2】 フランス語NB【2】 フランス語VB【2】 ドイツ語ⅢB【2】 ドイツ語WB【2】 ドイツ語VB【2】 スペイン語ⅢB【2】 スペイン語ⅢB【2】		中国語IIB [2] 中国語VB [2] 中国語VB [2] ロシア語IIB [2] ロシア語VB [2] ロシア語VB [2] スペイン語VB [2]	- 全専修		1	В	世界の言語 (第二外国語)	必修	8 **1
										C	学部基礎	必修	4
						太枠内科目(第二タを修得した場合、 修得単位数は「 J選 単位として集計され	ま択単位	立 」の		E	他專攻基礎	必修 選択修	4 *1
										F	自専修基礎	必修	4
										G	他專修基礎	選択必修	2 ※1
										Н	自専修科目	必修	16
国際開発学演習I(持続可能 国際開発学演習I(社会開発 国際開発学演習I(グローバ)	論)【4】		INTD	国際開発学演習Ⅱ(持続可能 国際開発学演習Ⅱ(社会開発 国際開発学演習Ⅱ(グローバ。	論)【4】		INTD INTD			1	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8
グローバル現代思想【4】		言語獲得【4】		アジア思想【4】		言語の起源と進化【4】	LING	卒業研究【通	年6】全専修	K	卒業研究	必修	6
心とAIの哲学【4】		音声学と音韻論【4】		正義論【4】		意味論【4】	LING						
応用倫理学【4】	PHAN	Current Topics in Linguistics [4]	LING	Comparative Thought (East and West) [4]	PHAN	言語学特別研究【4】	LING						
歴史のなかの国民国家とナ ショナリズム【4】		ヨーロッパ文化研究【4】		宗教からたどる世界史【4】	GHIS	現代社会と宗教【4】	INTC						
資料とデータで読む世界史【4】 複数性のアジア史【4】		日中比較文化論【4】 翻訳・通訳と現代社会【4】		越境する世界史【4】 History of Modern Japan【4】		文化論的メディア研究【4】 ロシア・東欧地域研究【4】	INTC						
後数性のアクア史(4) 日本政治論(4)	INTP	Workshop in Intercultural		難民と国際政治【4】	INTP	文化科学研究【4】	INTC						
比較政治学【4】	INTP	Communication Research [4] 英語科教育法I[4]		国際機構論【4】	INTP	英語科単元構成論【4】	ELNG						
Lecture on Foreign Policy (4)				安全保障論【4】	INTP	Changes in English [4]	-						
国際平和開発論【4】		実用英語運用法【4】		地域特性と開発【4】	INTD	認知言語学と英語教育【4】	ELNG						
国際環境政策論【4】 International Development Policy【4】	INTD	英語の通訳【2】 英語の翻訳【2】		市民社会と開発【4】	INTD	英語の通訳I【2】 英語の翻訳I【2】	ELNG ELNG						
international Development Policy[4] 海外投資論【4】	INTE	Professional English [4]		開発経済学【4】	INTE	A Media Literacy [4]	ELIT						
公共経済学【4】	INTE	Current Topics [4]	ELIT	産業組織論【4】	INTE	職業としての文学教育【4】	ELIT						
Lecture on Economic Policy (4)	INTE	Literature and Media for Children and Young Adults [4]	ELIT	環境経済学【4】	INTE	English Project Workshop [4]	ELIT						
ビジネスデータ分析【4】	INTB	市民権の文化史【4】	ELIT	アドバンスト 戦略・マー ケティング【4】	INTB	映画論【4】	ELIT		4				
多国籍企業論【4】	INTB	都市文化デザイン論【4】	ELIT	アドバンスト 会計・ファイナンス【4】	INTB	クリティカル・リーディング【4】	ELIT			J	選択科目	選択	26 ※2
アドバンスト 組織・人材マネジメント【4】	INTB	Global Media and Culture [4] Twenty-First Century Cities [4]		Lecture on Cross-cultural Management [4]	INTB	International Academic Relations [4] Global Peace and Security[4]	GLOB GLOB	集中講義和 務家教員が 授業が多く (春・秋)か	が担当する				***
		講義科目(開講期はUHUKY 英語学特殊講義【2】	ELNG	O又はホームページにて確認し Special Topics in	ア PHAN	Special Topics in International	INTB	よつく変動]します。				
近党·人間学特殊講義【O】		英語圏文学・文化特殊講義		Philosophical Anthropology [2] Special Topics in		Business Studies [2] Special Topics in		開講年度の3月中旬に	CHUKYO				
哲学・人間学特殊講義【2】	GHIS	[2]	ELIT	Global History [2]	GHIS	Linguistics [2]	LING	ALBO又は ホームペー	-ジにて、				
哲学・人間学特殊講義【2】 グローバル・ヒストリー特殊講義【2】				Special Topics in	INTP	Special Topics in Intercultural Communication [2]	INTC	「開講期・ 担当者名」 てください	を確認し				
グローバル・ヒストリー特殊講義【2】	INTP	国際ビジネス学特殊講義 [2]	INTB	International Politics [2] Special Topics in		Special Topics in		(<	١٥)				
グローバル・ヒストリー特 殊講義【2】	INTP	[2] 言語学特殊講義[2]	LING	Special Topics in International Development Studies [2]	INTD	Special Topics in English Linguistics [2]	ELNG	7	10				
グローバル・ヒストリー特殊講義[2] 国際政治学特殊講義[2] 国際開発学特殊講義[2] 国際経済学特殊講義[2]	INTD	[2]		Special Topics in International Development Studies [2] Special Topics in International Economics [2]	INTE	Special Topics in English Linguistics [2] Special Topics in English Literature and Culture [2] ページ)〉※3	ELNG	〈別表③(48ペー	(別表④(48ページ))※4 対象:				

[【]注意事項】 学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。 ※1 各区分の卒業要件を超えて修得した単位は、「【J】選択単位」として集計されます。 ※2 「【J】選択単位」が卒業要件を超えた場合は、「フロート単位」として集計されます。 ※3 Double Major・1 Major+1 Minorを修了するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。) ※4 Double Majorを修了するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。) ※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

	8	学	部固	有科	目一覧表	国際学部	国際学科	斗 国際紹	E済学専攻	文(P3) 国际	祭経済学専	修(INTI	E(P3-	1))
		学年 区分		卒業要件 単位数			8 科日名	手秋 【単位数】		科日名【自	2年春 é位数】		主専修	2年秋 科目名【単位数】 主専修
				— III	English for Pract Communication	ical	Overseas Studies	University	Integrate	d Academic	Skills I(2)		全専修	
	А	世界の言語 (英語)	必修	22	English for Discu and Presentation English for Acad Purposes [2]	ssion 1【2】 全專例								
	В	世界の言語 第二外国語)	必修	8 ※1					フランス語 フランス語 ドイツ語IA ドイツ語IIA スペイン語 スペイン語 中国語IA 中国語IIA	IA [2] [2] [2] IA [2] IA [2]	ロシア語IA ロシア語IIA イタリア語II イタリア語II 韓国語IA 【 韓国語IIA 【	(2) A (2) IA (2) (2)	- 全専修	フランス語IB [2] ロシア語IB [2] フランス語IB [2] ロシア語IB [2] ドイツ語IB [2] イタリア語IB [2] ドイツ語IB [2] イタリア語IB [2] スペイン語IB [2] 韓国語IB [2] スペイン語IB [2] 韓国語IB [2] 中国語IB [2] 中国語IB [2]
	С	学部基礎	必修	4	入門ゼミ(アカデミック・スキ)					デザイン【2】			全専修	
2		他専攻基礎	選択修	4 *1	国際経済学入門(ミクロ経) 国際経営学入門(組織・単 哲学・人間学入門(編理さ グローバル・ヒストリー 編創(歴 国際関係論[2] 国際開発学入門[2] ことばの仕組み[2] 異文化理解概論[2] 英語学概論[2]	略)[2] INTE 学)[2] PHAI 史学)[2] GHIS INTE LING INTC								
6	F	自専修基礎	必修	4	英語圏文学概論【2】	ELIT				:入門II(マクロA				Introduction to International Economics[2] INTE
7										学入門I(人間等 ion to Global		·]		Introduction to Philosophy and Humanities [2] PHAN グローバル・ヒストリー概論 [グローバル・ヒストリー] [2] GHIS
В									Introducti	on to Interna	ational Polit	tics [2]	INTP	
9	G	他専修基礎	選択必修	2 ※1					国際経営学	:入門Ⅱ(会計·]			INTB	Introduction to International Business [2] INTB
0								ļ.	理論言語学 Introducti	:入門(2) ion to Theory	of Culture	[2]		Introduction to Linguistics [2] LING コミュニケーション論概論[2] INTC
1								ļ.		anguage (2) nding Film and		ultura [2]		英語と文法化【2】 ELNG Understanding Fiction, Drama and Poetry 【2】 ELIT
2	Н	自専修科目	必修	16			_		計量経済学	[4]		artaro (Z.)	INTE	金融論【4】 INTE
3		ウま版い口	Y22.4C						Japan & Y	World Econor	my [4]		INIE	貿易論【4】 INTE
4	1	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8										
5	K	卒業研究	必修	6					日本語教授	注[0]			GI OB	日本語学【2】 GLOB
7 8 9 0 1 1 2 2 3 3	J	選択科目	選択	26 *2							国内海外	外留学科=グインター・オーター・オーター・オーター・オーター・オーター・オーター・オーター・オ	ンシップ ンシップ	[2] 〈2~4年全専修〉
j	学科			東攻コード		厚修略 専修コ- PHAN P1-	ド学科	専攻	専攻コード	専修 国際経済学	専修略 !	専修コード 5 P3-1		専攻 専攻コード 言語・ 目語・ LING P5-1
	国際学科	国際人間等		PI	グローバル・ヒストリー(SHIS P1-2	国際国	際経済学 —————bal Liberal Studie	P3 [国際ビジネス学 Global Liberal Stud	INTB	P3-2	言語 複	文化学 異文化コミュニケーション INTC P5-2
	- 1	国際政治等	Ź	P2 1		NTD P2-2		Sar Essorar Ottalië	~	5.5001 EIDOI (II O LUL			学科英	米学 P6 英語圏文学・文化 ELIT P6-2

	目名【単位	F春 泣数】	主専修	 科目	名【単位	F秋 泣数】	主専修	4年春科目名【単位数】	4年秋 科目名【単位数】		学年 区分		卒業要 単位数
										А	世界の言語 (英語)	必修	22
フランス語 IIA [2] フランス語 IVA [2] フランス語 VA [2] ベイツ語 IVA [2] ベイツ語 IVA [2] ベイツ語 IVA [2] スペイン語 IVA [2]		中国語IIA [2] 中国語VA [2] 中国語VA [2] ロシア語IIA [2] ロシア語VA [2] ロシア語VA [2] スペイン語VA [2]	全専修	フランス語皿B【2】 フランス語NB【2】 フランス語VB【2】 ドイツ語皿B【2】 ドイツ語NB【2】 ドイツ語VB【2】 ドイツ語WB【2】 スペイン語皿B【2】 スペイン語MB【2】		中国語IIB [2] 中国語VB [2] 中国語VB [2] ロシア語IIB [2] ロシア語VB [2] ロシア語VB [2] スペイン語VB [2]	- 全専修		1	В	世界の言語 (第二外国語)	必修	8 **1
										С	学部基礎	必修	4
						太枠内科目(第二タ を修得した場合、 修得単位数は「 J選 単位として集計され	ま択単位	立 」の		E	他専攻基礎	必修選択修	4 *1
										F	自専修基礎	必修	4
										G	他專修基礎	選択必修	2 ※1
										Н	自専修科目	必修	16
国際経済学演習I(マクロ経 国際経済学演習I(ミクロ経 国際経済学演習I(計量経済	済学)【4】		INTE	国際経済学演習II(マクロ経済 国際経済学演習II(ミクロ経済 国際経済学演習II(計量経済	斉学)【4		INTE INTE			1	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8
グローバル現代思想[4] 心とAIの哲学[4] 応用倫理学[4]		言語獲得【4】 音声学と音韻論【4】 Current Topics in	LING	アジア思想【4】 正義論【4】 Comparative Thought		言語の起源と進化【4】 意味論【4】	LING	卒業研究【通	年6】全専修	K	<u>卒業研究</u>	必修	6
心用間注す【サ】	I I I IAIN			Comparative modelin	DHAN	言語学性則研究[/]	LING						
歴史のなかの国民国家とナショナリズム[4] 資料とデータで読む世界史[4] 複数性のアジア史[4] 日本政治論[4] 比較政治学[4] Lecture on Foreign Policy[4]	GHIS GHIS INTP INTP	翻訳·通訳と現代社会[4] Workshop in Intercultural Communication Research[4] 英語科教育法I[4] 教育文法論[4]	INTC INTC INTC ELNG ELNG	(East and West) [4] 宗教からたどる世界史[4] 越境する世界史[4] History of Modern Japan[4] 難民と国際政治[4] 国際機構論[4] 安全保障論[4]	GHIS GHIS GHIS INTP	言語学特別研究[4] 現代社会と宗教[4] 文化論的メディア研究[4] ロシア・東欧地域研究[4] 文化科学研究[4] 英語科単元構成論[4] Changes in English[4]							
歴史のなかの国民国家とナショナリズム[4] 資料とデータで読む世界史[4] 複数性のアジア史[4] 日本政治論[4] 比較政治学[4] Lecture on Foreign Policy[4] 国際平和開発論[4] 国際環境政策論[4] International Development Policy[4] 海外投資論[4] 公共経済学[4] Lecture on Economic	GHIS GHIS INTP INTP INTP INTD	ヨーロッパ文化研究 [4] 日中比較文化論 [4] 翻訳・通訳と現代社会 [4] Workshop in Intercultural Communication Research [4] 英語科教育法 [4] 教育文法論 [4] 実用英語運用法 [4] 英語の通訳 [2] 英語の翻訳 [2] Professional English [4] Current Topics [4] Literature and Media for	INTC INTC INTC ELNG ELNG ELNG ELNG ELNG	(East and West) [4] 宗教からたどる世界史[4] 越境する世界史[4] History of Modern Japan[4] 難民と国際政治[4] 国際機構論[4]	GHIS GHIS INTP INTP INTP INTD INTD	現代社会と宗教[4] 文化論的メディア研究[4] ロシア・東欧地域研究[4] 文化科学研究[4] 英語科単元構成論[4] Changes in English [4] 認知言語学と英語教育[4] 英語の通訳[[2] 英語の翻訳[[2] Media Literacy [4] 職業としての文学教育[4]	INTC INTC INTC INTC						
歴史のなかの国民国家とナショナリズム[4] 資料とデータで読む世界史[4] 複数性のアジア史[4] 日本政治論[4] 比較政治学[4] Lecture on Foreign Policy[4] 国際平和開発論[4] 国際環境政策論[4] International Development Policy[4] 海外投資論[4] 公共経済学[4] Lecture on Economic Policy[4]	GHIS GHIS INTP INTP INTD INTD INTD INTD INTE INTE INTE	ヨーロッパ文化研究[4] 日中比較文化論[4] 翻訳・通訳と現代社会[4] Workshop in Intercultural Communication Research[4] 英語科教育法[4] 教育文法論[4] 実用英語運用法[4] 英語の通訳[[2] 英語の通訳[[2] Professional English[4] Current Topics [4]	INTC INTC INTC INTC ELNG ELNG ELNG ELNG ELNG ELIT ELIT ELIT	(East and West) [4] 宗教からたどる世界史[4] 越境する世界史[4] History of Modern Japan[4] 難民と国際政治[4] 国際機構論[4] 安全保障論[4] 市民社会と開発[4] フィールドと開発[4] アドルンスト 戦略・マーケティング[4]	GHIS GHIS GHIS INTP INTP INTD INTD INTD INTE INTE INTE	現代社会と宗教[4] 文化論的メディア研究[4] ロシア・東欧地域研究[4] 文化科学研究[4] 英語科単元構成論[4] Changes in English [4] 認知言語学と英語教育[4] 英語の通訳[[2] 英語の翻訳[[2] Media Literacy [4] 職業としての文学教育[4] English Project Workshop [4] 映画論[4]	INTC INTC INTC INTC ELNG ELNG ELNG ELNG ELNG ELIT ELIT ELIT			J	選択科目	選択	260
歴史のなかの国民国家とナショナリズム[4] 資料とデータで読む世界史[4] 複数性のアジア史[4] 日本政治論[4] 比較政治学[4] Lecture on Foreign Policy[4] 国際平和開発論[4] 国際環境政策論[4] International Development Policy[4] 海外投資論[4] 公共経済学[4] Lecture on Economic Policy[4]	GHIS GHIS INTP INTP INTD INTD INTD INTD INTE INTE INTE INTE INTB	ヨーロッパ文化研究[4] 日中比較文化論[4] 翻訳・通訳と現代社会[4] Workshop in Intercultural Communication Research [4] 英語科教育法[4] 莱用英語無[4] 英語の通訳[2] Professional English [4] Current Topics [4] Literature and Media for Children and Young Adults [4] 市民権の文化史[4] 都市文化デセン論[4] 都市文化デザイン論[4] Global Media and Culture [4] Twenty-First Century Cities [4]	INTC INTC INTC INTC ELNG ELNG ELNG ELNG ELIT ELIT ELIT ELIT GLOB GLOB	(East and West) [4] 宗教からたどる世界史[4] 越境する世界史[4] History of Modern Japan[4] 難民と国際政治[4] 理民と国際政治[4] 地域特性と開発[4] 市民社会と開発[4] フィールドと開発[4] 開発経済学[4] 産業組織論[4] 環境経済学[4] アドバンスト 戦略・マーケティング[4] Lecture on Cross-cultural Management [4]	GHIS GHIS GHIS INTP INTP INTD INTD INTD INTE INTE INTE INTE INTB	現代社会と宗教[4] 文化論的メディア研究[4] ロシア・東欧地域研究[4] 文化科学研究[4] 英語科単元構成論[4] Changes in English [4] 認知言語学と英語教育[4] 英語の翻訳[[2] 英語の翻訳[[2] Media Literacy [4] 職業としての文学教育[4] English Project Workshop [4] 映画論[4] クリティカル・リーディング[4] International Academic Relations [4] Global Peace and Security[4]	INTC INTC INTC INTC ELNG ELNG ELNG ELNG ELNG ELIT ELIT ELIT ELIT GLOB	集中講義員 務務 授業が多	が担当する	J	選択科目	選択	26 *2
歴史のなかの国民国家とナショナリズム [4] 資料とデータで読む世界史 [4] 複数性のアジア史 [4] 日本政治論 [4] 比較政治学 [4] Lecture on Foreign Policy [4] 国際平和開発論 [4] 国際環境政策論 [4] International Development Policy [4] 海外投資論 [4] 公共経済学 [4] Lecture on Economic Policy [4] ビジネスデータ分析 [4] 多国籍企業論 [4] アドバンスト 組織・人材マネジメント [4]	GHIS GHIS INTP INTP INTP INTD INTD INTD INTE INTE INTE INTE INTB	ヨーロッパ文化研究[4] 日中比較文化論[4] 翻訳・通訳と現代社会[4] Workshop in Intercultural Communication Research [4] 英語科教育法[4] 教育文法論[4] 英語の通訳[2] 英語の翻訳[2] Professional English[4] Current Topics [4] Literature and Media for Children and Young Adults [4] 市民権の文化史[4] 都市文化デザイン論[4] Global Media and Culture [4]	INTC INTC INTC INTC ELNG ELNG ELNG ELNG ELIT ELIT ELIT ELIT GLOB GLOB	(East and West) [4] 宗教からたどる世界史[4] 越境する世界史[4] History of Modern Japan[4] 難民と国際政治[4] 理民と国際政治[4] 地域特性と開発[4] 市民社会と開発[4] フィールドと開発[4] 開発経済学[4] 産業組織論[4] 環境経済学[4] アドバンスト 戦略・マーケティング[4] Lecture on Cross-cultural Management [4]	GHIS GHIS GHIS INTP INTP INTD INTD INTD INTE INTE INTE INTE INTB	現代社会と宗教[4] 文化論的メディア研究[4] ロシア・東欧地域研究[4] 文化科学研究[4] 英語科単元構成論[4] Changes in English [4] 認知言語学と英語教育[4] 英語の翻訳[[2] 英語の翻訳[[2] Media Literacy [4] 職業としての文学教育[4] English Project Workshop [4] 映画論[4] クリティカル・リーディング[4] International Academic Relations [4] Global Peace and Security[4]	INTC INTC INTC INTC ELNG ELNG ELNG ELNG ELNG ELIT ELIT ELIT ELIT GLOB	務家教員が 授業が多く (春・秋)か よって変動 開講年度の	が担当する 、開講期 作度に いします。 始まる前の	J	選択科目	選択	26
歴史のなかの国民国家とナショナリズム[4] 資料とデータで読む世界史[4] 複数性のアジア史[4] 日本政治論[4] 比較政治学[4] Lecture on Foreign Policy[4] 国際平和開発論[4] 国際環境政策論[4] International Development Policy[4] 海外投資論[4] 公共経済学[4] Lecture on Economic Policy [4] ビジネスデータ分析[4] 多国籍企業論[4] アドバンスト 組織・人材マネジメント[4]	GHIS GHIS INTP INTP INTP INTD INTD INTD INTE INTE INTE INTE INTB	ヨーロッパ文化研究[4] 日中比較文化論[4] 翻訳・通訳と現代社会[4] Workshop in Intercultural Communication Research [4] 英語科教育法[4] 教育文法論[4] 英語の通訳[2] 英語の翻訳[2] Professional English[4] Current Topics [4] Literature and Media for Children and Young Adults [4] 市民権の文化史[4] 都市文化デザイン論[4] 「同日国 Media and Culture [4] Twenty-First Century Cities[4] 講義科目(開講期はCHUKY	INTC INTC INTC INTC ELNG ELNG ELNG ELNG ELIT ELIT ELIT ELIT GLOB GLOB O ALBO	(East and West) [4] 宗教からたどる世界史[4] 越境する世界史[4] History of Modern Japan[4] 難民と国際政治[4] 国際機構論[4] 安全保障論[4] 地域特性と開発[4] 市民社会と開発[4] フィールドと開発[4] 開発経済学[4] 産業組織論[4] 理境経済学[4] アドバンスト 戦略・マーケティング[4] アドバンスト 会計・ファイナンス[4] Lecture on Crosscultural Management [4] フスはホームページにて確認 Special Topics in	GHIS GHIS GHIS INTP INTP INTD INTD INTD INTE INTE INTE INTB INTB	現代社会と宗教 [4] 文化論的メディア研究 [4] ロシア・東欧地域研究 [4] 文化科学研究 [4] 英語科単元構成論 [4] Changes in English [4] 認知言語学と英語教育 [4] 英語の翻訳 [12] 英語の翻訳 [12] 英語の翻訳 [2] 大きいての文学教育 [4] English Project Workshop [4] 映画論 [4] クリティカル・リーディング [4] International Academic Relations [4] Global Peace and Security [4] さい) Special Topics in International	INTC INTC INTC INTC INTC ELNG ELNG ELNG ELNG ELIT ELIT ELIT ELIT GLOB GLOB	務家教員が 授業が多く (春・秋)か よって変動 開講年度の 3月中旬に ALBO又は	が担当する 、開講期 が年度に iUます。 始まる前の CHUKYO	J	選択科目	選択	26 *2
歴史のなかの国民国家とナショナリズム [4] 資料とデータで読む世界史 [4] 複数性のアジア史 [4] 日本政治論 [4] 比較政治学 [4] Lecture on Foreign Policy [4] 国際平和開発論 [4] 国際環境政策論 [4] International Development Policy [4] 海外投資論 [4] Lecture on Economic Policy [4] ビジネスデータ分析 [4] 多国籍企業論 [4] アドバンスト 組織・人材	GHIS GHIS INTP INTP INTP INTD INTD INTE INTE INTE INTB INTB INTB	ヨーロッパ文化研究【4】 日中比較文化論[4】 翻訳・通訳と現代社会【4】 Workshop in Intercultural Communication Research [4] 英語科教育法[4] 教育文法論【4】 実用英語運用法【4】 英語の翻訳【2】 Professional English【4】 Current Topics【4】 Literature and Media for Children and Young Adults [4] 市民権の文化史【4】 都市文化デザイン論【4】 Global Media and Culture【4】 Twenty-First Century Cities【4】 講義科目(開講期はCHUKY 英語学特殊講義【2】 英語圏文学・文化特殊講義	INTC INTC INTC INTC ELNG ELNG ELNG ELNG ELIT ELIT ELIT GLOB GLOB O ALBO ELNG	(East and West) [4] 宗教からたどる世界史[4] 越境する世界史[4] History of Modern Japan[4] 難民と国際政治[4] 軍民と国際政治[4] 世域特性と開発[4] 市民社会と開発[4] アドルンスト 戦略・マーケティング[4] アドルンスト 戦略・マーケティング[4] アドルンスト 戦略・マーケティング[4] アドルンスト 戦略・マーケティング[4] フィールページにて確認(Special Topics in Philosophical Anthropology[2] Special Topics in International Politics[2]	GHIS GHIS GHIS INTP INTP INTD INTD INTD INTE INTE INTE INTB INTB INTB	現代社会と宗教[4] 文化論的メディア研究[4] ロシア・東欧地域研究[4] 文化科学研究[4] 英語科単元構成論[4] Changes in English [4] 認知言語学と英語教育[4] 英語の翻訳I[2] 英語の翻訳I[2] 横につの文学教育[4] English Project Workshop [4] 映画論[4] クリティカル・リーディング[4] International Academic Relations [4] Global Peace and Security[4] さい) Special Topics in International Business Studies [2] Special Topics in Intercultural Communication [2]	INTC INTC INTC INTC ELNG ELNG ELNG ELNG ELIT ELIT ELIT ELIT GLOB GLOB	務家教員が 授業が多く (春・て変動 開講年度の 3月中旬に	が 担 開度 に は は は は は に に に に に に に に に に に に に	J	選択科目	選択	26 *2
歴史のなかの国民国家とナショナリズム [4] 資料とデータで読む世界史 [4] 複数性のアジア史 [4] 日本政治論 [4] 比較政治学 [4] Lecture on Foreign Policy [4] 国際平和開発論 [4] 国際環境政策論 [4] International Development Policy [4] 海外投資論 [4] Lecture on Economic Policy [4] ピジネスデータ分析 [4] 多国籍企業論 [4] アドバンスト 組織・人材 マネジメント [4] 哲学・人間学特殊講義 [2] グローバル・ヒストリー特 殊講義 [2]	GHIS GHIS INTP INTP INTD INTD INTD INTE INTE INTE INTB INTB INTB GHIS	ヨーロッパ文化研究[4] 日中比較文化論[4] 翻訳・通訳と現代社会[4] Workshop in Intercultural Communication Research [4] 英語科教育法[4] 教育文法論[4] 英語の通訳[2] 英語の翻訳[2] Professional English[4] Current Topics [4] Literature and Media for Children and Young Adults [4] 市民権の文化史[4] 都市文化デザイン論[4] Global Media and Culture [4] Twenty-First Century Cities [4] 講義科目(開講期はCHUKY 英語学特殊講義[2] 英語圏文学・文化特殊講義	INTC INTC INTC INTC ELNG ELNG ELNG ELNG ELIT ELIT ELIT ELIT ELIT ELIT ELIT ELIT	(East and West) [4] 宗教からたどる世界史[4] 越境する世界史[4] History of Modern Japan[4] 難民と国際政治[4] 国際機構論[4] 安全保障論[4] 地域特性と開発[4] 市民社会と開発[4] フィールドと開発[4] 開発経済学[4] 産業組織論[4] 環境経済学[4] アドバンスト 戦略・マーケティング[4] Pドバンスト 戦略・マーケティング[4] Lecture on Crosscultural Management [4] O又はホームページにて確認 Special Topics in Philosophical Anthropology[2] Special Topics in Global History [2] Special Topics in Global History [2] Special Topics in	GHIS GHIS GHIS INTP INTP INTD INTD INTD INTE INTE INTE INTB INTB INTB INTB INTB INTB INTB	現代社会と宗教[4] 文化論的メディア研究[4] ロシア・東欧地域研究[4] 文化科学研究[4] 英語科単元構成論[4] Changes in English [4] 認知言語学と英語教育[4] 英語の翻訳[[2] 英語の翻訳[[2] 英語の翻訳[[2] 大語の翻訳[[2] 大語の翻訳[[4] 大語の翻訳[[4] 大語の翻訳[[4] 大語の翻訳[[4] 大語の翻訳[[4] 大語の翻訳[[4] 大語の本語では、また。 「は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	INTC INTC INTC INTC INTC ELNG ELNG ELNG ELNG ELIT ELIT ELIT ELIT GLOB GLOB INTB	務実を 務実を を を を を を の の の の の の の の の の の の の	が 担 開度 に は は は は は に に に に に に に に に に に に に	J	選択科目	選択	26 *2

[【]注意事項】 学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。 ※1 各区分の卒業要件を超えて修得した単位は、「【J】選択単位」として集計されます。 ※2 「【J】選択単位」が卒業要件を超えた場合は、「フロート単位」として集計されます。 ※3 Double Major・1 Major+1 Minorを修了するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。) ※4 Double Majorを修了するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。) ※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

科目	35 名【単位	F春 ū数】	主専修	科目	31 名【单位	年秋 立数】	主専修	4年春科目名【単位数】	4年秋 科目名【単位数】		学年 区分		卒業要(単位数
										А	世界の言語 (英語)	必修	22
フランス語ⅢA [2] フランス語IVA [2] フランス語VA [2] イツ語ⅢA [2] イツ語IVA [2] イツ語IVA [2] スペイン語IIA [2] スペイン語IIA [2]		中国語IIA [2] 中国語IVA [2] 中国語VA [2] ロシア語IIA [2] ロシア語IVA [2] ロシア語VA [2] スペイン語VA [2]	全専修	フランス語皿B [2] フランス語VB [2] フランス語VB [2] ドイツ語皿B [2] ドイツ語VB [2] ドイツ語VB [2] スペイン語皿B [2] スペイン語WB [2]		中国語IIB [2] 中国語IVB [2] 中国語VB [2] ロシア語IIB [2] ロシア語IVB [2] ロシア語VB [2] スペイン語VB [2]	- 全専修		1	В	世界の言語 (第二外国語)	必修	8 **1
() >				NOT THE PROPERTY OF THE PROPER						С	学部基礎	必修	4
						· 太枠内科目(第二5	al E≕E∓r	+ = 1		D	自専攻基礎	必修	4
						を修得した場合、 修得単位数は「 J選 単位として集計され	ま択単位	1 」の		Е	他専攻基礎	選択必修	4 ※1
										F	自専修基礎	必修	4
										G	他専修基礎	選択必修	2 ※1
										Н	自専修科目	必修	16
国際ビジネス学演習I(組織 国際ビジネス学演習I(会計 国際ビジネス学演習I(戦略	・ファイナ	-ンス)【4】	INTB	国際ビジネス学演習Ⅱ(組織 国際ビジネス学演習Ⅱ(会計 国際ビジネス学演習Ⅱ(戦略	・ファイ:	ナンス)【4】	INTB INTB INTB			1	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8
		言語獲得【4】				言語の起源と進化【4】	LING	华莱研究【 通	年6】全専修	K	卒業研究	必修	6
ひとAIの哲学【4】	PHAN	音声学と音韻論【4】 Current Topics in	LING	Comparative Thought		意味論【4】	LING						
		Linguistics 【4】 ヨーロッパ文化研究【4】		(East and West) [4] 宗教からたどる世界史[4]	GHIS		INTC						
ンョナリズム【4】 資料とデータで読む世界史【4】				越境する世界史【4】		文化論的メディア研究【4】	INTC						
复数性のアジア史【4】		翻訳・通訳と現代社会【4】		History of Modern Japan [4]									
日本政治論【4】	INTP	Workshop in Intercultural Communication Research [4]	INTC	難民と国際政治【4】	INTP	文化科学研究【4】	INTC						
比較政治学【4】		英語科教育法[[4]		国際機構論【4】	INTP		ELNG						
ecture on Foreign Policy (4) 国際亚和関発論(4)				安全保障論【4】	INTP								
国際平和開発論【4】 国際環境政策論【4】	INTD	実用英語運用法【4】 英語の通訳I【2】		地域特性と開発【4】 市民社会と開発【4】	INTD	認知言語学と英語教育(4) 英語の通訳I(2)	ELNG						
nternational Development Policy[4]				フィールドと開発【4】	INTD	英語の翻訳[[2]	ELNG						
海外投資論【4】	INTE	Professional English [4]		開発経済学【4】	INTE		ELIT						
公共経済学【4】 _ecture on Economic	INTE	Current Topics [4] Literature and Media for	ELIT	産業組織論【4】	INTE	職業としての文学教育【4】 English Project	ELIT						
Policy [4]	INTE	Children and Young Adults [4]	ELIT	環境経済学【4】	INTE	English Project Workshop (4)	ELIT						
ごジネスデータ分析【4】	INTB	市民権の文化史【4】	ELIT	アドバンスト 戦略・マー ケティング【4】	INTB	映画論【4】	ELIT		Y				
多国籍企業論【4】	INTB	都市文化デザイン論【4】	ELIT	アドバンスト 会計・ファイナンス[4]	INTB	クリティカル・リーディング【4】	ELIT			J	選択科目	選択	26 ※2
アドバンスト 組織・人材 マネジメント【4】	INTB	Global Media and Culture [4] Twenty-First Century Cities [4]		Lecture on Cross-cultural Management [4]	INTB	International Academic Relations [4] Global Peace and Security[4]	GLOB GLOB	集中講義和 務家教員が 授業が多く	が担当する				
元当 1830年本 101				O又はホームページにて確認し Special Topics in		Special Topics in International	INITO	(春・秋)カ よって変動	作度に 」します。				
哲学·人間学特殊講義【2】	PHAN	英語学特殊講義【2】	ELNG	Philosophical Anthropology [2]	PHAN	Business Studies [2]	INTB	開講年度の3月中旬に	始まる前の				
グローバル・ヒストリー特 株講義【2】	GHIS	英語圏文学·文化特殊講義 【2】	ELIT	Special Topics in Global History [2]	GHIS	Special Topics in Linguistics [2]	LING	ALBO又は ホームペー					
国際政治学特殊講義【2】	INTP	国際ビジネス学特殊講義 【2】	INTB	Special Topics in International Politics [2] Special Topics in	INTP	Special Topics in Intercultural Communication [2]	INTC	ボームペー 「開講期・ 担当者名」 てください	開講日・ を確認し				
国際開発学特殊講義【2】	INTD	言語学特殊講義【2】	LING	International Development Studies[2]	INTD	Special Topics in English Linguistics [2]	ELNG	7					
国際経済学特殊講義【2】	INTE	異文化コミュニケーション 特殊講義【2】	INTC	Special Topics in International Economics [2]	INTE	Special Topics in English Literature and Culture [2]	ELIT	/DI±@/42	/DI=0/40 *				
		ページ)〉※3		/801=	E@(40	3ページ)〉※3		(別表③(48ペー	〈別表④(48ペー				

[[]注意事項]
学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。
※1 名区分の卒業要件を超えて修得した単位は、『【J】選択単位」として集計されます。
※2 『【J】選択単位」が卒業要件を超えた場合は、『フロート単位」として集計されます。
※3 Double Major、1 Major+1 Minorを修了するためには、該当科目から、8 単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。)
※4 Double Majorを修了するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。)
※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

科目	3年 名【単位		主専修	科目	-0- 名【単位	年秋 立数】	主専修	4年春科目名【単位数】	4年秋 科目名【単位数】		学年 区分		卒業要(単位数
										А	世界の言語 (英語)	必修	22
フランス語皿A [2] フランス語VA [2] フランス語VA [2] ベイツ語皿A [2] ベイツ語WA [2] ベイツ語VA [2] スペイン語皿A [2] スペイン語MA [2]		中国語IIA [2] 中国語VA [2] 中国語VA [2] ロシア語IIA [2] ロシア語VA [2] ロシア語VA [2] スペイン語VA [2]	全専修	フランス語ⅢB [2] フランス語NB [2] フランス語VB [2] ドイツ語ⅢB [2] ドイツ語NB [2] ドイツ語VB [2] スペイン語ⅢB [2] スペイン語WB [2]		中国語IIB [2] 中国語IVB [2] 中国語VB [2] ロシア語IIB [2] ロシア語IVB [2] ロシア語VB [2] スペイン語VB [2]	全専修			В	世界の言語 (第二外国語)	必修	8 **1
										С	学部基礎	必修	4
						太枠内科目(第二タ を修得した場合、 修得単位数は「 J選 単位として集計され	択単位	立 」の		E	他專攻基礎	選択修	4 *1
										F	自専修基礎	必修	4
										G	他專修基礎	選択必修	2 *1
										Н	自専修科目	必修	16
言語学演習I(理論言語学)【4 言語学演習I(比較統語論)【4 言語学演習I(統語と音韻の均	4])[4]		言語学演習Ⅱ(理論言語学)【 言語学演習Ⅱ(比較統語論)【 言語学演習Ⅱ(統語と音韻の:	4]	或)[4]	LING LING			1	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8
		言語獲得【4】		アジア思想【4】		言語の起源と進化【4】	LING	卒業研究【通	年6】全専修	Κ	卒業研究	必修	6
		音声学と音韻論【4】		正義論【4】		意味論【4】	LING						
応用倫理学【4】	PHAN	Current Topics in Linguistics [4]	LING	Comparative Thought (East and West) [4]	PHAN	言語学特別研究【4】	LING						
歴史のなかの国民国家とナショナリズム【4】		ヨーロッパ文化研究【4】		宗教からたどる世界史【4】	GHIS		INTC						
資料とデータで読む世界史【4】 複数性のアジア史【4】		日中比較文化論【4】 翻訳・通訳と現代社会【4】		越境する世界史【4】 History of Modern Japan【4】		文化論的メディア研究【4】 ロシア・東欧地域研究【4】	INTC						
日本政治論【4】	INTP	Workshop in Intercultural		難民と国際政治【4】	INTP		INTC						
比較政治学【4】	INTP	Communication Research [4] 英語科教育法I(4)		国際機構論【4】	INTP		ELNG						
Lecture on Foreign Policy[4]	INTP	教育文法論【4】	ELNG	安全保障論【4】	INTP	Changes in English [4]	ELNG						
国際平和開発論【4】 国際環境政策論【4】	INTD	実用英語運用法【4】		地域特性と開発【4】	INTD		ELNG ELNG						
国際環現政東論【4】 International Development Policy[4]		英語の通訳【2】 英語の翻訳【2】		市民社会と開発【4】	INTD		ELNG						
海外投資論【4】	INTE	Professional English [4]	ELIT	開発経済学【4】	INTE	Media Literacy [4]	ELIT						
公共経済学【4】	INTE	Current Topics [4]	ELIT	産業組織論【4】	INTE	職業としての文学教育【4】	ELIT						
Lecture on Economic Policy (4)	INTE	Literature and Media for Children and Young Adults [4]	ELIT	環境経済学【4】	INTE	English Project Workshop [4]	ELIT						
ビジネスデータ分析【4】	INTB	市民権の文化史【4】	ELIT	アドバンスト 戦略・マー ケティング【4】	INTB	映画論【4】	ELIT		Y				
多国籍企業論【4】	INTB	都市文化デザイン論【4】	ELIT	アドバンスト 会計・ファイナンス【4】	INTB	クリティカル・リーディング【4】	ELIT			J	選択科目	選択	26 ※2
アドバンスト 組織・人材マネジメント【4】	INTB	Global Media and Culture [4] Twenty-First Century Cities [4] 講義科目(閱講期はCHUKY		Lecture on Cross- cultural Management [4] ン又はホームページにて確認し	INTB	International Academic Relations [4] Global Peace and Security[4]	GLOB GLOB	集中講義和 務家教員が 授業が多く (春・秋)か	が担当する				
哲学・人間学特殊講義【2】		英語学特殊講義【2】	ELNG	Special Topics in	PHAN	Special Topics in International	INTB	よつ(发動]します。				
グローバル・ヒストリー特		英語圏文学·文化特殊講義	ELIT	Philosophical Anthropology [2] Special Topics in		Special Topics in		開講年度の 3月中旬に	CHUKYO				
殊講義【2】	GHIS	[2]	ELII	Global History [2]	GHIS	Linguistics [2]	LING	ALBO又は ホームペー	-ジにて、				
国際政治学特殊講義【2】	INTP	国際ビジネス学特殊講義 [2]	INTB	Special Topics in International Politics [2] Special Topics in	INTP	Special Topics in Intercultural Communication [2] Special Topics in	INTC	「開講期・ 担当者名」 てください	を確認し				
国際開発学特殊講義【2】	INTD	言語学特殊講義【2】	LING	International Development Studies [2]	INTD	English Linguistics [2]	ELNG	7					
	INTE	異文化コミュニケーション 特殊講義【2】	INTC	Special Topics in International Economics [2]	INTE	Special Topics in English Literature and Culture [2]	ELIT	/□II±@/40 ^°	〈別表④(48ペー				
国際経済学特殊講義【2】	長①(48	ページ)〉※3 r、1Major+1Minor		〈 別 月	₹@(48	3ページ)〉※3		〈別表③(48ペー ジ)〉※4 対象:	ジ)〉※4 対象:				

[【]注意事項】 学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。 ※1 各区分の卒業要件を超えて修得した単位は、「【J】選択単位」として集計されます。 ※2 「【J】選択単位」が卒業要件を超えた場合は、「フロート単位」として集計されます。 ※3 Double Major・1 Major+1 Minorを修了するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。) ※4 Double Majorを修了するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。) ※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

	学年		卒業要件	1年春	語 言語文化学科 複 1年秋	2年春		(INTC (P5-2)) 2年秋	
	区分		単位数	科目名【単位数】 主	専修 科目名【単位数】	科目名【単位数】	主専修	科目名【単位数】	主専
Д	世界の言語 (英語)	必修	22	English for Practical Communication [2] English for Discussion and Presentation [2]		Integrated Academic Skills I[2]	全専修 Integrated	Academic Skills II [2]	全專
В	世界の言語 (第二外国語)	必修	8 ※1	English for Academic Purposes [2]		フランス語IA [2] ロシア語IA [2] フランス語IA [2] ロシア語IA [2] ドイツ語IA [2] イタリア語IA [2] ドイツ語IA [2] イタリア語IIA [2] 韓国語IA [2] 東国語IA [2] 中国語IA [2] 中国語IA [2]	_	3 (2) ロシア語IB (2) イタリア語IB (2) イタリア語IB (2) イタリア語IB (2) 韓国語IB (2) 韓国語IB (2) 韓国語IB (2) ロシー・	
С	学部基礎	必修	4	入門ゼミ(アカデミック・スキルズ)[2] 全		キャリア・デザイン【2】	全専修	=1	
	他專攻基礎	選択必修	4 *1	異文化理解概論 [2] 日哲学・人間学入門(論理と哲学)[2] 日グローバル・ヒストリー規論(歴史学)[2] 日国際関係論 [2] 日国際開発学入門[2] 日間際経済学入門(2) 日間際経済学入門(組織・戦略)[2] 日英語学概論 [2] 日	GHIS NTP NTD				
F	自専修基礎	必修	4			Introduction to Theory of Culture [2] 哲学·人間学入門I(人間学)[2]	INTC コミュニケー	ション論概論【2】 to Philosophy and Humanities	INT
3	他専修基礎	選択必修	2 *1			Introduction to Global History [2] Introduction to Global History [2] Introduction to International Politics [international Development StudiesI[2] 国際経済学入門I(クワロ経済学)[2] 国際経営学入門I(会計・ファイナンス)[2] 理論言語学入門[2] English Language [2] Understanding Film and Popular Culture	GHIS グローバル・と、 2】 INTP 国際関係史【 】 INTD 国際協力論【 INTE Introduction INTB Introduction LING Introduction ELNG 英語と文法化	ストリー概論I(グローバル・ヒストリー) 2] 2] n to International Economics n to International Business n to Linguistics 【2】	[2] GHI INTI INTI [2] INTI [2] INTI LING
H	自専修科目	選択必修	16 ※1			外国語学習から学ぶ複言語複文化[4] 文学から学ぶ言語文化[4] 多文化共生から学ぶ宗教文化[4] 映画から学ぶメディア文化[4]	INTC Glocal Stud INTC 社会言語学が INTC 芸術から学ぶ INTC ポピュラー文	ら学ぶ言語文化【4】	INT INT INT
1	自専修科目 (ゼミ)	選択必修	8						
K	卒業研究	必修	6			日本語教授法【2】	GLOB 日本語学【2】		GLO
J	選択科目	選択	26 *2						
J 学和	科事攻国際人間等	ine.	教コード	哲学·人間学 PHAN F	<u> </u>	国内インタ 海外インタ 海外セ	複言語·	F全専修〉 F全専修〉 専修〉	

科目	35 名【単位	F春 z数】	主専修		35 名【単位	年秋 立数】	主専修	4年春科目名【単位数】	4年秋 科目名【単位数】		学年 区分		卒業要 単位
										Α	世界の言語	必修	22
7ランス語ⅢA【2】		中国語IIA【2】		フランス語IIB【2】		中国語ⅢB【2】					(英語) 	212	
プランス語IVA 【2】		中国語IVA【2】		フランス語IVB【2】		中国語IVB【2】							
プランス語VA【2】		中国語VA【2】		フランス語VB【2】		中国語VB【2】							
ドイツ語ⅢA【2】 ドイツ語NA【2】		ロシア語ⅢA【2】 ロシア語ⅣA【2】	全専修	ドイツ語IIB【2】 ドイツ語IVB【2】		ロシア語ⅢB【2】 ロシア語NB【2】	全専修			В	世界の言語 (第二外国語)	必修	8 *1
*イツ語VA【2】		ロシア語VA【2】		ドイツ語VB【2】		ロシア語VB【2】							** 1
スペイン語IIA【2】		スペイン語VA【2】		スペイン語IIB【2】		スペイン語VB【2】							
スペイン語NA【2】				スペイン語IVB【2】						0	224 4 -17 + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	>/ bb	
										С		必修	4
						本枠内科目(第二9	1国証1	太田)		D	自専攻基礎	必修	4
						を修得した場合、		ы/ п)					
							*+0## <i>/</i> :	. I Ø					
						修得単位数は「」選				_	(1 (選択	4
						単位として集計され	はすり。			E	他専攻基礎	選択	*1
										F	自専修基礎	必修	4
												ASST C	
							ļ			G	他専修基礎	選択	2 %1
							ļ						
							ļ					ASST C	,,,
										Н	自専修科目	選択必修	16 %1
異文化コミュニケーション演				異文化コミュニケーション演			INTC						
異文化コミュニケーション演 異文化コミュニケーション演				異文化コミュニケーション演 異文化コミュニケーション演			INTC						
異文化コミュニケーション演				異文化コミュニケーション演			INTC			1	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8
異文化コミュニケーション演				異文化コミュニケーション演			INTC				(= -)	をいる	
異文化コミュニケーション演 異文化コミュニケーション演				異文化コミュニケーション演 異文化コミュニケーション演			INTC						
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	H-(200	V C I COMING TO THE		X X X X X X X X X X X X X X X X X X X		500 C TOMOV & 12		卒業研究【通	年6】全専修	K	卒業研究	必修	6
		言語獲得【4】		アジア思想【4】		言語の起源と進化【4】	LING						
心とAIの哲学【4】 応用倫理学【4】		音声学と音韻論【4】 Current Topics in Linguistics【4】		正義論【4】 Comparative Thought (East and West)【4】		意味論【4】 言語学特別研究【4】	LING						
歴史のなかの国民国家とナショナリズム【4】				宗教からたどる世界史【4】			INTC						
資料とデータで読む世界史【4】	GHIS	日中比較文化論【4】	INTC	越境する世界史【4】	GHIS	文化論的メディア研究【4】	INTC						
複数性のアジア史【4】	GHIS		INTC	History of Modern Japan [4]	GHIS		INTC						
日本政治論【4】	INTP	Workshop in Intercultural Communication Research [4]	INTC	難民と国際政治【4】	INTP		INTC						
比較政治学【4】 Lecture on Foreign Policy【4】	INTP	英語科教育法I【4】 教育文法論【4】		国際機構論【4】 安全保障論【4】	INTP		ELNG						
国際平和開発論【4】	INTD	実用英語運用法【4】		女主休停論【4】 地域特性と開発【4】	INTD	認知言語学と英語教育【4】							
国際環境政策論【4】	INTD	英語の通訳[【2】	ELNG	市民社会と開発【4】	INTD	英語の通訳[[2]	ELNG						
nternational Development Policy[4]		英語の翻訳【2】		フィールドと開発【4】	INTD		ELNG						
海外投資論【4】 公共経済学【4】	INTE	Professional English (4) Current Topics (4)	ELIT	開発経済学【4】 産業組織論【4】	INTE	Media Literacy 【4】 職業としての文学教育【4】	ELIT						
Lecture on Economic	INTE	Literature and Media for	ELIT	環境経済学【4】	INTE	English Project Workshop [4]	ELIT						
Policy 【4】 ビジネスデータ分析【4】	INTB	Children and Young Adults [4] 市民権の文化史[4]	ELIT		INTB	Workshop【4】 映画論【4】	ELIT						
多国籍企業論【4】	INTB	都市文化デザイン論【4】	ELIT	アドバンスト 会計・ファイナンス【4】	INTB	グリティカル・リーディング【4】	ELIT) m		26
アドバンスト 組織・人材マネジメント【4】	INTB	Global Media and	GLOB	Lecture on Cross-	INTB	International Academic	GLOB	#=======	ND/+ (+)	J	選択科目	選択	26 %2
マホン人ノト[4]		Culture [4] Twenty-First Century Cities [4]		cultural Management [4]		Relations [4] Global Peace and Security[4]		集中講義和 務家教員力	が担当する				
	集中			D又はホームページにて確認し	してくだ			授業が多く (春・秋)カ	(、開講期				
哲学·人間学特殊講義【2】	PHAN	英語学特殊講義【2】	ELNG	Special Topics in Philosophical Anthropology [2]	PHAN	Special Topics in International Business Studies [2]	INTB	よって変動開講年度の	hl,ます。				
グローバル・ヒストリー特殊講義【2】	GHIS	英語圏文学·文化特殊講義【2】	ELIT	Special Topics in Global History [2]	GHIS	Special Topics in Linguistics [2]	LING	3月中旬に ALBO又は	CHUKYO				
国際政治学特殊講義【2】	INTP	国際ビジネス学特殊講義 【2】	INTB	Special Topics in International Politics [2]	INTP	Special Topics in Intercultural Communication [2]	INTC	ホームペー	-ミガニア				
				Special Topics in				「開講期・ 担当者名」 てくださし	用調口・ を確認し				
	INTD	言語学特殊講義【2】	LING	International Development Studies [2]	INTD	Special Topics in English Linguistics [2]	ELNG	てください)°				
国際開発学特殊講義【2】	INITE	異文化コミュニケーション	INTC	Special Topics in	INTE	Special Topics in English	ELIT	7/					
		特殊講義【2】	11410	International Economics [2]		Literature and Culture [2]	CLII	〈別表③(48ペー	〈別表④(48ペー				
国際経済学特殊講義【2】	INTE								I V DILAY 14 II CI S/V -				
国際経済学特殊講義[2]	₹ ⊕(48	ページ)>※3		〈別ā 対象: Doub	表②(48 le Maic	3ページ)〉※3 or、1Major+1Minor		ジ)〉※4 対象:	ジ)〉※4 対象:				
国際経済学特殊講義[2]	₹ ⊕(48			〈別』 対象:Doub	表②(48 le Majo	3ページ)〉※3 or、1Major+1Minor		ジ)〉※4 対象:	ジ)〉※4 対象: Double Major				
国際経済学特殊講義[2]	₹ ⊕(48	ページ)>※3		〈別詞 対象:Doub	表②(48 le Majo	3ページ))※3 or、1Major+1Minor		ジ)〉※4 対象:	ジ)〉※4 対象:				

[[]注意事項]
字部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。
※1 名区分の卒業要件を超えて修得した単位は、[【J】選択単位」として集計されます。
※2 [【J】選択単位」が卒業要件を超えて修得した単位は、「【J】選択単位」として集計されます。
※2 [【J】選択単位」が卒業要件を超えた場合は、「プロート単位」として集計されます。
Double Major、1 Major+1 Minorを修了するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。)
※4 Double Majorを修了するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。)
※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

学部固有科目一覧表 国際学部 言語文化学科 英米学専攻(P6) 英語学·英語教育専修(ELNG (P6-1)) 1年春 区分 単位数 科目名【単位数】 科目名【単位数】 科目名【単位数】 主専修 科目名【単位数】 主専修 English for Practical Communication [2] Overseas University Studies [12] Integrated Academic Skills I[2] 全専修 Integrated Academic Skills II(2) 全専修 世界の言語 (英語) English for Discussion and Presentation [2] 必修 全専修 English for Academic フランス語IA【2】 ロシア語IA【2】 フランス語IB【2】 ロシア語IB【2】 フランス語IIA【2】 ロシア語IIA【2】 フランス語IIB【2】 ロシア語IIB【2】 ドイツ語IA【2】 イタリア語IA【2】 ドイツ語IB【2】 イタリア語IB【2】 イタリア語IA【2】 ドイツ語IA【2】 イタリア語IB【2】 ドイツ語IIB【2】 必修 全専修 全専修 スペイン語IA【2】 韓国語IA【2】 スペイン語IB【2】 韓国語IB【2】 スペイン語IIA【2】 スペイン語IB【2】 韓国語IB【2】 韓国語IIA【2】 中国語IB【2】 中国語IA【2】 中国語IIA【2】 中国語IB【2】 学部基礎 必修 ク・スキルズ)[2] 全専修 キャリア・デザイン【2】 全専修 英語学概論【2】 ELNG 4 自専攻基礎 必修 ELIT 英語圏文学概論【2】 哲学・人間学入門「(論理と哲学) 【2】 PHAN グローバル・ヒストリー概論(歴史学)[2] GHIS 国際関係論【2】 INTP 国際開発学入門【2】 INTD 選択 4 *1 他専攻基礎 国際経済学入門「(ミクロ経済学)【2】 INTE 国際経営学入門I(組織・戦略)【2】 INTB ことばの仕組み【2】 LING 異文化理解概論【2】 INTC ELNG 英語と文法化【2】 自専修基礎 必修 4 English Language [2] FI NG 哲学·人間学入門I(人間学)【2】 PHAN Introduction to Philosophy and Humanities [2] PHAN Introduction to Global History [2] GHIS グローバル・ヒストリー概論II(グローバル・ヒストリー)[2] GHIS 8 Introduction to International Politics [2] 国際関係史【2】 International Development StudiesI[2] INTD 国際協力論【2】 INTD 2 %1 選択必修 他専修基礎 国際経済学入門II(マクロ経済学)【2】 INTE Introduction to International Economics [2] INTE 国際経営学入門II(会計・ファイナンス)【2】 INTB Introduction to International Business [2] INTB 理論言語学入門【2】 LING Introduction to Linguistics [2] LING Introduction to Theory of Culture [2] コミュニケーション論概論【2】 INTC Understanding Film and Popular Culture [2] ELIT Understanding Fiction, Drama and Poetry[2] ELIT 英語の文構造【4】 ELNG 英語科教育法I[4] ELNG 16 %1 ELNG Topics in English Linguistics [4] 自専修科目 英語の歴史【4】 ELNG ELNG 日英対照の英語学【4】 ELNG 英語の意味と語用【4】 自専修科目(ゼミ) 選択必修 8 日本語教授法【2】 GLOB 日本語学【2】 GLOB 日本語教育実習【2】 GLOB 選択科日 選択 海外留学科目【最大12】〈2~4年全専修〉 国内インターンシップ【2】〈2~4年全専修〉 海外インターンシップ【2】〈2~4年全専修〉 海外セミナー【2】〈1~4年全専修〉 INTE 哲学·人間学 PHAN P1-1 国際経済学 P3-1 複言語 · 複文化学 言語学 LING P5-1 国際経済学 国際人間学 РЗ P1-2 言語 P5-2 P3-2 グローバル・ヒスト GHIS 国際ビジネス学 INTB 異文化コミュ INTC 国際 学科 文化 学科 学科 国際政治学 INTP P2-1 Global Liberal Studies P4 Global Liberal Studies GLOB P4-1 英語学·英語教育 ELNG P6-1 英米学 P6 国際政治学 P2 国際開発学 P2-2 英語圏文学·文化 ELIT P6-2

INTD

	3年 名【単位		主専修	 科E	名【単位	₹秋 泣数】	主専修	4年春科目名【単位数】	4年秋 科目名【単位数】		学年 区分		卒業要 単位
										Α	世界の言語 (英語)	必修	22
ランス語ⅢA [2] ランス語NA [2] ランス語VA [2] イツ語ⅢA [2] イツ語WA [2] イツ語VA [2] ペイン語ⅢA [2]		中国語IIA [2] 中国語IVA [2] 中国語VA [2] ロシア語IVA [2] ロシア語VA [2] ロシア語VA [2] スペイン語VA [2]	全専修	フランス語ⅢB【2】 フランス語WB【2】 フランス語WB【2】 ドイツ語ⅢB【2】 ドイツ語WB【2】 ドイツ語WB【2】 スペイン語ⅢB【2】		中国語ⅢB【2】 中国語VB【2】 中国語VB【2】 ロシア語ⅢB【2】 ロシア語ⅣB【2】 ロシア語VB【2】 スペイン語VB【2】	- 全専修			В	世界の言語 (第二外国語)	必修	8 *1
スペイン語NA【2】				スペイン語NB【2】							₩ pri	27.14	4
										C		必修	4
						太枠内科目(第二分を修得した場合、 修得単位数は「 J選 単位として集計され	ま択単位	立 」の		E	他専攻基礎	選択必修	4 *1
										F	自専修基礎	必修	4
										G	他専修基礎	選択必修	2 *1
			5				I = o			Н	自専修科目	選択必修	16
英語学・英語教育演習I(英語 英語学・英語教育演習I(英語 英語学・英語教育演習I(英語 英語学・英語教育演習I(英語	吾の文構 吾の歴史	造)[4])[4]	ELNG ELNG	英語学·英語教育演習I(英 英語学·英語教育演習I(英 英語学·英語教育演習I(英 英語学·英語教育演習I(英	語の文構 語の歴史	造)[4] 2)[4]	ELNG ELNG ELNG ELNG			1	自専修科目 (ゼミ)	選択必修	8
ブローバル現代思想【4】	PHAN	言語獲得【4】	LING	アジア思想【4】	PHAN	言語の起源と進化【4】	LING	卒業研究【通	年6】全専修	K	卒業研究	必修	6
とAIの哲学【4】		音声学と音韻論【4】		正義論【4】		意味論【4】	LING						
用倫理学【4】	PHAN	Current Topics in Linguistics [4]	LING	Comparative Thought (East and West) [4]	PHAN	言語学特別研究【4】	LING						
を使のなかの国民国家とナ ショナリズム【4】	GHIS	ヨーロッパ文化研究【4】	INTC	宗教からたどる世界史【4】	GHIS	現代社会と宗教【4】	INTC						
料とデータで読む世界史【4】				越境する世界史【4】		文化論的メディア研究【4】	INTC						
要数性のアジア史【4】	GHIS	翻訳・通訳と現代社会【4】 Workshop in Intercultural	INTC	History of Modern Japan (4)		ロシア・東欧地域研究【4】	INTC						
日本政治論【4】 	INTP	Communication Research [4]	INTC	難民と国際政治【4】	INTP	文化科学研究【4】	INTC						
比較政治学【4】 ecture on Foreign Policy【4】	INTP	英語科教育法I【4】 教育文法論【4】		国際機構論【4】 安全保障論【4】	INTP	英語科単元構成論【4】 Changes in English【4】	ELNG						
国際平和開発論【4】	INTD	実用英語運用法【4】		地域特性と開発【4】	INTD	認知言語学と英語教育【4】							
国際環境政策論【4】	INTD			市民社会と開発【4】		英語の通訳[[2]	ELNG						
ternational Development Policy[4]	INTD	英語の翻訳[[2]	ELNG	フィールドと開発【4】	INTD	英語の翻訳[[2]	ELNG						
海外投資論【4】	INTE	Professional English (4)		開発経済学【4】		Media Literacy [4]	ELIT						
公共経済学【4】	INTE	Current Topics [4]	ELIT	産業組織論【4】	INTE	職業としての文学教育【4】	ELIT						
Lecture on Economic Policy [4]	INTE	Literature and Media for Children and Young Adults [4]	ELIT	環境経済学【4】	INTE	English Project Workshop [4]	ELIT						
ごジネスデータ分析【4】		市民権の文化史【4】	ELIT		INTB	映画論【4】	ELIT						26
多国籍企業論【4】	INTB	都市文化デザイン論【4】	ELIT	アドバンスト 会計・ファイナンス【4】	INTB	クリティカル・リーディング【4】	ELIT			J	選択科目	選択	26 %2
	INTB	Global Media and Culture [4]	GLOB	Lecture on Cross- cultural Management [4]	INTB	International Academic Relations [4]	GLOB	集中講義和 終家新日	科目は、実 が担当する				
アドバンスト 組織・人材 マネジメント【4】		Twenty-First Century Cities [4]	GLOB			Global Peace and Security[4]	GLOB	授業が多く	、開講期 ド年度に				
アドバンスト 組織・人材 マネジメント【4】 			OALDO	O又はホームページにて確認	してくだる			よって変重	加ます。				
アドハンスト 組織・人材マネジメント【4】	集中	講義科目(開講期はCHUKY	U ALD			Special Topics in International	INTB	開講年度の	始まる前の				
マネジメント【4】		講義科目(開講期はCHUKY 英語学特殊講義【2】	ELNG	Special Topics in Philosophical Anthropology [2]	PHAN	IBusiness Studies 121	IIIID		:HIIK ALI				
マネジメント【4】 哲学・人間学特殊講義【2】	PHAN	英語学特殊講義【2】		Special Topics in Philosophical Anthropology [2] Special Topics in Global History [2]		Business Studies [2] Special Topics in Linguistics[2]	IIVID	ALBO又は					
マネジメント【4】 哲学・人間学特殊講義【2】 ガローバル・ヒストリー特殊講義【2】	PHAN	英語学特殊講義【2】	ELNG	Philosophical Anthropology [2]			LING	ALBO又は ホームペ- 「開講期・ 担当者名」	-ジにて、 開講日・ を確認し				
マネジメント【4】 哲学・人間学特殊講義【2】 ガローバル・ヒストリー特殊講義【2】 国際政治学特殊講義【2】	PHAN GHIS	英語学特殊講義【2】	ELNG ELIT	Philosophical Anthropology[2] Special Topics in Global History[2] Special Topics in International Politics [2] Special Topics in International	GHIS	Special Topics in Linguistics [2]	LING	ALBO又は ホームペー 「開講期・	-ジにて、 開講日・ を確認し				
アドバンスト 組織・人材マネジメント【4】 哲学・人間学特殊講義[2] ガローバル・ヒストリー特殊講義[2] 国際政治学特殊講義[2] 国際開発学特殊講義[2] 国際経済学特殊講義[2]	PHAN GHIS INTP	英語学特殊講義 [2] 英語圏文学・文化特殊講義 [2] 国際ビジネス学特殊講義 [2]	ELNG ELIT INTB	Philosophical Anthropology [2] Special Topics in Global History [2] Special Topics in International Politics [2] Special Topics in	GHIS	Special Topics in Linguistics [2] Special Topics in Intercultural Communication [2] Special Topics in	LING	ALBO又は ホームペ- 「開講期・ 担当者名」	-ジにて、 開講日・ を確認し				

[【]注意事項】 学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。 ※1 各区分の卒業要件を超えて修得した単位は、『【J】選択単位】として集計されます。 ※2 『【J】選択単位」が卒業要件を超えて場合は、『フロート単位』として集計されます。 ※3 Double Major、1 Major+1 Minorを修了するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。) ※4 Double Majorを修了するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。) ※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

8 学部固有科目一覧表 国際学部 言語文化学科 英米学専攻(P6) 英語圏文学·文化専修(ELIT (P6-2)) 区分 単位数 科目名【単位数】 科目名【単位数】 科目名【単位数】 科目名【単位数】 主専修 主専修 English for Practical Communication[2] erseas University Studies[12] Integrated Academic Skills I[2] 全専修 Integrated Academic Skills II(2) 全専修 世界の言語 (英語) 必修 22 全専修 フランス語IA【2】 ロシア語IA【2】 フランス語IB【2】 ロシア語IB【2】 フランス語IA【2】 ロシア語IA【2】 フランス語IB【2】 ロシア語IB【2】 ドイツ語IA【2】 イタリア語IA【2】 ドイツ語IB【2】 イタリア語IB【2】 ドイツ語IA【2】 イタリア語IA【2】 イタリア語IB【2】 世界の言語 (第二外国語) ドイツ語IB【2】 必修 全専修 スペイン語IA【2】 韓国語IA【2】 スペイン語IB【2】 韓国語IB【2】 スペイン語IB【2】 韓国語IIA【2】 韓国語IB【2】 スペイン語IIA【2】 中国語IA【2】 中国語IB【2】 中国語IIA【2】 中国語IB【2】 学部基礎 必修 4 入門ゼミ(アカデミック・スキルズ)【2】 全専修 キャリア・デザイン【2】 全専修 英語学概論 [2] **ELNG** 自専攻基礎 4 必修 英語圏文学概論【2】 FLIT 哲学・人間学入門I(論理と哲学)【2】 PHAN プローバル・ヒストリー概論(歴史学) [2] GHIS 国際関係論【2】 INTP 国際開発学入門【2】 INTD 他専攻基礎 *****1 国際経済学入門[(ミクロ経済学)【2】 INTE 国際経営学入門I(組織·戦略)【2】 INTB ことばの仕組み【2】 LING 異文化理解概論【2】 INTC 自専修基礎 必修 Understanding Film and Popular Culture [2] | ELIT | Understanding Fiction, Drama and Poetry [2] | ELIT 哲学·人間学入門II(人間学)【2】 PHAN Introduction to Philosophy and Humanities [2] PHAN GHIS グローバル・ヒストリー概論II(グローバル・ヒストリー)【2】 GHIS Introduction to Global History [2] Introduction to International Politics [2] INTP 国際関係史[2] INTD 国際協力論【2】 International Development StudiesI[2] INTD 2 %1 8 G 他専修基礎 国際経済学入門Ⅱ(マクロ経済学)【2】 INTE Introduction to International Economics [2] INTE 国際経営学入門II(会計・ファイナンス)【2】 INTB Introduction to International Business [2] INTB 理論言語学入門【2】 Introduction to Linguistics [2] ING LING INTC コミュニケーション論概論【2】 Introduction to Theory of Culture [2] ELNG 英語と文法化【2】 ELNG English Language [2] ELIT アメリカ文学・文化研究(物語と映像メディア)【4】 ELIT イギリス文学・文化研究(書物の形式と言語文化)【4】 16 * 1 自専修科目 ELIT イギリス文学・文化研究(物語と映像メディア)【4】 ELIT 英語圏の世界文学・文化研究【4】 American Literary and Cultural Studies [4] ELIT Analyzing, Discussing and Writing about Literature, Film and Culture [4] ELIT 自専修科目(ゼミ) 選択
必修 8 日本語教授法【2】 GLOB 日本語学【2】 GLOB 日本語教育実習【2】 GLOB 選択科目 選択 海外留学科目【最大12】〈2~4年全専修〉 国内インターンシップ【2】〈2~4年全専修〉 海外インターンシップ【2】 〈2~4年全専修〉 海外セミナー【2】〈1~4年全専修〉 PHAN | P1-1 人間学 国際経済学 INTE LING 複言語 · 複文化学 INTB P3-1 国際人間学 国際経済学 РЗ P5 国際 ブローバル・ヒストリ・ GHIS P1-2 国際ビジネス学 言語 ニケーション INTC P5-2 文化学科 Global Liberal Studies P4 P2-1 Global Liberal Studies GLOB P4-1 英語学·英語教育 ELNG P6-1 INTP 国際政治学 国際政治学 英米学 国際開発学 英語圏文学·文化 ELIT P6-2 INTD P2-2

 科目	3年 名【単位		主専修	—————————————————————————————————————	名【単位	年秋 立数】	主専修	4年春 科目名【単位数】	4年秋 科目名【単位数】		学年 区分		卒業要 単位
										А	世界の言語 (英語)	必修	22
ランス語IIA [2] ランス語IVA [2] ランス語VA [2] イツ語IIA [2] イツ語IVA [2] イツ語IVA [2] ベイン語IIA [2] ベイン語IIA [2]		中国語IIA [2] 中国語IVA [2] 中国語VA [2] ロシア語IIA [2] ロシア語IVA [2] ロシア語VA [2] スペイン語VA [2]	全専修	フランス語ⅢB [2] フランス語VB [2] フランス語VB [2] ドイツ語ⅢB [2] ドイツ語WB [2] ドイツ語VB [2] スペイン語ⅢB [2] スペイン語ⅢB [2]		中国語IIB [2] 中国語VB [2] 中国語VB [2] ロシア語IIB [2] ロシア語VB [2] ロシア語VB [2] スペイン語VB [2]	- 全専修			В	世界の言語 (第二外国語)	必修	8 **1
heres										С	学部基礎	必修	4
						太枠内科目(第二条を修得した場合、 を修得した場合、 修得単位数は「 J選 単位として集計され	選択単位	立 」の		E	自専攻基礎 他専攻基礎	選択必修	4 *1
											自専修基礎他専修基礎	必修選択修	2 %1
										Н		必修選必修	16
英語圏文学·文化演習I(文学	党・文化∓	甲論) [4]	ELIT	英語圏文学·文化演習II(文:	学・文化	(理論)【4】	ELIT					SEVIES .	*
英語圏文学・文化演習I(物語 英語圏文学・文化演習I(歴史 英語圏文学・文化演習I(英名 英語圏文学・文化演習I(横月 英語圏文学・文化演習I(植月	語論)【4】 セコンテク K文学研究 民地主義。	フストと文学)【4】 究論)【4】	ELIT ELIT ELIT ELIT	英語國文字·文化演習II(数 英語國文字·文化演習II(極 英語國文字·文化演習I(歷 英語國文字·文化演習I(英 英語國文字·文化演習I(校 英語國文字·文化演習I(North	語論)【4 史コンテ 米文学研 民地主義	i] Fクストと文学)【4】 研究論)【4】 &と文学)【4】	ELIT ELIT ELIT ELIT ELIT			1	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8
		言語獲得【4】		アジア思想【4】		言語の起源と進化【4】	LING	卒業研究【通	年6】全専修	Κ	卒業研究	必修	6
	PHAN PHAN GHIS GHIS GHIS INTP INTP INTD INTD INTD INTE INTE INTE INTE INTE INTB INTB INTB	音声学と音韻論[4] Current Topics in Linguistics [4] ヨーロッ 「文化研究 [4] ヨーロッ 「文化研究 [4] 朝訳・通訳と現代社会 [4] 朝訳・通訳と現代社会 [4] Workshop in Intercultural 交語科教育法 [4] 東用英語運用法 [4] 英語の通訳 [2] 東語の通訳 [2] Professional English [4] Current Topics [4] Literature and Media for Children and Young Adults [4] 市民権の文化史 [4] 都市文化デザイン論 [4] Global Media and Culture [4] Twenty-First Century Cities [4] 講義科目 (開講期はCHUKY 英語学特殊講義 [2] 東京化コミュニケーション	LING LING INTC INTC INTC ELNG ELNG ELNG ELNG ELIT ELIT ELIT ELIT ELIT ELIT ELIT ELIT	正義論[4] Comparative Thought (East and West) [4] 宗教からたどる世界史[4] History of Modern Japan[4] 難民と国際政治[4] 国際機構論[4] 安全保障論[4] 地域特性と開発[4] 市民社会と開発[4] 市民社会と開発[4] アパンスト 総第・マーケティング[4] アパンスト 総第・マーケティング[4] アパンスト 会計・ファイナンス[4] Lecture on Cross-cultural Management [4] O又はホームページにて確認 Special Topics in Global History[2] Special Topics in Global History[2] Special Topics in International Politics [2] Special Topics in International Development Studies [2] Special Topics in Development Studies [2] Special Topics in International Topics in International Development Studies [2] Special Topics in International Topics in International Development Studies [2]	PHAN PHAN PHAN GHIS GHIS GHIS INTP INTP INTD INTD INTD INTD INTE INTE INTE INTB INTB INTB	意味論[4] 言語学特別研究[4] 現代社会と宗教[4] 文化論的メディア研究[4] ロシア・東欧地域研究[4] 文化科学研究[4] 英語科単元構成論[4] Changes in English [4] 認知言語学と英語教育[4] 英語の翻訳II[2] 英語の翻訳II[2] Media Literacy [4] 職業としての文学教育[4] English Project Workshop [4] 映画論[4] Jリティカル・リーディング[4] International Academic Relations [4] Global Peace and Security[4] さい) Special Topics in International Business Studies [2] Special Topics in Intercultura Communication [2] Special Topics in English Linguistics [2] Special Topics in English Linguistics [2] Special Topics in English En	LING LING LING LING INTC INTC INTC ELNG ELNG ELNG ELNG ELIT ELIT ELIT ELIT ELIT ELIT ELIT ELIT	集務では、 集務では、 事務のでは、 を を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	く、開講期 が度に かします。 か始まる前の CHUKYO ・・・ジにて、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	D	選択科目	選択	26
国際経済学特殊講義【2】	INTE	特殊講義【2】	INTC	International Economics [2]	INTE	Literature and Culture [2]	ELII	〈別表③(48ペー	〈別表④(48ペー				

[【]注意事項】
学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。
**1 各区分の卒業要件を超えて修得した単位は、「【J】選択単位」として集計されます。
**2 「【J】選択単位」が卒業要件を超えた場合は、「プロート単位」として集計されます。
**3 Double Major、1 Major+1 Minorを修了するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。)
**4 Double Majorを修了するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。)
**5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

教育課程

別表①(対象: Double Major、1 Major+1 Minor)

Double Major、1Major+1Minorを修了するためには、以下科目から、8単位以上修得する必要があります。 (修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。)

(修存しに単位は一し) 選択単位」に集計されます。)	
科目名【単位数】	主専修
現代哲学概論【4】	PHAN
Basics of Modern Philosophy and Comparative Thought [4]	(P1-1)
西洋世界の形成と展開【4】	GHIS
グローバル・ヒストリーの中の日本【4】	(P1-2)
日本政治外交史【4】	INTP
国際政治学【4】	(P2-1)
社会開発論【4】	INTD
グローバル・ガバナンス論【4】	(P2-2)
計量経済学【4】	INTE
Japan & World Economy [4]	(P3-1)
戦略・マーケティング【4】	INTB
Global Business and Leadership [4]	(P3-2)
統語と音韻の境界領域【4】	LING
比較統語論【4】	(P5-1)
外国語学習から学ぶ複言語複文化【4】	
文学から学ぶ言語文化【4】	INTC
多文化共生から学ぶ宗教文化【4】	(P5-2)
映画から学ぶメディア文化【4】	
英語の文構造【4】	ELNG
英語の歴史【4】	(P6-1)
日英対照の英語学【4】	(1 0 1)
イギリス文学・文化研究(書物の形式と言語文化)【4】	FLIT
英語圏の世界文学・文化研究【4】	(P6-2)
American Literary and Cultural Studies [4]	(1 0 L)

別表③(対象: Double Major)

Double Majorを修了するためには、以下科目から4単位修得する必要があります。

Double Majorを修了するためには、以下科目から4単位修得する必要かる (修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。)	りります。
	主専修
哲学·人間学演習I(現代哲学)【4】	PHAN
哲学·人間学演習I(比較思想)【4】	(P1-1)
グローバル・ヒストリー演習[(西洋)【4】	01.110
グローバル・ヒストリー演習[(アジア)【4】	GHIS
グローバル・ヒストリー演習I(日本と世界)【4】	(P1-2)
国際政治学演習[(日本政治外交史) [4]	INITO
国際政治学演習[(国際政治史)[4]	(P2-1)
国際政治学演習[(国際政治学)[4]	(
国際開発学演習[(持続可能な開発論)【4】	INITO
国際開発学演習[(社会開発論) [4]	(P2-2)
国際開発学演習「(グローバル・ガバナンス論) 【4】	(
国際経済学演習[(マクロ経済学)【4】	INITE
国際経済学演習[(ミクロ経済学)【4】	(P3-1)
国際経済学演習[(計量経済学) [4]	(1 0-1)
国際ビジネス学演習[(組織・人材マネジメント)【4】	INTB
国際ビジネス学演習[(会計・ファイナンス)【4】	(P3-2)
国際ビジネス学演習[(戦略・マーケティング)【4】	(1 0-2)
言語学演習[(理論言語学) [4]	LING
言語学演習[(比較統語論) [4]	(P5-1)
言語学演習[(統語と音韻の境界領域) 【4】	(1 0 1)
異文化コミュニケーション演習[(外国語学習論)【4】	
異文化コミュニケーション演習[(比較文学論)【4】	
異文化コミュニケーション演習[(社会言語学)【4】	INTC
異文化コミュニケーション演習[(西洋精神文化論)【4】	(P5-2)
異文化コミュニケーション演習[(多文化共生論)【4】	(1 0 2)
異文化コミュニケーション演習[(比較文化論)【4】	
異文化コミュニケーション演習[(表象文化論)【4】	
英語学·英語教育演習I(英語科教育学)【4】	
英語学・英語教育演習[(英語の文構造) 【4】	ELNG
英語学・英語教育演習[(英語の歴史)【4】	(P6-1)
英語学・英語教育演習1(英語の意味と語用)【4】	
英語圏文学·文化演習I(文学·文化理論)【4】	
英語圏文学·文化演習I(物語論)【4】	
英語圏文学・文化演習「(歴史コンテクストと文学) 【4】	ELIT
英語圏文学·文化演習I(英米文学研究論)【4】	(P6-2)
英語圏文学・文化演習[(植民地主義と文学)【4】	
英語圏文学·文化演習I(North American Literature in Context)【4】	

別表②(対象: Double Major、1 Major+1 Minor)

Double Major、1 Major+1 Minorを修了するためには、以下科目から、8 単位以上修得する必要があります。 (修得)、た単位は「【・】】、選択単位」に集計されます。)

(修得した単位はI【J】選択単位」に集計されます。)	
科目名【単位数】	主専修
現代人間学概論【4】	PHAN
比較思想概論【4】	(P1-1)
多元的アジア世界の形成【4】	GHIS
Basics of Global History [4]	(P1-2)
国際政治史【4】	INTP
International Politics [4]	(P2-1)
持続可能な開発論【4】	INTD
International Development StudiesI[4]	(P2-2)
金融論【4】	INTE
貿易論【4】	(P3-1)
組織・人材マネジメント【4】	INTB
ビジネスと会計・ファイナンス【4】	(P3-2)
理論言語学【4】	LING
Workshop in Linguistic Research [4]	(P5-1)
Glocal Studies in Japan [4]	
社会言語学から学ぶ言語文化【4】	INTC
芸術から学ぶ宗教文化【4】	(P5-2)
ポピュラー文化から学ぶメディア文化【4】	
英語科教育法Ⅱ【4】	ELNG
Topics in English Linguistics [4]	(P6-1)
英語の意味と語用【4】	(1 0 1)
アメリカ文学・文化研究(物語と映像メディア)【4】	FLIT
イギリス文学・文化研究(物語と映像メディア)【4】	(P6-2)
Analyzing, Discussing and Writing about Literature, Film and Culture [4]	(1 0 L)

別表④(対象: Double Major)

Double Majorを修了するためには、以下科目から4単位修得する必要があります。 (修得した単位は「【J】選択単位」に集計されます。)

科目名【单位数】	主専修
哲学・人間学演習Ⅱ(現代哲学)【4】	PHAN
哲学・人間学演習Ⅱ(比較思想)【4】	(P1-1)
グローバル・ヒストリー演習I(西洋)【4】	CLUC
グローバル・ヒストリー演習[[(アジア)【4]	(P1-2)
グローバル・ヒストリー演習II(日本と世界)【4】	(1 1 2)
国際政治学演習Ⅱ(日本政治外交史)【4】	INTP
国際政治学演習I(国際政治史)[4]	(P2-1)
国際政治学演習I(国際政治学)【4】	(1 = 1)
国際開発学演習I(持続可能な開発論)【4】	INTD
国際開発学演習Ⅱ(社会開発論)【4】	(P2-2)
国際開発学演習I(グローバル・ガバナンス論)【4】	
国際経済学演習II(マクロ経済学)【4】	INTE
国際経済学演習I(ミクロ経済学)【4】	(P3-1)
国際経済学演習[[(計量経済学)][4]	
国際ビジネス学演習I(組織・人材マネジメント)【4】	INTB
国際ビジネス学演習『(会計・ファイナンス)【4】	(P3-2)
国際ビジネス学演習『(戦略・マーケティング)【4】	
言語学演習II(理論言語学)[4]	LING
言語学演習II(比較統語論)【4】	(P5-1)
言語学演習I(統語と音韻の境界領域)【4】	
異文化コミュニケーション演習I(外国語学習論)【4】 異文化コミュニケーション演習I(比較文学論)【4】	
異文化コミュニケーション演習II(比較文字調)【4】 異文化コミュニケーション演習II(社会言語学)【4】	
異文化コミュニケーション演習Ⅱ(在芸言語学)【4】 異文化コミュニケーション演習Ⅱ(西洋精神文化論)【4】	INTC
	(P5-2)
異文化コミュニケーション演習Ⅱ(多文化共生論)【4】	
異文化コミュニケーション演習II(比較文化論)【4】	
異文化コミュニケーション演習Ⅱ(表象文化論)【4】	
英語学・英語教育演習I(英語科教育学)【4】 英語学・英語教育演習I(英語の文構造)【4】	
英語子・英語教育演習II (英語のX情短) [4] 英語学・英語教育演習II (英語の歴史) [4]	ELNG (P6-1)
英語子・英語教育演習II (英語の意味と語用) 【4】	(- 0-1)
英語学・英語教育演音II(英語の意味と語用)【4】 英語圏文学・文化演習II(文学・文化理論)【4】	
英語圏文学・文化演習II(文学・文化理論)[4] 英語圏文学・文化演習II(物語論)[4]	
英語圏文字・文化演音II(物語調用44] 英語圏文字・文化演習II(歴史コンテクストと文学)【4】	ELIT
英語圏文学・文化演習11(歴史コンナラストと文学)【4】	(P6-2)
央語圏文学・文化演習II(東京文学研究論) [4] 英語圏文学・文化演習II(植民地主義と文学) [4]	(-0-2)
英語圈文学·文化演習I(North American Literature in Context)【4】	
大山回入于 人心供自止(NOLLI AITETICATI LITETATURE IT COITLEXT) [4]	

学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード	学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード	学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード
	国際人間学	D1	哲学·人間学	PHAN	P1-1		国際経済学	D3	国際経済学	INTE	P3-1		複言語·	DE	言語学	LING	P5-1
国際	国际人间子		グローバル・ヒストリー	GHIS	P1-2	国際	国际程准子	P3	国際ビジネス学	INTB	P3-2		複文化学	P3	異文化コミュニケーション	INTC	P5-2
国際学科	国際政治学	P2	国際政治学	INTP	P2-1	子科	Global Liberal Studies	P4	Global Liberal Studies	GLOB	P4-1	又化 学科	英米学	P6	英語学·英語教育	ELNG	P6-1
		' -	国際開発学	INTD	P2-2								// · · ·	. 0	英語圏文学·文化	ELIT	P6-2

【A】世界の言語プログラム(英語)

1年次春学期に60分授業を1日3コマ×週3日(月·水·金)開講し ます。2年次は春·秋学期に60分授業を1日1コマ×週3日(月·水・ 金)開講します。

配当	区分	科目名		
		English for Practical Communication		
1年春	必修	English for Discussion and Presentation		
		English for Academic Purposes		
2年春	必修	Integrated Academic Skills I		
2年秋	必修	Integrated Academic Skills II		

- ①能力別の少人数クラスで開講します。1年生配当科目は入学後に 受検するGTEC、2年生配当科目は1年次秋学期のOverseas University Studies帰国後に受検するGTECによるクラス分け を行います。
 - ※教務センターで履修登録を行いますので、履修申請時に CHUKYO ALBOの履修画面で登録されたクラスを確認してく
- ②1年生配当科目をすべて修得した者に限り、2年生配当科目を履 修することが可能です。未修得の場合は、1年生配当科目の再履 修を優先してください。
- ③1年生配当科目を2科目以上修得した者に限り、世界の言語プロ グラム(第二外国語)の基礎科目(IA ~IIB)を履修することが可能 です。未修得の場合は、1年生配当科目の再履修を優先してくだ さい。
- 4 Integrated Academic Skills IIIIntegrated Academic Skills Iが未修得であっても履修可能です。
- <Overseas University Studies(1年秋)>

1年次秋学期に12週間(3セッション)の留学プログラムへの参加 を必須とした必修科目です。卒業に必要なだけでなく、単位修得が できないと1年次留年となり、2年次に進級することができません。 また、この科目の履修にあたっては、1年次春学期から関連授業に 取り組む必要があります。詳細は、51ページを確認してください。

【B】世界の言語プログラム(第二外国語)

・基礎科目(IA ~IIB)

2年次春·秋学期に60分授業を1日2コマ×週3日(月·水·金)で 開講します。基礎科目は全て修得する必要があります。

・応用科目(ⅢA ~VB)

3年次春・秋学期には60分授業を1日×週3日(月・水・金)で開講 します。応用科目がある言語は、フランス語、ドイツ語、スペイン語、 中国語、ロシア語です。韓国語・イタリア語はありません。修得し た単位は【J】の選択科目に算入されます。

配当	区分	科目名
2年春	必修	【基礎科目】 フランス語IA・IIA ドイツ語IA・IIA スペイン語IA・IIA 中国語IA・IIA 中国語IA・IIA ロシア語IA・IIA オタリア語IA・IIA 韓国語IA・IIA
2年秋	必修	【基礎科目】 フランス語IB·IIB ドイツ語IB·IIB スペイン語IB·IIB 中国語IB·IIB ロシア語IB·IIB イタリア語IB·IIB 韓国語IB·IIB

配当	区分	科目名
3年春	選択	【応用科目】 フランス語IIA・IVA・VA ドイツ語IIA・IVA・VA スペイン語IIA・IVA・VA 中国語IIA・IVA・VA
3年秋	選択	【応用科目】 フランス語IIB・IVB・VB ドイツ語IIB・IVB・VB スペイン語IIB・IVB・VB 中国語IIB・IVB・VB

①基礎科目(IA~IIB)の履修について

1年次秋学期に第二外国語希望調査を行います。フランス語、ド イツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、イタリア語、韓国語の 7言語から選択します。各言語には定員が設定されており、各ク ラスには授業定員があるため、言語及びクラス分けは、希望調査 に基づき、1年次春学期のGPA及び1年次秋学期のOverseas University Studies帰国後に受検するGTECスコアにより行い ます。希望調査では、第1希望から第7希望まで選択してください。 ただし、イタリア語と韓国語は応用科目がありません。応用科目 は基礎科目と同一言語のみ履修可能ですので、3年次に応用科目 を履修する学生はイタリア語と韓国語以外の言語から第二外国語 を選択してください。

- ※教務センターで履修登録を行いますので、履修申請時に CHUKYO ALBOの履修画面で登録された言語及びクラスを 確認してください。
- ※決定した言語の変更はできません(再履修を含む)。
- ※春学期に $[IA \cdot IIA]$ を修得できなかった場合、秋学期に $[IB \cdot IIB]$ を履修することはできません。
- ②応用科目(IIA ~VB)の履修について

第二外国語の基礎科目(IA~IIB)を全て修得した場合は、同一言 語の応用科目(ⅢA~VB)を履修できます。申込方法や申込期間 等はCHUKYO ALBOで配信します。基礎及び応用科目の全て を修得すると、卒業時にPlurilingual Program修了証が発行さ れます。詳細は55ページを確認してください。

- ※半期ごとにⅢ・Ⅳ・Vセットで履修してください。(春学期: ⅢA・ IVA·VA、秋学期: IIB·IVB·VB)
- ※春学期に「ⅢA・ \mathbb{N} A・ \mathbb{N} A・ \mathbb{N} A」を修得できなかった場合、秋学期に「Ⅲ B·IVB·VB」を履修することはできません。
- ③第三外国語及び第四外国語の履修について

第二外国語の基礎科目(IA~IIB)を全て修得した場合、第三外国 語として別の言語の基礎科目を履修することができます。申込方 法や申込期間等はCHUKYO ALBOで配信します。

- ※各言語には定員が設定されており、各クラスには授業定員があ るため、希望通りに履修できない場合があります。
- ※教務センターで履修登録を行いますので、CHUKYO ALBO の履修画面で確認してください。

学部固有科目の履修について

問合せ先 教務センター

【C】学部基礎科目

1年次春学期に入門ゼミ(アカデミック・スキルズ)、2年次春学期 にキャリア・デザインを開講します。各自履修登録をしてください。

卒業要件

- ・入門ゼミ(アカデミック・スキルズ) (2単位必修)
- ・キャリア・デザイン (2単位必修)

<授業概要>

(1)入門ゼミ(アカデミック・スキルズ)

大学での学びへの導入という目標のもと、「読む | 「聴く | 「書く | 「話 す の基礎的な訓練を行う授業です。少人数で行います。複数ク ラス開講します。

(2)キャリア・デザイン

職業の多様な実態と可能性に触れ、進路選択において必要となる 基本の知識を学びます。講義形式で開講します。

【D·E】専攻基礎科目

1年次春学期の開講科目です。各科目2単位となります。 各自履修登録をしてください。

卒業要件

【D】所属する専攻から2科目 (4単位必修)

【E】所属する専攻以外から2科目 (4単位選択必修)

①Honors Program修了に係る科目です。要件等については54 ~55ページを確認してください。

【F·G】専修基礎科目

2年次開講科目です。各科目2単位です。各自履修登録をしてく ださい。所属する専修の科目を、春・秋1科目ずつ、所属専修以外 の専修から春又は秋学期に1科目履修・修得してください。

卒業要件

【F】所属する専修から2科目 (4単位必修)

【G】所属する専修以外から1科目 (2単位選択必修)

①Honors Program修了に係る科目です。要件等については 54~55ページを確認してください。

【H】専修科目

2年次開講科目です。各自履修登録をしてください。各科目4単 位で、授業は週に2回あります。所属する専修の科目を、春・秋2 科目ずつ修得してください。

卒業要件

【H】所属する専修から4科目 (16単位必修)

※異文化コミュニケーション専修/英語学・英語教育専修/ 英語圏文学・文化専修所属の場合は16単位選択必修

①Honors Program修了に係る科目です。要件及び履修科目等に ついては54~55ページ及び48ページの別表①・②を確認して ください。

【I】専修科目 / 演習I・II(ゼミ)

3年次には、所属専修のゼミに所属します。春・秋通して同じ教員 (テーマ)のゼミを履修します。

卒業要件

【1】所属する専修から2科目 (8単位選択必修)

- ①2年次秋学期(第4セメスター)に「所属ゼミ希望」調査の提出が必 要です。詳細はCHUKYO ALBOで配信します。
 - ※ゼミへの所属は必須ですが、各ゼミには定員が設けられている ため、担当教員による選抜を行います。
 - ※教務センターで登録を行いますので、CHUKYO ALBOの履 修画面で確認をしてください。決定後の所属ゼミ変更は認めら れません(再履修を含む)。
- ②所属するゼミの教員(テーマ)において、4年次に【K】卒業研究と して、卒業論文を作成し、提出することになります。
- ③Honors Program修了に係る科目です。要件及び履修科目等に ついては48ページの別表①・②及び54~55ページを確認して ください。

【J】選択科目

すべての専修に選択科目を設置しています。選択科目は週2回の 講義形式(4単位)と集中講義の講義形式(2単位)が開講されます。 学科を超えての履修が可能ですが、多くの科目は専門的な知識を備 えていることを前提としています。

この区分には【B】【E】【G】【H】の卒業要件の単位数を超過して 修得した単位が算入されます。

卒業要件

【J】26単位

①科目によっては、履修条件があります。シラバスで各科目の履修 条件を確認し、必ず初回授業に出席してください。自身が履修可 能かわからない場合には、授業担当教員に相談のうえ、履修登録 をしてください。

GLS専攻の4科目(Global Media and Culture, Twenty-First Century Cities, International Academic Relations, Global Peace and Security)の履修にあたっては、高い英語 運用能力が必要です。履修を希望する場合はあらかじめ授業担当 教員に相談のうえ、教務センターに申し出てください。

- ②Double Majorの修了に係る科目です。要件及び履修科目等に ついては54~55ページを確認してください。
- ③日本語教師養成課程関連科目の「日本語教育実習」は「日本語学」、 「日本語教授法 | を修得した後に履修することを強く推奨します。

【K】卒業研究

卒業研究は、通年の必修科目であり、4年次秋学期(第8セメス ター)において卒業論文の提出が必須です。【1】で履修した所属ゼミ の教員から卒業研究の指導を受けます。教務センターで登録を行い ますので、CHUKYO ALBOの履修画面で確認をしてください。

卒業要件

【K】通年6単位 (必修)

- ①卒業論文の作成方法や提出時期については、指導教員から指示 があります。
- ②再履修について 担当教員の変更はできません。同じ担当教員の卒業研究を履修 してください。

Overseas University Studies (留学)について

1年次秋学期に12週間(3セッション)の留学プログラムへの参加 を必須とした必修科目です。卒業に必要なだけでなく、単位修得が できないと1年次留年となり、2年次に進級することができません。 この科目の単位認定には、留学中の各セッションの合否結果だけで なく、1年次春学期及び留学出発前に実施される留学事前準備A、B、 Cの合否(取り組み状況)が反映されます。留学事前準備A、B、C はそれぞれ90分×15回授業で、詳細は別途案内します。また、帰 国後の1月には留学帰国報告会に参加する必要があります。

【留意事項】

- ①本科目の単位修得ができない限り、1年次留年となり2年次に進 級することはできません。
- ②入学年度の秋学期に本科目の単位修得ができなかった場合は、 次年度の春学期が始まる前の3月中に教務センター学部担当者へ 次年度の履修について申し出てください。
- ③1年次秋学期の留学前(6月下旬)と留学後(1月下旬)にGTECの 受検を必須とします。GTECのスコアは、留学成果としての英語 運用能力の伸長度を測るだけでなく、その後のクラス分けにも使 用します。
- ④天災事変その他やむを得ない事由により、学部が渡航プログラム の中止を判断した場合には、学部の指定する代替プログラムへ変 更となります。また、予告なしにプログラム内容が変更となる場 合があります。

9

学部固有科目の履修について g

問合せ先

国内インターンシップ

教務センター

- ①キャリア支援課が実施する各種ガイダンスに参加することが必要 です。ガイダンスに参加して、インターンシップへの参加方法や 必要な提出物など、単位認定に至るまでの一連の流れを詳細に 確認してください。
- ②必要条件を満たすと2単位が認定されます。(成績表では「N」と 表記されます。)
- ③履修登録は不要です。履修登録制限単位には含めません。

海外インターンシップ

- ①グローバル教育センターの海外短期研修のうち、「海外ビジネス 研修」「海外インターンシップ」のいずれかを修了し、必要な要件 を満たした場合に2単位が認定されます。
- ②単位認定の時期は、研修期間に該当する学期で認定されます。 成績表では「N」と表記されます。
- ③単位認定は1回のみです。2~4年生が対象ですが、4年次秋学期 (第8セメスター)においては認定されません。
- ④履修登録は不要です。履修登録制限単位には含めません。
- ■募集時期や申込方法等についてはグローバル教育センターのポー タルサイト「GLOBAL NAVI」にて確認してください。

海外セミナー

- ①グローバル教育センターの海外短期研修のうち、「海外大学体験 (英語圈以外)」、「海外語学研修(英語圏以外)」、「SAF分野別研 修」のいずれかを修了し、必要な要件を満たした場合に2単位が 認定されます。
- ②単位認定の時期は、研修期間に該当する学期で認定されます。 成績表では「N」と表記されます。
- ③単位認定は1回のみです。2~4年生が対象ですが、4年次秋学期 (第8セメスター)においては認定されません。
- ④履修登録は不要です。履修登録制限単位には含めません。
- ■募集時期や申込方法等についてはグローバル教育センターのポー タルサイト「GLOBAL NAVI」にて確認してください。

海外留学科目

グローバル教育センターの交換留学、認定留学及びディズニー・ インターンシップに参加した学生が留学先大学で修得した科目は、 本人の申請に基づき原則として国際学部のカリキュラムにある科目 に読み替えて認定します。成績表では「N」と表記されます。

読み替えができない科目のうち、国際学部が認めた科目は学部 固有科目「海外留学科目」として単位が認定されます。「海外留学科 目」として認定できる単位の総数は12単位までで、実態に応じ、1 単位ごとの分割認定も認められます。履修登録は不要で、履修登録 制限単位には含めません。

単位認定申請の手続き等については、留学決定後、別途案内し ます。

■各留学プログラムの申請時期や申請方法等についてはグローバル 教育センターのポータルサイト「GLOBAL NAVI」にて確認してく ださい。

《注意》

国際学部のカリキュラムの特性上、交換留学、認定留学又はディ ズニー・インターンシッププログラムに4年次秋学期(第8セメス ター)以外で参加する場合、修業年限内の卒業はできなくなります。 ただし、交換留学、認定留学、ディズニー・インターンシッププログ ラムへは4年次秋学期(第8セメスター)に1セメスター参加の場合 のみ修業年限内の卒業を目指すことが可能です。この場合には4年 次に提出が必須の卒業論文を早期に完成させる必要があります。参

加を検討する段階で、修業年限内の卒業可能性について教務セン ターと確認した上で、ゼミ担当教員に連絡してください。

《教職課程履修者への注意》

教職課程履修者は特例的に4年次秋学期(第8セメスター)ではな く、3年次秋学期(第6セメスター)の1セメスター参加の場合のみ、 修業年限内の卒業を目指すことが可能です。参加を検討する段階で 希望するゼミ担当教員、教育実習担当教員、教務センター(教職支 援係)に相談してください。

人数制限の科目

科目によって人数制限を設けています。人数制限を設ける科目は「時間割表」の「注意事項」で案内をしていますので確認してください。なお、 コンピュータ演習室で授業を実施する科目は、教室定員数で履修人数を制限します。

Honors Program / Plurilingual Program

教務センター

Honors Programについて

Honors Programは、卒業要件の充足を前提に、1つの学問分野の学修だけを深化させるのではなく、他の分野の学問についても同時に 探究し、総合的な知識を体系的に身につけていくことを目的とする学修プログラムです。 Honors Programの要件を満たすように科目を履修・ 修得し、4年次の2月に修了の申告をした学生には、「Double Major修了証」、「1Major+1Minor修了証」を発行します。

<Honors Programの種類と修了要件>

Double Major	自専修(ファーストメジャー)だけでなく、もう1つメジャーとする他専攻の専修(セカンドメジャー)を選択し、必要科目の履修をすすめるとともに、3年次にはファーストメジャー、4年次にはセカンドメジャーの2つの演習(ゼミ)を履修する。卒業論文はファーストメジャーの専修のみを作成・提出する。
1 Major+1 Minor	自専修(ファーストメジャー)だけでなく、もう1つメジャーとする他専攻の専修(セカンドメジャー)を選択し、必要科目の履修をすすめる。ゼミへの所属、卒業論文の作成・提出はファーストメジャーのみで行う。

Plurilingual Programについて

Pulrilingual Programは、英語の学修に加え、第二外国語を発展的に学ぶ学修プログラムです。世界の言語プログラム(第二外国語)の基 礎科目(8単位)に加え、発展的な学びとして応用科目(12単位)を履修し、合計20単位を修得することでプログラム修了となります。

本プログラムを修了し、4年次の2月に申告をした学生には、「Plurilingual Program修了証」を発行します。複言語・複文化学専攻の学生 は、同プログラムの修了を目指します(教職課程履修者除く)。

Honors Program及びPlurilingual Programの履修条件について

Honors Program: Double Major、1 Major+1 Minorの履修要件

●第4セメスター終了時のトータル**GPAが3.0以上**の者

※セカンドメジャー履修の受入には定員があるため、定員を超えて多数の希望があった場合には、GPAによる選抜を行います。 ※詳細はCHUKYO ALBOで配信します。

Honors Program: Double Majorの履修条件(セカンドメジャーのゼミ)

●ゼミ担当教員による成績及び人物評価

※セカンドメジャーのゼミの受入れ定員の上限は3名です。定員を超えて多数の希望があった場合には、担当教員による選抜を行います。 ※詳細はCHUKYO ALBOで配信します。

Plurilingual Programの履修条件

●第二外国語基礎科目(8単位)を全て修得した者で同言語の応用科目の修得を希望する者。

※定員設定による選抜は行いません。

Double Majorにおけるセカンドメジャーの専修選択について

Double Majorにおけるセカンドメジャーの専修選択については、所属する学科と異なる学科の専修から選ぶことを推奨しています。自専修 のゼミ(演習I·II)は3年次開講ですが、卒業論文の指導や中間発表等で4年次においても参加をしなければならない場合があります。セカンド メジャーを所属学科内の専修とした場合、ゼミの開講時間が重複するため、ファーストメジャーのゼミに4年次において参加することができな くなります。所属と異なる学科の専修からセカンドメジャーを選択した場合には、そのような時間割重複が発生しないため、ゼミ(演習I・II)を 無理なく履修することができます。

※同学科内の専修を選択した場合、4年次にはセカンドメジャーのゼミに優先して参加することになります。その際は、各自でファーストメジャー のゼミ教員に相談のうえ、指導を受けてください。

※セカンドメジャーとして、GLS専修を選択することはできません。

Honors Program及びPlurilingual Program修了のための充足要件について

まずは、学部固有科目の中で必要となる各区分の卒業要件を確認してください。その上で、Program履修者として、どのような科目を学 ぶべきかについて、以下の充足要件を参考に、1年次から4年次までの学習計画(履修計画)を立てた上で科目選択を進めてください。 Honors Program及びPlurilingual Programの申込みは、第4セメスターに行います。履修科目の選択を誤ると、Programの修了はでき ません。

なお、Honors Programで選択できる2つ目の専修には、それぞれ受入れの定員が設けられています。希望者多数の場合には、第4セメ スター終了時のGPAにより選抜します。 Plurilingual Programには定員はありません。

		学部固有科目の卒業要件 各科目区分の必要単位数		Program修了 業要件」が満たさ	Plurilingual Program 修了のための充足要件			
		Major(Single Major) 1つの分野を究める	Double Major 2つの分野をおさめる		1つの分類	+1Minor 野を究め、 を体系的に学ぶ	Plurilingual Program 複言語に熟達する	
	科目区分			1 st Major (自専修)	2nd Major (2つ目の専修)	Major (自専修)	Minor (2つ目の専修)	Major (自専修)
А	世界の言語	(英語)	22単位					
В	世界の言語(第	二外国語)	8単位					20単位※2※4
С	学部基	礎	4単位					
D	専攻基礎	自専攻	4単位	4単位		4単位		
Е	等以至 促	他専攻	4単位		2単位		2単位	
F	専修基礎	自専修	4単位	4単位		4単位		
G	号 修 至 促	他専修	2単位		2単位		2単位	
Н	専修科目	自専修	16単位	16単位		16単位		
11	専修科目	他専修	O単位		16単位※2		16単位※2	
	専修科目	自専修	8単位	8単位		8単位		
	(ゼミ)	他専修	O単位		8単位※2			
J	選択科		26単位	% 3	8単位	% 3		*3
K	卒業研究	自専修	6単位	6単位		6単位		
			104単位		36単位		20単位	

- ※1:表中の各区分の単位数は、Honors Program修了のための充足要件です。
- 卒業するためには、全ての区分について、【Major(Single Major)】の単位数を充たす必要があります。
 ※2:2nd MajorあるいはMinorとして修得した科目区分<H><I>の単位は、<J>選択科目の単位として卒業所要単位に算入します。
- ※3: Honors Program及びPlurilingual Program修了のための充足要件ではありませんが、より発展的な学びを実現するため、特に自専修選択科目の積極 的な履修を推奨します。
- ※4:一つの言語の基礎、応用で20単位修得する必要があります。
- <教職課程履修者のHonors Programについて>
 - 教職課程履修者については、教職課程修了のために卒業所要単位以外に単位の修得が必要となります。
 - Honors Programと両立をするのは容易ではありません。
 - それでも希望する場合は4年間の履修計画を立てた上で、指導教員及び教務センター担当者に相談してください。



4年間のスケジュール

教務センター

スケジュール

国際学部の学生は以下のスケジュールで希望書や申出書を提出することになります。特に、Honors Program / Plurilingual Program を希望する場合には、提出書類や申請が多くなります。書類提出・申請にあたっては、必ず期限を守ってください。 ※提出物の内容や時期等の詳細については、随時CHUKYO ALBOで配信します。

学年	セメスター	対象者	内 容
	1	全員	●第2セメスターの留学科目「Overseas University Studies」の各種書類を提出
1	1 2 全員		 <留学帰国後、2種類の希望を提出> ●所属専攻内の「専修」希望を提出 ※各専修には定員が設けられており、定員を超えた場合は第1セメスターのGPA により決定します。 ●第二外国語の希望を提出 ※各言語には定員が設けられており、定員を超えた場合は第1セメスターのGPA 及び1年次秋学期Overseas University Studies帰国後に受検するGTECスコアにより決定します。 ※3年次に応用科目を履修する学生はイタリア語と韓国語以外の言語から第二外国語を選択してください。
	3		
		全員	●所属ゼミ希望を提出 ※各ゼミには定員が設けられており、担当教員による選抜を行います。
2	4	Honors Program希望者	●Honors Programの履修希望を提出 ※第4セメスター終了時のトータルGPA3.0以上の者を対象とします。 ※セカンドメジャーの専修選択には定員が設けられており、定員を超えた場合は GPAにより決定します。
	5		
3 6 Double Major希望者		Double Major希望者	●セカンドメジャーの専修のゼミ希望を提出 ※各ゼミには定員(3名)が設けられており、定員を超えた場合は担当教員により 選抜を行います。
	7		
4	8	Honors Program修了者	●Honors Program / Plurilingual Program修了証発行願を申出「Double Major修了証」、「1 Major+1 Minor修了証」、「Plurilingual Program修了証」を卒業時に発行します。

教務センター

アカデミック・アドバイザー制度

担当教員が学修活動を中心に支援する「アカデミック・アドバイ ザー制度」を設けています。この制度は、GPA値・修得単位数の学 修目標を示すとともに、成績が一定基準に達していない場合には、 面談を実施する機能を有しています。単位修得だけでなく、GPA(学 修の質)の向上にも取り組むよう心がけてください。アドバイス基準 は下記のとおりです。

【アドバイス(指導)対象基準】

学年	セメスター	総修得単位数	GPA	指導担当			
1	1	16未満					
	2	26未満		担任制			
2	3	42未満	各セメスター	担当教員			
	4	58未満	1.0未満				
3	5	74未満					
3	6	100未満		サンセネ教品			
4	7	マドバイフ (-	上道) 社会从	ゼミ担当教員			
4	8		アドバイス(指導)対象外				

※第1~4セメスターまでの指導は担任制による担当教員が指導を 行います。第5~6セメスターは、ゼミ(演習)担当教員による指 導となります。第7~第8セメスターは、アドバイス対象外ですが ゼミ(演習)担当教員による指導がある場合があります。

【アドバイス(指導)の流れ】

- ①教務センターより対象学生にCHUKYO ALBO等で連絡
- ②対象学生は、担当教員にアポイントをとり、面談する日時を決定
- ③担当教員による面談

アカデミック・アドバイザー制度に関する質問は、教務センター窓口 へ申し出てください。

オフィス・アワーについて

学部の教員がみなさんの学修についての相談に応えるためオフィ ス・アワーという制度を設けています。授業の前後にお話しをする ことはもちろんできますが、研究室等においてきめ細かい対応や指 導を受けることもできます。相談がある場合は各教員の研究室を訪 ねてください。

12

全学開放科目

本学では、自分の所属学部以外の学部が開講している学部固有 科目を履修・修得することができます。当該科目の履修は、履修登 録制限単位に含みます。修得した科目の単位は、下記の表に従い 卒業所要単位に含みます。

対象科目

全学開放科目時間割表で確認してください。

履修方法

全学開放科目の履修希望者は以下の手順で履修の申込みを行っ てください。

- ①CHUKYO ALBOで配信される「全学開放科目時間割表」を参照 し、履修希望科目を決定してください。
- ②申込方法の詳細については、CHUKYO ALBOで確認し、申込み を行ってください。
 - ※CHUKYO ALBOでの履修登録及び履修修正はできません。
- ③申込期間はCHUKYO ALBOで確認してください。

単位認定

卒業所要単位としては下表のとおり認定されます。

学部	単位数	認定区分
国際		フロート単位
文		
心理		
現代社会		
法	8単位	
総合政策		全学共通選択単位
経済		
経営		
スポーツ科		
I	4単位	

※各単位数を超えて修得した単位は自由単位となります。

注意事項

- ①履修登録制限単位に含みます。
- ②履修を希望する科目の開講学部を確認してください。
- ③教室変更・試験日程等の連絡事項は、CHUKYO ALBO又は公 式ホームページを確認してください。
- ④開講キャンパス(名古屋・豊田)が異なる学部の科目も履修できま すが、移動時間(約1時間)を考慮して履修計画を立ててください。
- ⑤休講・補講等は、CHUKYO ALBOで確認してください。
- ⑥履修可能学年は科目によって異なります。詳細はCHUKYO ALBOで配信される「全学開放科目時間割表」で確認してください。

単位互換に関する包括協定の案内

問合せ先

教務センター

愛知県単位互換制度

愛知県内すべての4年制大学が加盟する愛知学長懇話会におい て締結された「単位互換に関する包括協定」は、加盟大学に所属す る学生が他の大学で開講される様々な科目を履修することで、所属 大学の単位として認められる制度です。

出願条件

■出願可能学年

本学の出願可能学年は1~3年生です。4年生は履修申込み(出 願)ができません。また、本学での単位修得状況がよくない学生は 本学での履修を優先し、申込みは控えてください。

各科目に設定されている出願条件については(対象学年等)、「講 義概要 |を参照してください。

■年間履修制限単位数

年間履修制限単位数は4単位です。この単位は本学の履修登録 制限単位に含みません。

出願手続き

■出願票記入

3月中旬頃、愛知学長懇話会ホームページに「各大学の開放科目」 「講義概要」「科目開設大学概要」が公開されます。これらの情報を 参照した上で、所定の出願票に必要事項を記入してください(1科目 につき1枚)。

出願票は、愛知学長懇話会ホームページからダウンロードするか、 本学教務センター窓口で受け取ってください。

■出願票提出期間・提出先

出願票の提出期間は、年に1回4月上旬のみです(提出期間の詳 細はCHUKYO ALBO「お知らせ」で通知)。 秋学期開講科目も4 月上旬に出願票を提出する必要がありますので注意してください。

提出先は本学教務センター窓口です。

■履修の可否

科目開設大学で履修の可否が審議された後、所属大学に結果が 通知されます。科目によっては出願票に記入された「志望動機」に基 づいて履修者の選考が行われる場合がありますので、「志望動機」 は明確かつ具体的に記入してください。

出願者本人への履修可否通知は、4月下旬に、本学教務センター から行います。

■受講料

受講料は無料です。ただし、科目によっては、実験・実習等に必 要な実費について必要となる場合があります。

履修手続き

■履修手続き

履修許可の通知を受けた学生は、科目開設大学の指示に従って 所定の履修手続きを行うことになります。また、履修登録日程の関 係上、科目開設大学において履修者決定までの間、その授業の仮 受講が認められていますので、出願票のコピー(本人控)を携帯し、 仮の受講票とすることができます。

■賠償責任保険加入

履修許可の通知を受けた学生は、学生教育研究災害傷害保険付 帯の賠償責任保険に加入していただきます(340円)。加入に関す る詳細は本学教務センターより別途指示します。

身分について

履修手続きを完了した学生は、科目開設大学で「単位互換履修生」 又は「特別聴講学生」となります。科目開設大学によっては身分証明 書が発行されます。単位互換履修生(特別聴講学生)は、科目開設 大学の施設(図書館等)を利用することができますが、科目開設大学 のルールに従って行動してください。

単位互換履修生(特別聴講学生)となった学生への連絡

単位互換履修生(特別聴講学生)となっている大学からの連絡事項 があった場合は、CHUKYO ALBOの「お知らせ」で連絡します。

単位認定

単位互換履修生(特別聴講学生)は、履修許可を受けた科目を履 修し、当該科目の試験に合格すれば本学の卒業所要単位として単位 認定を受けることができます(下表参照)。

ただし、他大学での履修科目と本学での履修科目が類似した内容 である場合は、その程度により、試験に合格していても単位認定で きないことがあります。

成績は当該学期終了後、本学教務センターからCHUKYO ALBO にて通知します。なお、試験に合格した場合の成績評価は、認定[N] とします。

学部	認定上限 単位数	認定区分
文		全学共通選択単位
国際		フロート単位
心理		ノロード単位
現代社会		
法	4単位	
総合政策	4半四	全学共通選択単位
経済		
経営		
I		学部固有選択単位
スポーツ科		全学共通選択単位

14

大学院進学奨励学生制度について

問合せ先

教務センター (大学院係)

大学院進学奨励学生制度は、本学大学院の研究科・専攻に進学を 希望する学業成績優秀な学部4年次生に対して本学大学院教育課程 の授業科目を履修する機会を提供するとともに、大学院教育との連 携を図ることを目的とした制度です。

この制度を利用して学部4年次に修得した大学院科目の単位は、 その科目を設置する研究科・専攻に入学すれば、教育課程(カリキュ ラム)の改正がない限り、修了所要単位として認定されます(ただし、 研究科・専攻が教育上有益と認めた場合に限ります。)。

なお、この制度を利用するには、学部1~3年次の単位修得状況や GPA等の要件を満たすことが必要となります。詳しくは、教務セン ター(大学院係)までお問い合わせください。

資格課程について

中京大学では、学士として卒業するための教育課程(以下では、 学部教育課程といいます)のほかに、資格を取得するための資格課 程を設置しています。この資格課程は、文部科学省や厚生労働省 などの資格を与える公的機関から設置認可を受けた学部・学科に所 属する学生に対して履修を認めています。しかし、司書課程や学芸 員課程のように開設学部以外の学生が履修することのできる資格課 程もありますので、下表を参照して取得可能な資格を確認してくだ さい。

資格課程は、学部教育課程とは別に設置されているので、各資格 課程用に開講されている科目を修得しても、卒業所要単位としては 認められず、自由科目として扱われます。その代わり、学部教育課 程に設定されている履修登録制限単位に制限されることもありませ ん。ただし、資格課程の必修科目や選択科目として全学共通科目や 学部固有科目があてられている場合には、履修登録制限単位に含み ます。

以下の資格を取得するには、各資格課程に定める科目を全て修得 して、資格課程を修了することが必要です。

各学部で取得することのできる資格は、次のとおりです。

資格の種類(資格課程)	開設学部	履修できる学部
教員免許 (教職課程)	全学部※	全学部※ (ただし、取得できる 免許教科が学部・学 科により異なります)
司書教諭 (司書教諭課程)	文	工以外
司書 (司書課程)	文	工以外
学芸員 (学芸員課程)	文·現代社会	工以外
社会教育主事〈任用資格〉 (社会教育主事課程)	現代社会	国際·工以外

※国際学部国際学科、工学部機械システム工学科、情報工学科、 メディア工学科を除く。

16

教員免許状取得について

教員免許状を取得しようとする学生は、卒業に必要な単位のほか に、免許教科に応じて各学科の教職課程で開講されている科目の単 位修得が必要となります。さらに、中学校教諭 1 種免許状を取得す るには、介護等体験に参加する必要があります。

教職課程の履修開始は2年生からです。ただし、教員免許状取得 に必要な科目のうち、一部科目については1年生より開講されてい るものもありますので、教職課程に入る前にあらかじめ修得してお くなど、計画的に履修するようにしてください。

詳細については、学年別の教職ガイダンスを実施しますので、希 望者あるいは履修者は必ず出席してください。なお、各ガイダンス 等で課されるレポート提出や申し込み手続等を期日までに行わな かった場合、教職課程の受付及び教職課程の継続はできないの で注意してください。また教育実習等の学外実習や科目履修、各種 申し込みについては付帯条件が課せられていることもあります(各ガ イダンスで説明します)。

教職課程を履修するには、学費とは別に教職課程履修登録費・教 職実習履修費を納入する必要があります。また、教育実習にかかわ る保険料や介護等体験に参加する場合の諸費用等が必要です。

教職課程履修申し込み

- 1. 教職課程履修の申し込み手続きの受付は、1年生3月下旬に行 います。なお、申し込みができるのは、事前に実施された「1年 生教職課程ガイダンス」の出席者のみです。
- 2. 教職課程履修費は28,000円(教職課程履修登録費5,000円+ 教職実習履修費23,000円)です。以下の要領に従って納入し てください。

なお、納入した各履修費の返還はできません。

項目	金額	納入時期
教職課程履修登録費(注1)	5,000円	1年生の3月下旬
教職実習履修費(注1・2・3)	23,000円	2年生の3月下旬

- 注1. 金額は2023年度入学生のものであり、改定する場合が あります。
- 注2. 介護等体験へ参加するには、介護等体験費8.500円と賠 償責任保険加入料210円(スポーツ科学部生除く)が別途 必要です。
- 注3. 教育実習の履修には、賠償責任保険加入料210円(工学 部及びスポーツ科学部生除く)が別途必要です。
- 3. 中学校教諭 1 種免許状取得希望者は別途介護等体験の申し込み が必要です。

《履修上の注意》

以下の場合は、必ず教務センター(教職支援係)へ連絡してくださ (,)

- 1. 教職課程を辞退(教員免許状取得を断念)する場合。
- 2. 諸事情により、介護等体験(3年生)や教育実習(4年生)を該当 年次に行わない場合。
- 3. 取得希望の免許状の種類・免許教科を変更する場合。
- 4. 3年生の所定期日に提出する、教育実習用「自己紹介書」の記載 内容に変更があった場合。
- 5. 休学又は留学をする場合。(科目履修だけでなく学外実習(教育 実習や介護等体験など)に影響します。計画段階で早めに相談し てください。)
- 6. その他、教務センター(教職支援係)に伝達が必要と思われる事 項。例えば、実習校からの連絡を受けた場合など。

教員免許状の交付

教員免許状の取得に必要な単位を修得し、所定期日に免許状の申 請手続を行った方は、卒業時に教員免許状を受け取ることができま

- 1. 教員免許状を受け取るには、免許教科1件につき3,600円(交 付申請料3,400円及び大学が発行する証明書手数料200円)が 必要です。
- 2. 教員免許状は愛知県教育委員会から交付されます。大学から一 括して申請手続を行いますので、教員免許状取得見込の4年生は 9月中旬の「教員免許状一括申請ガイダンス」に出席してください。

教職課程科目の履修登録

教職課程科目は、本学において「教職共通科目」「教科に関する科 目」「教職に関する科目」に区分していますが、それぞれに必要な単 位をすべて修得してください。

- 1. 「教職共通科目」「教科に関する科目」の中には1年生から開講さ れる科目がありますので、計画的に履修を始めてください。
- 2. 「教科に関する科目」「教職に関する科目」は免許状の種類・免 許教科に応じた科目を修得してください。
- 3. 「教職に関する科目」(学部固有科目としても開講している科目 を除く)の単位は、履修制限単位には含まれません。また卒業 所要単位にも算入されません。
- 4. 「教職共通科目」「教科に関する科目」「教職に関する科目」の中 には、複数学科合同開講や履修者数制限を行う科目、隔年開講 する科目等があります。自己責任において漏れのないよう履修 登録を行ってください。

介護等体験

- 1. 中学校教諭1種免許状取得希望者は、3年生において、県下の 「社会福祉施設(5日間)」と「特別支援学校(2日間)」で合計7日 間の介護等体験が義務づけられています。体験先や体験日程の 決定については、CHUKYO ALBOで案内します。
- 2. 介護等体験のスケジュールについては、次頁の「教職課程行事 予定表」を参照してください。
- 3. 介護等体験に先立って行われる「介護等体験の事前指導」を受講 しなければ、介護等体験に参加することができません。
- 4. 介護等体験参加者は「賠償責任保険」への加入が義務づけられて います(スポーツ科学部生除く)。
- 5. 介護等体験を終了すると、「証明書」(事前指導で配付)に介護 等体験先の学校長・施設長より署名捺印が受けられます。この 「証明書」は免許状申請手続の際に必要ですので「体験記録」を添 えて教務センター(教職支援係)へ提出してください。

マナー研修

「教育実習Ⅰ」又は「教育実習Ⅱ」の履修要件として教務センター(教 職支援係)が実施するマナー研修を受講済みであることが必要です。 日程等の詳細については、CHUKYO ALBOで案内します。

1*7*

教職課程行事予定表

●説明会 · 手続 · 履修 ◎教育実習 ■介護等体験 ☆免許申請

			● 成功云					
対象学年	実施時期	履修行事	注意事項					
	12月~1月	●1年生教職課程ガイダンス	*教務センター(教職支援係)より履修方法と諸手続きについて説明します。 *このガイダンスに出席しないと、2年生からの教職課程への加入を認めません。					
1年		●教職課程の履修可能者発表(特定の学部)	*CHUKYO ALBOで発表します。					
	3月下旬	●課程履修の申込み手続き	*教職課程履修登録費5,000円を納入してください。 *末手続き者は「教職に関する科目」の履修登録はできません。					
	10月~11月	●2年生教職課程ガイダンス	*教職課程履修継続手続きについて説明します。 *このガイダンスで介護等体験の概要を説明します。 *このガイダンスに出席しないと、3年生からの教職課程の継続を認めません。					
2年		■介護等体験事前指導(中学校免許取得希望者) (1日講習)	*2年生教職課程履修者ガイダンスに出席し、中学校免許取得を希望している方を対象とします。 *日程はCHUKYO ALBOで発表します。					
	3月下旬	●課程履修の継続手続き	*教職実習履修費23,000円を納入してください。 *未手続き者は「教職に関する科目」の履修登録ができません。					
		●新3年生教職課程ガイダンス	*教育実習の依頼校の選定と受け入れ依頼の方法を説明します。					
	4月中旬	■介護等体験費納入■介護等体験の賠償責任保険加入手続き (スポーツ科学部除く)	*介護等体験事前指導に出席し、事前指導レポートを提出して体験参加が認められた方は、指定期間に体験費8,500円を納入してください。 *賠償責任保険については、別途ガイダンスでお伝えする方法で手続きを済ませてください。					
	4月下旬~ 5月下旬	◎教育実習受け入れの依頼◎愛知県公立小中、名古屋市立学校の教育実習 希望登録	*教育実習希望学校へは、原則各自で申込みをします。 *新3年生教職課程ガイダンスで依頼方法を説明しますので、それ以前に依頼しないようにしてください。 *愛知県公立小中、名古屋市立学校での教育実習希望者は、新3年生教職課程ガイダンスで希望登録を実施します。					
	6月中旬~ 6月下旬	■介護等体験先決定(社会福祉施設 5日間) ■介護等体験の資料配布	*教務センター(教職支援係)窓口で発表・配布します。					
	7月上旬~ 中旬	■介護等体験先決定(特別支援学校 2日間) ■介護等体験の資料配布	*教務センター(教職又抜保)芯口で発衣・配仰しより。					
3年	7月上旬以降 (指定日)	■介護等体験オリエンテーション	*社会福祉施設(5日間)、特別支援学校(2日間)とも決定先別オリエンテーションの指定日を確認し、必ず出席してください。					
	7月中旬~ 介護等体験開始日	■介護等体験による授業欠席届の提出開始	*欠席届は教務センター(教職支援係)窓口で受け取ってください。 *体験の1・2週間前に各授業担当教員へ提出してください。					
	名古屋:6月下旬 豊田:9月下旬	◎教育実習の自己紹介書提出	*未確定項目がある場合でも、期日までに一旦提出してください。					
		■介護等体験の実施	*身なりや言動を正して体験を実施してください。					
	8月~12月	■証明書と体験記録の提出	*計7日間の体験終了後、証明書と体験記録を教務センター(教職支援係)へ提出してください。					
	12月	◎愛知県公立小中、名古屋市立学校の教育実習 手続き	*愛知県公立小中、名古屋市立学校での教育実習登録者に対して必要書類の手続きを行い ます。					
	2月下旬~ 3月下旬	◎マナー研修の実施	*必ず受講してください。日程等の詳細についてはCHUKYO ALBOで発表します。					
	3月下旬	◎教育実習履修可能者判定	*教育実習履修要件の確認をします。					
	0,1110	●新4年生教職課程ガイダンス	*教育実習の実施に関する諸注意と必要書類の説明をします。					
	4月初旬	◎愛知県公立中、名古屋市立学校の実習校決定	*決定次第、対象者には、個別に必要な手続きの連絡をします。					
	4月上旬以降	◎教育実習期間と実習校との打合せ日程の確認	*実習校から届く回答を基に、各自で実習校に連絡をして日程を再確認してください。					
	4月中旬~	◎教育実習による授業欠席届の提出開始	*欠席届は教務センター(教職支援係)窓口で受け取ってください。 *実習の1・2週間前に各授業担当教員へ提出してください。					
	教育実習開始日	◎教育実習の賠償責任保険加入手続き (工学部及びスポーツ科学部除く)	*別途ガイダンスでお伝えする方法で手続きを済ませてください。					
4年	4月中旬~ 11月下旬	◎教育実習事前指導◎教育実習巡回指導教員との打合せ◎教育実習事後指導	*実習中に担当教員(巡回指導教員)が実習校を訪問します。 *担当教員に実習中のスケジュール(研究授業日等)を伝え、訪問日を調整してください。					
	5月~11月	◎教育実習の実施	*身なりや言動を正して実習を実施してください。					
	9月中旬	☆教員免許状一括申請可能者判定	*3月卒業見込みで免許状申請に必要な単位を修得見込みか確認します。(一括申請とは、免許状の申請を大学でとりまとめて行うことです。)					
	9月下旬	☆教員免許状一括申請 1次手続き	*申請者登録カードの提出と同時に申請費用を納付してください。 *教育委員会へ免許状申請予定者として登録をします。					
	11月下旬	☆教員免許状一括申請2次手続き	*教育委員会から登録者情報が出力されます。その内容を確認し必要事項を記入してください。					
	卒業式当日	◎教育実習記録と指導案の返却 教員免許状の交付	*免許状等は卒業証書とともに渡します。					

- 注1. 教職課程行事の詳細は各ガイダンス又はCHUKYO ALBOで連絡します。 注2. 実施時期の変更や上記以外の手続きやガイダンスが発生する場合があります。その場合は、予めCHUKYO ALBO等で連絡します。 注3. 教職課程行事とは別に「教員採用試験対策」の行事(参加は任意)を実施しています。詳細については、CHUKYO ALBOで案内します。

教務センター (教職支援係)

取得できる免許状の種類と教科

学部	学部 学科 免許状の種類		免許教科
国際学部	言語文化学科	中学校教諭1種免許状	外国語(英語)
国际子印	古語文化子科	高等学校教諭 1 種免許状	外国語(英語)

教職共通科目

	左	記に対応す	る開設授	 業科目		
免許法施行規則に定める	155 WET VI		単位数			履修科目
科目区分	授業科目	必修	選	択必修	履修可能学年	チェック
日本国憲法	日本国憲法	2			1~4年	
	健康科学A		2	1科目2単位	1~4年	
	健康科学B		2	選択必修	1~4年	
	個人スポーツ・卓球I		1		1~4年	
	個人スポーツ・卓球Ⅱ		1		1~4年	
	個人スポーツ・硬式テニスI		1		1~4年	
	個人スポーツ・硬式テニスⅡ		1		1~4年	
	個人スポーツ・バドミントンI		1		1~4年	
	個人スポーツ・バドミントンⅡ		1		1~4年	
	個人スポーツ・ゴルフI		1		1~4年	
	個人スポーツ・ゴルフⅡ		1		1~4年	
	個人スポーツ・フライングディスクI		1		1~4年	
	個人スポーツ・フライングディスクⅡ		1		1~4年	
	ティームスポーツ・バレーボールI		1		1~4年	
	ティームスポーツ・バレーボールⅡ		1		1~4年	
	ティームスポーツ・バスケットボールI		1		1~4年	
体育	ティームスポーツ・バスケットボール I		1	0.77	1~4年	
仲月	ティームスポーツ・ソフトボールI		1	2科目 2単位	1~4年	
	ティームスポーツ·ソフトボールII		1	選択必修	1~4年	
	ティームスポーツ・サッカーI		1	253/(2011)	1~4年	
	ティームスポーツ・サッカーⅡ		1		1~4年	
	ティームスポーツ・カローリングI		1		1~4年	
	ティームスポーツ・カローリングⅡ		1		1~4年	
	フィットネス・トレーニングI		1		1~4年	
	フィットネス・トレーニングⅡ		1		1~4年	
	フィットネス・フィットネスI		1		1~4年	
	フィットネス・フィットネスⅡ		1		1~4年	
	フィットネス・エアロビクスI		1		1~4年	
	フィットネス・エアロビクスⅡ		1		1~4年	
	シーズンスポーツA・ゴルフ		1		1~4年	
	シーズンスポーツB・スケート		1		1~4年	
	障害者スポーツA		1		1~4年	
	障害者スポーツB		1		1~4年	
外国語コミュニケーション	English for Practical Communication	2			1~4年	
数理、データ活用及び人工知能	コンピュータ処理論A		2	1科目2単位	1~4年	
に関する科目又は情報機器の操作	コンピュータ処理論B		2	選択必修	1~4年	

教科に関する科目(中1種英語)(高1種英語)

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科					主開講専修
各科目に含めること	授業科目			立数	履修可能学年	専攻-専修
が必要な事項		必修		選択		
	ことばの仕組み		2	4単位中2単	1~4年	P5-1
	英語学概論		2	位選択必修	1~4年	P6-1
	理論言語学入門		2		2~4年	P5-1
	統語と音韻の境界領域		4		2(3)~4年	P5-1
	比較統語論		4		2(3)~4年	P5-1
	Introduction to Linguistics		2		2~4年	P5-1
	Workshop in Linguistic Research		4		2(3)~4年	P5-1
	理論言語学		4		2(3)~4年	P5-1
	音声学と音韻論		4		3~4年	P5-1
	言語獲得		4		3~4年	P5-1
英語学	言語学特別研究		4	72単位	3~4年	P5-1
○○○□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	英語の歴史		4	中8単位	2(3)~4年	P6-1
	English Language		2		2~4年	P6-1
	英語の文構造		4	選択必修	2(3)~4年	P6-1
	日英対照の英語学		4		2(3)~4年	P6-1
	英語と文法化		2		2~4年	P6-1
	Topics in English Linguistics		4		2(3)~4年	P6-1
	英語の意味と語用		4		2(3)~4年	P6-1
	教育文法論		4		3~4年	P6-1
	実用英語運用法		4		3~4年	P6-1
	Changes in English		4		3~4年	P6-1
	認知言語学と英語教育		4		3~4年	P6-1
	英語圏文学概論	2			1~4年	P6-2
	文学から学ぶ言語文化		4		2(3)~4年	P5-2
	イギリス文学・文化研究(書物の形式と言語文化)		4		2(3)~4年	P6-2
	American Literary and Cultural Studies		4		2(3)~4年	P6-2
	英語圏の世界文学・文化研究		4		2(3)~4年	P6-2
	Understanding Film and Popular Culture		2	44単位	2~4年	P6-2
英語文学	イギリス文学・文化研究(物語と映像メディア)		4	l	2(3)~4年	P6-2
V (PH V ()	アメリカ文学・文化研究(物語と映像メディア)		4	中4単位	2(3)~4年	P6-2
	Analyzing, Discussing and Writing about Literature, Film and Culture		4	選択必修	2(3)~4年	P6-2
	Understanding Fiction, Drama and Poetry		2		2~4年	P6-2
	Literature and Media for Children and Young Adults		4		3~4年	P6-2
	映画論		4	-	3~4年	P6-2
	職業としての文学教育		4		3~4年	P6-2
	English for Practical Communication	2	T '		1~4年	世界の言語プログラム(英語)
++ = -	English for Discussion and Presentation	2			1~4年	世界の言語プログラム(英語)
英語	English for Academic Purposes	2			1~4年	世界の言語プログラム(英語)
コミュニケーション	Integrated Academic Skills I	2			2~4年	世界の言語プログラム(英語)
	Integrated Academic Skills II	2			2~4年	世界の言語プログラム(英語)
	異文化理解概論	2			1~4年	P5-2
	外国語学習から学ぶ複言語複文化	_	4		2(3)~4年	P5-2
	多文化共生から学ぶ宗教文化		4		2(3)~4年	P5-2
	映画から学ぶメディア文化		4		2(3)~4年	P5-2
	Introduction to Theory of Culture		2		2~4年	P5-2
	Glocal Studies in Japan		4	V V 774 /T	2(3)~4年	P5-2
異文化理解	社会言語学から学ぶ言語文化		4	44単位	2(3)~4年	P5-2
ノヘノヘーローエバオ	芸術から学ぶ宗教文化		4	中4単位	2(3)~4年	P5-2
	ポピュラー文化から学ぶメディア文化		4	選択必修	2(3)~4年	P5-2
	コミュニケーション論概論		2		2~4年	P5-2
	コーコープ・ジョン語が開		4		3~4年	P5-2
	Workshop in Intercultural Communication Research		4		3~4年	P5-2
	文化科学研究		4		3~4年	P5-2
教科及び教科の指導法に関す	入心付予別の		+		044	F J-C
	#====================================				0 45	DO 1
	英語科単元構成論	4			3~4年	P6-1
合わせた内容に係る科目			<u> </u>			
●単位数 教員の免託	許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数含む)	36単	位			

【教科に関する科目の注意事項】

- ・※印科目について、※印科目の主開講専修が自専修以外の場合は履修登録画面に表示されない場合があります。また、科目によっては、履 修条件がありますので各科目の履修条件をシラバスで確認してください。履修登録は教務センターにて個別に受付けます。当該科目の履修可 能学年について、自専修の場合は2年~、他専修の場合は3年~となります。
- ・自専修科目以外にも単位数を満たすよう履修及び修得する必要があります(卒業要件に含まれます)。
- ・自専修科目を修得した上で、不足分を他専修科目から履修及び修得することを推奨します。

教職に関する科目

施行規則に定める 科目区分等	左記に対応する開設授業科目							
			単位数					
各科目に含めることが必要な事項	授業科目	中1種 高1種 (英語) (英語)		履修可能 学年	履修科目 チェック			
		必修	必修	選択 必修	3-1	7 = 7 7		
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門	2	2		2~4年			
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	2		2~4年			
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	学習·発達論	2	2		2~4年			
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育の制度と経営	2	2		2~4年			
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	2		2~4年			
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	1	1		3~4年			
タ数41の比消法 (桂却 3/5 世代の 3 田 5 会 ナ)	英語科教育法[※]	4			3~4年			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	英語科教育法Ⅱ※1	4	4		2~4年			
道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践※2	2			3~4年			
特別活動の指導法	特別活動の方法	1	1		3~4年			
総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	1	1		3~4年			
教育の方法及び技術	教育方法論	1	1		3~4年			
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	情報通信技術の活用	1	1		3~4年			
生徒指導の理論及び方法	 生徒指導・進路指導の方法	2	2		4年			
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	土化拍导:连陷拍导00万法		_		44			
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法	教育相談(カウンセリングを含む)	2	2		3~4年			
教職実践演習	教職実践演習(中·高)※3	2	2		4年			
***************************************	教育実習[※4	5		5	4年			
教育実習	教育実習Ⅱ※4			3	4年			

- ※1 中1種英語免許取得希望者は「英語科教育法I」と「英語科教育法II」の2科目必修。
- ※1 高1種英語免許取得希望者は「英語科教育法Ⅱ」の1科目必修。
- ※1 英語学·英語教育専修の学生は2年次に「英語科教育法II」を、3年次に「英語科教育法II」を履修してください。その他の専修の学生は3 年次に「英語科教育法I」と「英語科教育法II」を両方履修してください。
- ※1 「英語科教育法I」は、すべての専修で学部固有科目の【J】選択科目の単位として認められます。「英語科教育法II」は、英語学・英語教 育専修では学部固有科目の【H】自専修科目の単位として、それ以外の専修では【J】選択科目の単位として認められます。なお、「英語 科教育法I」「英語科教育法II」ともに履修登録制限単位に含まれます。
- ※2 中1種免許取得希望者は必修。
- ※3 「教職実践演習(中・高) | を履修するにあたり、所定の期間内に本学指定の「教職課程履修カルテ | を教務センター(教職支援係)に提出すること が要件となります。
- ※4 中1種免許又は中・高両免許取得希望者は「教育実習」」を履修してください。
- ※4 高1種免許のみ取得希望者は「教育実習II」を履修してください。

教育実習

教育実習を履修するためには、学部ごとに定められた下記履修要件を満たす必要があります。

教育実習の履修要件

免許状	の種類	3年生終了時の 卒業所要単位の 修得単位数		マナー研修の受講
中学校 教諭1種	外国語 (英語)	90単位以上	英語科教育法Ⅰ・Ⅱを含む6科目以上を修得	教務センター(教職支援係)が実施する
高等学校 教諭 1種	外国語 (英語)	90単位以上	英語科教育法IIを含む5科目以上を修得	マナー研修を受講済みであること。

- 注1.「教育実習」は中学校教諭・高等学校教諭の免許の種類によって実習期間が異なります。
 - 中・高両方の免許状取得希望者は、必ず「教育実習「(中学校教諭)5単位」を履修してください。
- 注2. 実習校への受け入れ内諾依頼は、実習を実施する前年度(原則、3年生)に学生本人が行います。
 - 学生本人が依頼できない学校や、大学から申請を必要とする学校などについては、新3年生教職課程ガイダンスで説明します。
- 注3. 教育実習中に本人の過失による重大なトラブルが発生した場合は、教育実習期間中であっても実習を中止する場合があります。

通信課程による教員免許状取得について

■通信課程について

提携大学の通信教育科目等履修制度を活用し、本学在学中に以下の教 員免許状を取得するプログラムを履修することができます。このプログ ラムには、学習意欲に富み、教員としての資質向上を目指し、且つ教職に 就く強い意志を持ちあわせた学生を推薦します。なお、履修においては 条件や別途費用が必要となります。詳細はガイダンスで説明しますので 該当のガイダンスに必ず出席してください。また、本プログラム履修者は 原則としてプログラムの途中辞退は認めません。

■取得できる免許状と履修期間

- ・小学校教諭2種免許状(履修期間:3・4年次の2年間)
- ・特別支援学校教諭 1 種免許状(履修期間:2・3・4年次の3年間) 取得できる学部学科は以下のとおりです。

学	7	ל	围	ıī.	法	終	終	総	担	I	ス	ポ
学部学科	日文/言表	歴史	国際	心理	1	経済	経営	総政	現 社	_	競技/トレーナー	教育/健康
小免	×	0	0	0	0	×	×	×	0	×	×	0
特支免	×	×	0	0	0	0	0	0	×	×	0	0

○: 履修可 ×: 履修不可

■プログラム履修条件等

各プログラムの履修条件等は以下のとおりです。なお、同時履修はで きません(どちらかのみの履修となります)。下記以外にも、履修希望理 由書の提出や面談による履修決定、またプログラム開始後の履修状況に より履修取り消し等の可能性もあります。

I. 小学校教諭2種免許状

《文学部歴史文化学科、心理·法·現代社会学部》

- ・本学の教職課程履修者(中学校教諭]種)
- ·履修定員若干名

《国際学部》

- ・本学の教職課程履修者(中学校及び高校教諭1種)及び2年次春学期終 了時の成績が規定基準以上(トータルGPA2.5以上、卒業所要単位56 単位以上)
- ·履修定員若干名

《スポーツ科学部スポーツ教育学科》

- ・本学の教職課程履修者(中学校及び高校教諭1種)及び1年次終了時の成 績が規定基準以上(トータルGPA2.5以上、卒業所要単位40単位以上)
- ·2年次終了時の成績が規定基準以上(トータルGPA2.5以上、卒業所要 単位74単位以上)かつ教科教育法及び教職に関する科目(「体育科教 育法IA」及び「保健科教育法IA」の2科目を含む)を5科目以上修得
- · 履修定員30名

《スポーツ科学部スポーツ健康科学科》

- ・本学の教職課程履修者(中学校及び高校教諭1種)及び1年次終了時の成 績が規定基準以上(トータルGPA2.5以上、卒業所要単位40単位以上)
- ·2年次終了時の成績が規定基準以上(トータルGPA2.5以上、卒業所要 単位74単位以上)かつ教科教育法及び教職に関する科目(「体育科教 育法I」又は「保健科教育法I」の1科目を含む)を4科目以上修得
- ·履修定員20名

Ⅱ. 特別支援学校教諭 1 種免許状

《心理·経済·経営·総合政策学部》

- ・本学の教職課程履修者(中学校教諭 1種)
- ·履修定員若干名

《国際学部》

- ・本学の教職課程履修者(中学校教諭1種)及び1年次終了時までの成績 が規定基準以上(トータルGPA2.5以上、卒業所要単位32単位以上)
- 履修定員若干名

《法学部》

- ・本学の教職課程履修者(中学校教諭1種)及び1年次終了時までの成績 が規定基準以上(トータルGPA2.0以上、卒業所要単位40単位以上)
- ·履修定員若干名

《スポーツ科学部》

・本学の教職課程履修者(中学校教諭) 種及び高校教諭] 種) 及び] 年次終

了時までの成績が規定基準以上(トータルGPA2.5以上、卒業所要単位 40単位以上)

·履修定員22名

■履修スケジュール

- I. 小学校教諭2種免許状
- ①「1年生教職課程ガイダンス」に必ず参加し、プログラム履修希望届を 期日までに教務センター(教職支援係)に提出してください。
- ②学部教員による面接を受け、履修可否の決定を行います。(スポーツ 科学部:1年次2月下旬~3月予定、その他学部:2年次秋学期)
- ③2年次1月中旬に入学手続きを行い、3年次から通信教育をスタートさ せます。
- ④履修科目の中にはスクーリングによる履修(協定大学への通学)が予定 されています。
- ⑤3年次の3月頃に履修継続手続きを行い、4年次も継続して通信教育 を履修します。
- ⑥4年次秋学期(9~10月頃)に小学校で教育実習を行います(実習校 への教育実習依頼は3年次で実施)。
- ⑦履修修了者は、卒業後教育委員会に小学校教諭2種免許状の個人申請 を行います。

(注意)

- ・履修に際して各種ガイダンスが行われますので必ず参加してください。
- ・スポーツ教育学科の本プログラム履修生は、上記小学校での教育実習 の他に、3年次に本学教職課程の「教育実習」」(原則中学校での教育実 習、実習校への教育実習依頼は2年次で実施)を履修します。
- ・スポーツ教育学科以外の本プログラム履修生は、上記小学校教育実習 の他に、4年次春学期に本学教職課程の「教育実習」」(中学校又は高等 学校での教育実習、実習校への教育実習依頼は3年次で実施)を履修し
- ・介護等体験(7日間)は3年生で実施します。スポーツ教育学科生は教 育実習と重ならないように教務センター(教職支援係)が介護等体験の 日程調整をします。

Ⅱ. 特別支援学校教諭 1 種免許状

- ①「1年生教職課程ガイダンス」に必ず参加し、プログラム履修希望届を 期日までに教務センター(教職支援係)に提出してください。
- ②1年次1月~2月下旬頃に学部教員による面接を受け、履修可否の決 定を行います。
- ③1年次2月下旬に入学手続きを行い、2年次から通信教育をスタートさ せます。
- ④2年次及び3年次の3月頃に履修継続手続きを行い、次年度も継続し て通信教育を履修します。
- ⑤履修科目の中にはスクーリングによる履修(協定大学への通学)が予定 されています。
- ⑥4年次秋学期(9~10月頃)に特別支援学校で教育実習を行います (実習校への教育実習依頼は3年次で実施)。
- ⑦履修修了者は、卒業後教育委員会に特別支援学校教諭 1 種免許状の個 人申請を行います。

(注意)

- ・履修に際して各種ガイダンスが行われますので必ず参加してください。
- ・本プログラム履修生は、上記特別支援学校での教育実習の他に、4年次 春学期に本学教職課程の「教育実習」」(中学校又は高等学校での教育 実習、実習校への教育実習依頼は3年次で実施)を履修します。

■学費等納付金について

入学時及び継続時に協定大学へ学費等を納付します。金額は以下の とおりです。また、入学手続きや各種レポート等提出における郵送費、ス クーリング履修時の交通費・宿泊費等が別途必要です。

I. 小学校教諭2種免許状

総額:320,000円(1年目入学費・スクーリング費等:183,000円、 2年目継続手続き費・教育実習指導費等:137,000円)

Ⅱ. 特別支援学校教諭1種免許状

総額: 439,000円(1年目入学費等: 111,000円、2年目継続手続 き費・スクーリング費等:193,000円、3年目継続手続き費・教育実習 指導費等: 135,000円)

※I、ILともに2023年度諸費一覧であり、次年度以降一部改正する場合 があります。また履修状況により変動する場合があります。

■その他(提携大学について)

- · 小学校教諭2種免許状: 玉川大学通信教育課程
- ·特別支援学校教諭 1 種免許状:明星大学通信教育部

教務センター

日本語教師養成課程について

日本語を母語としない人、主に外国人に日本語を教える「日本語 教師」は、国際化の進展に伴い年々ニーズが高まっています。優秀 な日本語指導者を求める国内外の声に応えるため、中京大学では国 際学部と文学部が協同し、「日本語教師養成課程」を設置しています。 4年間で必要な区分の単位を修得することによって、卒業時に「日本 語教師養成課程修了証明書」を発行します。

課程履修者の定員について

国際学部の各学年の定員は10名です。履修希望者が10名を超 えた場合には、第2セメスター終了時のGPAで選抜します。

日本語教師養成課程への登録について

日本語教師養成課程を修了するためには、「日本語教師養成課程」 への登録が必要です。

- (1)日本語教師養成課程の科目は、2年生春学期から履修を開始し ます。
- (2)課程登録のためには、1年生秋学期の3月に実施する「日本語教 師養成課程ガイダンス」への参加が必須です。ガイダンス開催 日程については、CHUKYO ALBOでお知らせします。ガイダ ンス終了後、3月中に所定の手続きを行う必要があります。詳 細はガイダンス時にお知らせします。

課程を修了するためには

日本語教師養成課程を修了しようとする学生は、「日本語教師養 成課程」の対象科目を履修し、区分ごとに定められた単位を修得す る必要があります。

(参考) 2023年度 日本語教師養成課程カリキュラム

【日本語教師養成課程カリキュラム区分】

18

社会·文化· 地域	言語と社会	言語と心理	言語と教育	言語一般
4単位	4単位	2単位	6単位	12単位

日本語教育実習について

日本語教師養成課程の必修科目である「日本語教育実習」は、国 内・海外の2種類があります。シラバスを確認し、担当教員に相談 のうえ、どちらか一方を3年次もしくは4年次に履修してください。

【国内実習】

秋学期開講期間中、本学及び学外のNPO法人が実施する日本語ク ラスで実習を行います。

【海外実習】

オセアニア(ニュージーランド又はオーストラリア)で現地の中高一貫 生に英語で日本語を教える実習を行います。費用や詳細な内容は 別途案内します。

科目の履修方法と注意事項について

- 1. 日本語教師養成課程の履修単位のうち、全学共通科目及び国際 学部の学部固有科目として開講している科目は履修登録制限単 位・卒業所要単位に含まれます。
- 2. 日本語教師養成課程科目の履修登録は、CHUKYO ALBOの 履修申請画面にて登録を行ってください。ただし、一部の科目 は別途教務センターへの申込みが必要です。詳細はガイダンス 等で案内します。
- 3. 開講主体別の単位集計については、以下の通りです。
 - ①全学共通→通常の全学共通科目の修得単位として、卒業要件 に算入されます。
 - ②国際学部→所属専攻・専修以外の科目については、選択科目 の単位として卒業要件に算入されます。
 - ③文学部→卒業要件には算入されず、自由単位となります。

修了証明書の発行

在学中に日本語教師養成課程における所定の単位を修得した方には、 本学より卒業式当日に日本語教師養成課程修了証明書を発行します。

	-c	ND A	224 /			00=#->-/-
区分	所要単位	科目名	単位	履修可能学年	要件	開講主体
社会·文化·地域	4	Introduction to Theory of Culture	2	2~4年	 2科目必修(4単位)	国際学部
11五 人口 地域	-	社会学A	2	1~4年	217日必修(4半位)	全学共通
言語と社会	4	社会言語学から学ぶ言語文化	4	2(3)~4年	1科目必修(4単位)	国際学部
= 話した田	2	言語学A	2	1~4年	111日22日以版(0兴/5)	全学共通
言語と心理		Introduction to Linguistics	2	2~4年	1科目選択必修(2単位)	国際学部
		日本語教授法	2	※2~3年		国際学部
言語と教育	6	日本語教育実習	2	※3~4年	3科目必修(6単位)	国際学部
		言語表現学特論VI	2	※3~4年		文学部
		日本語学	2	※2~3年	011日以版(4米件)	国際学部
		言語表現学特論V	2	3~4年	- 2科目必修(4単位)	文学部
		日本語を学ぶ	2	2~4年	1科目必修(2単位)	全学共通
		現代日本語論I	2	2~4年		文学部
言語一般	12	現代日本語論Ⅱ	2	2~4年		文学部
		情報技術とことば	2	2~4年		文学部
		コミュニケーション論Ι	2	2~4年	3科目選択必修(6単位)	文学部
		コミュニケーション論Ⅱ	2	2~4年	1	文学部
		話芸の世界	2	2~4年		文学部

- 注1「日本語教育実習|については、「日本語学|「日本語教授法|「言語表現学特論V|を修得した後に履修することが望まれます。
- 注2 上記カリキュラムは2023年度のものであり、改定される場合があります。

司書教諭課程について

司書教諭とは、教員免許状(普通)を持っていて、その小学校・中学 校・高等学校・特別支援学校に設置されている学校図書館において、 各種のメディアを収集し、整理保存し、これを児童又は生徒及び教員 の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとと もに、学校図書館を活用した教育活動の企画・実施を行うために必 要とされる資格です。

教員免許状の取得が条件です。教員となりその学校図書館(図書 室)を管理・運営する資格を得ることのできる課程です。

資格を取得するには

司書教諭の資格を得ようとする方は、卒業に必要な単位のほかに、 教職課程及び下表で示す司書教諭課程の単位を修得する必要があ ります。

司書教諭課程科目一覧

学校図書館司書 教諭講習規程に 定める科目	本学の開講科目	単位	履修可能 学年	要件	修得科目 チェック
学校経営と学校図書館 (2単位)	※学校経営と 学校図書館	2	3~4年		
学校図書館メディア の構成(2単位)	図書館情報資源概論	2	3~4年		
【注1】	情報資源組織論	2	3~4年	①全6科目 必修 (12単位)	
学習指導と学校図書館 (2単位)	※学習指導と 学校図書館	2	3~4年	②教職課程 履修	
読書と豊かな人間性 (2単位)	※読書と 豊かな人間性	2	3~4年		
情報メディアの活用(2単位)	※情報メディア の活用	2	3~4年		
規定科目の修得 単位数 10単位	本学の科目 修得単位数	12 単位			

※で印した4科目は、名古屋キャンパスのみで隔年開講している科 目です。

詳細(開講の有無など)は、別途作成の「司書教諭課程開講科目時間 割表」で確認してください。

【注1】省令科目は「学校図書館メディアの構成」(2単位)ですが、 本学では司書課程科目「図書館情報資源概論」(2単位)と「情報資 源組織論」(2単位)の2科目4単位を読み替えとします。したがって、 合計6科目12単位の修得が必要です。

また、「図書館情報資源概論」は文学部の学部固有科目です。文学 部生は履修登録制限単位に含まれます。

履修条件

①教職課程を履修し、教員免許状を取得する予定であること。 ②大学に2年以上在学し、62単位以上修得していること。

司書教諭課程への登録について

司書教諭の資格を得るためには『司書教諭課程』への登録が必要 です。3年生の時に手続きをします。その際、所定書類の提出と司 書教諭課程履修費(12,000円。ただし、司書課程履修者は8,000 円)を一括納入する必要があります。なお、納入後の課程履修費の 返還はできません。

科目の履修方法・注意事項について

- 1. 司書教諭課程は、文学部で開講されています。従って文学部 以外の方は所属学部・学科の時間割との関係で受講が制約さ れる可能性があります。
- 2. 司書教諭課程科目の履修登録は、一般の科目と同様に行います。 また、履修登録は受講科目に基づき毎年必要です。
- 3. 開講方法に関しては、隔年開講など、年度によって変更される ことがあります。

《履修上の注意》

他資格(司書・学芸員など)を同時に取得希望する学生は、時間割 の都合で資格に必要な科目を受講できない場合、資格取得ができ なくなることがあります。

修了証書の交付

文部科学省より交付されます。

在学中に、教職課程及び司書教諭課程における所要の単位を修 得し、卒業後各自で別途申請を行うことによって修了証書の交付を 受けることができます(文部科学省からの交付時期は卒業翌年3月)。

19

司書課程

教務センター

司書課程について

司書とは、図書館情報学の知識と技術を身に付け、図書館固有の サービスに従事する図書館の専門的職員のことです。特に公共図書 館の専門的職員となるための資格を得ることのできる課程が司書課 程です。

資格を取得するには

司書の資格を取得しようとする学生は、卒業に必要な単位のほか に下表で示す単位を修得する必要があります。

司書課程科目一覧

区分	図書館法(第5条)に規定する 図書館に関する科目	単位	履修可能 学年	要件	修得科目 チェック
	生涯学習概論【注1】	2	1~4年		
甘珠扒口	図書館概論	2	1~4年		
基礎科目	図書館情報技術論	2	2~4年		
	図書館制度·経営論	2	2~4年		
	※図書館サービス概論	2	2~4年	全11科目	
図書館 サービスに	※情報サービス論	2	2~4年	必修	
関する科目	※児童サービス論	2	2~4年	(22単位)	
N 3 .0.1-1 L	情報サービス演習	2	3~4年		
図書館	※図書館情報資源概論	2	2~4年		
情報資源に	情報資源組織論	2	2~4年		
関する科目	情報資源組織演習	2	3~4年		
	※図書館基礎特論	1	3~4年		
	※図書館情報資源特論	1	3~4年		
	※図書·図書館史	1	3~4年] 2科目	
選択科目	図書館サービス特論	1	*	選択必修	
	図書館施設論	1	*	(2単位)	
	図書館総合演習	1	*		
	図書館実習	1	*		
法定及征	び本学の修得単位数	24	 4単位		

- ・※で印した7科目は、名古屋・豊田キャンパスで隔年開講予定の科 目です。詳細(開講の有無など)は、別途作成の「司書課程開講科目 時間割表」で確認してください。
- 不開講科目については、履修可能学年欄を「*」で表記しています。
- 【注1】Cコースでは、現代社会学部の学部固有科目「生涯学習論II (1年次以上配当)を履修してください。 現代社会学部の学生は履修登録制限単位に含まれます。

司書課程への登録について

司書の資格を得るためには『司書課程』への登録が必要です。以 下のとおり手続きをしてください。

- 1. 司書課程は、1年生春学期に申し込みをしてください。申込期 間・方法については、新入生ガイダンスで詳細を案内します(2) 年生春学期より司書資格課程履修を希望する場合は、教務セン ターへ要相談)。
- 2. 司書課程への登録には、所定書類の提出と、司書課程履修費 (20,000円)を一括納入する必要があります。なお、納入後の 課程履修費の返還はできません。

科目の履修方法と注意事項について

- 1. 司書課程は、文学部で開講されています。従って文学部以外の 方は所属学部・学科の時間割との関係で受講が制約される可 能性があります。
- 2. 司書課程は学部により、以下のA·B·Cの3コースに分けられ ています。事情により所属コースでの履修ができない場合は、 4年生に限り他コースでの履修が認められる場合がありますの で、教務センター司書担当に相談してください。

Aコース	文·国際
Bコース	心理·法·総合政策·経済·経営
Cコース	現代社会・スポーツ科

- 3. 司書課程科目の履修単位は、在籍学部の履修制限単位・卒業所 要単位には含まれませんが、学部固有科目として開講している 科目は当該学部生のみ履修制限単位・卒業所要単位に含まれ ます。
- 4. 司書課程時間割表は春学期履修登録期間の前にCHUKYO ALBOにて配信します(新入生には履修申し込み手続き時に配 布します)。科目によっては隔年開講になりますので、計画的に 履修してください。
- 5. 司書科目の履修登録は、一般の科目と同様に行います。履修登 録は当該年度の開講科目に基づき毎年必要になります。

《履修上の注意》

他資格(教職・司書教諭・学芸員など)を同時に取得希望する学生 は、時間割の都合で資格に必要な科目を受講できない場合、資格取 得ができなくなることがあります。

資格証明書の発行

在学中に司書課程における所要の単位を修得した方には、本学よ り卒業式当日に司書資格取得証明書を発行します(所要の単位を修 得していても、卒業しないと資格が取得できません)。また、「資格 取得見込証明書」等が必要な場合は、証明書発行窓口で相談してく ださい。

学芸員とは

学芸員は、博物館において資料の収集・保管・展示及び調査研究、 その他これと関係する事業についての専門的事項を担当します。

なお、博物館とは、美術館、考古学・歴史関係資料館、郷土館、 記念館、民芸館、民俗資料館、科学博物館、動・植物園、水族館、 天文館など、広い分野における公立・私立施設をいいます。

学芸員資格を取得するには

資格取得の条件は、「学士の学位を有する者で、大学において文 部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの」(博 物館法第5条第1項1号)となっています。本学では、文学部・現代 社会学部に設置された学芸員課程科目を履修することにより、学芸 員の資格を取得することができます。課程修了者には学芸員資格証 明書を卒業時に交付します。

学芸員課程の履修申し込み

学芸員の資格を得るためには学芸員課程への登録が必要です。 以下のとおり申し込み手続きをしてください。

- 1. 学芸員課程への登録は1年生の秋学期開講時に行います。履修 申込方法についての詳細は、7月頃に実施される学芸員課程ガ イダンスで説明します。ガイダンスの開催はCHUKYO ALBO で連絡します。
- 2. 学芸員課程への登録は、所定書類の提出と学芸員課程履修費の 納入(20.000円)が必要です。なお、納入後の課程履修費の返 還はできません。

学芸員課程科目の履修方法・注意

学芸員課程への登録終了後から、学芸員課程科目の履修ができます。

- 1. 学芸員課程資格科目一覧表の科目(学則に定める本学開講の学 芸員となるための授業科目)を履修し、要件を満たさなければな りません。
- 2. 学芸員課程科目は、文学部・現代社会学部で開講しています。 従って他学部生が履修する場合は、所属学部・学科の時間割と の関係で受講可能な学期を次年度以降とせざるを得ない場合も あります。
- 3. 「博物館実習」は、「博物館概論」の単位を修得していないと履修 できません。
- 4. 「博物館実習」を履修するには、館園実習のために博物館に納 める費用が必要です。

[豊田キャンパス履修生]

野外民族博物館リトルワールドにて館園実習を行います。指定 期間(履修年次の5月の予定)に、教務センター窓口で納入手 続きをしてください。詳細はCHUKYO ALBOで連絡します。 ※リトルワールド以外での館園実習を希望する場合は、事前に 担当教員に相談してください。

[名古屋キャンパス履修生]

学内で納入することはありません。費用の有無や金額は受け 入れ先博物館によって異なります。

- 5. 「博物館実習」を履修する学生は、本学指定の保険に加入が必要 です。学生支援課窓口で加入手続きをしてください。ただし、 すでに他の科目等で本学指定保険に加入している場合は必要あ りません。なおスポーツ科学部生は加入する必要はありません。
- 6. 学芸員課程の各科目では、授業の一部として愛知県及び近隣の 博物館で研修・見学が実施されることがあります。交通費その他 の費用は学生の負担となります。

《履修上の注意》

他資格(教職・司書・社会福祉士・社会教育主事など)を並行して 取得しようとする学生は、時間割の都合で資格に必要な科目を希望 どおりには受講できない場合、また資格取得が難しくなることがあり ます。

現代社会学部社会学専攻、コミュニティ学専攻、社会福祉学専攻 の学生で履修を希望する場合は、事前に教務センターに相談してく ださい。

学芸員資格証明書の発行

学芸員課程の登録者で、所定科目の単位を履修・修得し要件を満 たした学生には、卒業時に「学芸員資格証明書」を発行します。また、 「資格取得見込証明書 | 等が必要な場合は、証明書発行窓口で相談し てください。

21

学芸員課程

教務センター

学芸員課程資格科目一覧表

博物館	法施行規則に定める科目	本学開講科目	単位	時期	履修可能 学年	要件	科目を設置している学部	修得科目チェック
	生涯学習概論	生涯学習論I	2	秋学期	1~4年	いずれか1科目	現代社会学部	
	土涯子自城端 	生涯学習概論	2	春·秋学期	1~4年	選択必修	文学部	
		抽炒給那≤	2	秋学期	1~4年	心心	現代社会学部	
	博物館概論	博物館概論	2	春学期	2~4年	必修	文学部	
	博物館経営論	博物館経営論	2	春学期	2~4年	必修	文学部·現代社会学部	
	博物館資料論	博物館資料論	2	秋学期	2~4年	いずれか1科目	現代社会学部	
 必修		歴史資料と博物館	2		2,044	選択必修	文学部	
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	春学期	3~4年	必修	文学部·現代社会学部	
	博物館展示論	博物館展示論	2	秋学期	2~4年	必修	文学部·現代社会学部	
	博物館教育論	博物館教育論	2	春学期	2~4年	必修	文学部·現代社会学部	
	博物館情報 ·	博物館情報・メディア論	2	秋学期	3~4年	いずれか1科目	現代社会学部	
	メディア論	地域と歴史文化情報	2	伙子朔	3~44	選択必修	文学部	
	博物館実習	博物館実習	3	诵年	3~4年	必修	現代社会学部	
		等彻距天白	٥)	4年	2011	文学部	
選択	その他	文化人類学入門	2	寿学期	1~4年	いずれか1科目	現代社会学部	
迭折	- COJIE	郷土の民俗特論	2	春学期	2~4年	選択必修	文学部	

学芸員課程科目を履修する場合は、名古屋キャンパスの学生は文学部で、豊田キャンパスの学生は現代社会学部で受講してください。 在学するキャンパスでの科目履修に支障をきたす場合は教務センターに申し出てください。

- 1. 必修科目は博物館法で定められた科目です。必ず履修・修得してください。
- 2. 選択科目は本学の指定科目です。必ず履修・修得してください。詳細は学芸員課程ガイダンスで説明します。
- 3. 「博物館実習」は「博物館概論」の単位を修得していないと履修することができません。
- 4. 全ての科目が卒業要件に含まれるとは限りません。卒業要件に含む科目は各学部の「学部固有科目一覧表」で確認してください。

学芸員資格認定試験について

在学中に学芸員資格を得るのに必要な単位を満たすことができず に卒業した場合、次のいずれかの方法で学芸員資格を取得すること が可能です。

- *科目等履修生として不足単位を修得する
- *学芸員資格認定試験を受験する

国際学部 国際学科 教育課程

													146	●自	Щ.
Ŧ3	В				単	1.4					ター		E./P		
科区	日 分		授業科	相	位数	春	_		秋		秋		秋	摘	1
	נל.				数	1	2	3	4	5	6	7			
	ゼミ	教皇	まテ ー	マゼミ		(()	(()		
		教			+=								0		
		-		7処理論A	_	0		0		0		0			
	2	_		ヲ処理論B ツ・卓球]	-	0	0	0	0	0	0	0	0		
		-		ツ・卓球Ⅱ	_		0	Н	0		0		0		
				硬式テニス]	-	0	Ŭ	0		0		0	Ĭ		
		個人	スポーツ・₹	硬式テニス]	1		0		0		0		0		
		個人		バドミントン]	_	0		0		0		0		ļ	
				<u>(ドミントン</u> ノ・ゴルフ)	_	0	0	0	0	0	0	0	0		
				/・ゴルフI	+		0	Н	0		0		0		
		個人ス	ポーツ・フラ	イングディスク	1	0		0		0		0			
		35-10-10-1		イングディスクロ	+		0		0		0		0		
	ス	_		バレーボール]	+	0		0		0		0			
	ポ	-	ムスポーツ・ハ	バレーボール[(スケットボール]	+	0	0	0	0	0	0	0	0		
				スケットボール	+		0	Н	0		0		0		
	l '	_	ムスポーツ・		-	0		0		0		0		2単位達	뢠
	ッ	ティー』	ムスポーツ・	ソフトボールI	-		0		0		0		0	必修	
	/7:th	_	ムスボー!		+	0		0		0		0			
	健	-	·ムスポーツ ムスポーツ・		_	0	0	0	0	0	0	0	0		
	康			カローリング	_		0	Н	0		0		0		
		_	トネス・ト		1 -	0	Ĭ	0		0		0	Ĭ		
		フィッ	トネス・ト	レーニング🏾	1		0		0		0		0		
		_		フィットネス	+	0		0		0		0		ļ	
		-		7ィットネス[+	0	0	0	0		0		0		
				[アロビクス] アロビクス]	_		0		0	0	0	0	0		
				ツA・ゴルフ	_	0				0		0			
		シース	シスポーツ	/B·スケート	1		0		0		0		0		
		障害			+	0		0		0		0			
^		障害		ポ ー ツB	-		0		0		0		0		
全		英語		- <u>ーション</u> IA - ーションⅡA	+			0	0	0	00	0	0		
学	l	英語			+			ŏ	Ö	Ö	0	Ö	ŏ		
Ħ,	外	英語		·ーションIIB	2			0	0	0	0	0	0]	
通	国	<u>У</u>			_			0	0	0	0	0	0		
科	語	メラ英語			-			0	0	0	00	0	0		
	演	7 7 777		<u>刘 宋 IA</u> 対 策 ⅡA	_			0	0	0	0	0	0		
	習	英語		対 策 IB	_			Ō	Ō	Ō	Ō	Ō	Ō		
				対 策 ⅡB				0	0	0	0	0	0]	
		英言		<u>ナーA</u>				0		0		0	0		
		英言数	吾 セ ミ 学		+	0	0	0	0	0	00	0	0		
		数数			-	0	0	6	0	0		0	0		
		統	計	学 A	+	Ō	Ō	Ō	Ō	Ō	Ō	Ō	Ō		
	自	統	計	学 B	-	0	0	0	0	0	0	0	0]	
	443	物	理	学 A	2					0	0	0	0	4 224 44-25	. I
	然	il-free		24 0	_	0	0	0	_					4単位:	
	然の	物化	理	学 B	2	0	0	0	0	0	0	0	-	心修	\$1)
		化	理学	ź A	2	-	_	-	_	0	000	0	0	必修	<u>\$</u> 1)
	の		理	ź A	2 2 2	0	0	0	0	0	Ō	0	0	必修	支 汀/
	の 探	化 化 地 地	理 学 学	± A ± B ± A ± B	2 2 2 2	0 0 0 0	0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0	0000	0 0 0	0 0	必修	\$1)
	の 探	化 化 地 地 生	理学学学	を A B A A B A B A B A B A A A A A A A A	2 2 2 2 2	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0	00000	0 0 0 0	0 0 0	必修	\$1)
	の 探	化化地地生生	理 学 学 学 学 物 物	A A B E A E B B B B B B B B B B B B B B	2 2 2 2 2 2	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	00000	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	000000	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	必修	\$1)
	の 探	化 化 地 地 生	理学学学	を A B B B P A P B P A	2 2 2 2 2 2 2	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0	00000	0 0 0 0	0 0 0	必修	\$1)
	の 探	化地地生生哲	理学学学物物等	を を を を を を を を を を を を を を	2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0000000	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	必修	\$1)
	の 探	化化地地生生哲哲倫倫	理学学学物物学学理理	を AB AB AB 学 AB 学 BB 学 AB 学 BB	2 2 2 2 2 2 2 2 2					0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	必修	★ 1)
	の探究	化化地地生生哲哲倫倫論	理等等等等物物理理理理	を を を を を を を を を を を を を を	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2								0 0 0 0 0 0 0 0 0	必修 - - - - - - -	
	の 探	化化地地生生哲哲倫倫論論	理等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等	を A B B B B B B B B B B B B B B B B B B	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2									必修 - - - - - - - - - -	47)
	の探究	化化地地生生哲哲倫倫論	理等等等等物物理理理理	を を を を を を を を を を を を を を	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2								0 0 0 0 0 0 0 0 0		
	の探究	化化地地生生哲哲倫倫論論心	理	き AB BB AB BB	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2									4単位道	
	の探究 人間	化化地地生生哲哲倫倫論心日日東	理	を	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2										
	の探究 人間の探	化化地地生生哲哲倫倫論論心日日東東	理	在	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2									4単位道	
	の探究 人間の	化化地地生生哲哲倫倫論論心日日東東西	理	在	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2									4単位道	
	の探究 人間の探	化化地地生生哲哲倫倫論論心日日東東西西	理 物物 理理理理 本本洋洋洋洋	在										4単位道	
	の探究 人間の探	化化地地生生哲哲倫倫論論心日日東東西	理	e e e e e e e e e e e e e e e e e e e										4単位道	
	の探究 人間の探	化化地地生生哲哲倫倫論論心日日東東西西文	理 物物 理理理理 本本洋洋洋洋 理	e e e e e e e e e e e e e e e e e e e										4単位道	

			法					学	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
			政		治		学	Α	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1	±	政		治		学	В	_	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4		社		会		学	<u>A</u>	2	0	0	0	0	0	0	0	0	_
			社奴		会		学学	B A	2	0	0	0	0	0	00	0	0	4単位選択
	1	カ	経経		<u>済</u> 済		学	B	2	0	0	0	0	0	0	0	0	必修
	1	架	地		理		学	A	2	0	0	0	0	0		0	0	-
	3	完	地		理		学	В	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
			教		育		学	A	2	Ō	Ō	ō	Ō	Ō	0	Ō	Ō	1
			教		育		学	В	2	Ō	Ō	Ō	Ō	Ō	Ō	Ō	Ō	1
全			ジ	I	ン	ダ	_	論A	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
学			ジ	I	ン	ダ	_	論B	2	0	0	0	0	0	0	0	0]
			健	身		科	学		_	0	0	0	0	0	0	0	0	
共			健	身		科	学		2	0	0	0	0	0	0	0	0	
通	1	斩	環	垣	_	科	学		_	0	0	0	0	0	0	0	0	-
科		'' 湏	環情			<u>科</u> 科	学		2	0	0	0	0	0	00	0	0	4単位選捌
目	i		情	軒		科	 学		2	0	0	0	0	0		0	0	必修
	Į	或	平	TI	<u>*</u> 和	11-1	論	A	2	ŏ	Ö	Ö	ō	Ö	0	Ö	ŏ	1
			平		和		論	В	2	Ö	0	Ō	Ö	0	0	Ö	0	1
			異	文	_	化	研	究	2	Ė		Ō	Ō	Ō	Ō	Ō	0	1
			職	業		ځ	社	会	2	0	0	Ō	Ō	Ō	Ō	Ō	0]
	L		_	J—/		ルメ			2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	=	-	教			− ₹		義A	2	Ĺ		0	0	0	0	0	0	
		l	教	養力		<u> </u>		義B	2			0	0	0	0	0	0	
		' マ	教	養き		<u> </u>		義C	2	\vdash	_	0	0	0	0	0	0	
	H	\	教中		F -	- マ		義D	2			0	0	0	0	0	0	-
)	<u>京</u> 外	<u>大</u> 教		を 知 科]る 目	2	0	0	0	0	0	0	0	0	分割認定可
\top	1	Į.	-	ット]ゼミ()	_				2	0	Н	Н	Н			Н	۲	ンマルがたり
		型 楚	_	ヤリ			ザー		2			0					\vdash	1
	_	1	卒		<u>/</u> 業		<u></u> Я	究	6	Т		Ť				()	1
		Г	Engl	ish for l	Pract			_	2	0								1
	İ			sh for D						0]
		英	Eng	lish fo	r Ac	ademi	c Purp	oses		0]
		語		egrate					2	Ĺ		0						
				grate					2		_	<u> </u>	0			<u> </u>	<u> </u>	
		\vdash		erseas						\vdash	0		_			_		
			片	<u> </u>	<u>ン</u> ン	<u>ス</u> ス	語	IA	2	\vdash		0	0				\vdash	-
			그	<u>ラ</u> ラ	<u>ر</u>	<u> </u>	語語	IB IIA	2	\vdash	\vdash	0	Р			\vdash	\vdash	1
			片	<u>ラ</u>	ンン		語語	IB	2	\vdash	\vdash		0	H	H	\vdash	\vdash	1
			É	É	シ	- <u>^</u>	語	ΠA	2				Ť	0				1
			5	Ē	ン		語	IΙΒ	2	İ	İ		Ī		0			1
			フ	ラ	ン	ス	語	IVΑ	2					0			L]
			フ	ラ	ン		語	IVΒ	_						0			1
			2	크	ン		語	VA	2		_	_		0	_	_		
			ユ	ラ	ン		語	VB	_	_			_		0	_		1
			ドド	<u>イ</u>		ツ	語	IA	_	\vdash	_	0				\vdash	\vdash	-
			1	<u>イ</u> イ		ツツ	語語	IB IIA	2	\vdash		0	0				\vdash	-
	世		Ľ Ľ	<u> 1</u> イ		ツ	語	IB	2	\vdash		Н	0					1
学	界		Ľ,	<u> 1</u>		ツ	語	ΠA	_	\vdash			Ť	0			\vdash	1
部学			ľ	<u>_</u>		ッ	語	IIB	2					Ħ	0		Г	1
固部			ド	1		ッ	語	ĪVΑ	2					0]
- 1	.		ド	イ		ツ	語	IVΒ	2						0]
有 共	Inn		ド	イ		ツ	語	VA	2					0]
科通	iプ	第	-	1		ツ	語	VB	2			L			0			
目		[=	<mark></mark>	^°	<u>イ</u>	<u>ン</u>	語	IA	2	<u> </u>	<u> </u>	0			_	<u> </u>	\vdash	1言語IA·
	グ	外	<u>구</u>	~	<u>イ</u>	<u>ン</u>	語	IΒ	2	_	_		0			_	_	B·IA·III まで必修
		国	スス	~	<u>イ</u>		語語	IIA IIB	2	\vdash	\vdash	0	0					まで必修
	-		숝	~	<u>イ</u> イ		語語	IIA	2	\vdash	\vdash			0		\vdash	\vdash	1
- 1	4	語		~	<u>1</u> イ		語	ШB	2	\vdash	\vdash				0		\vdash	1
				~	<u>- 1</u> イ		語	IVA	2	\vdash				0				1
			Ż	~	7	シ	語	IVB	2	Г					0			1
		1	Z	~	1	ン	語	VA	2					0				1
			-	~	イ	ン	語	VB	2						0]
			<u>ス</u>		玉		語	IΑ	2			0]
			中				語	ΙB	2				0					
			中中		玉			TT A	2	_	_	0			l	l	I]
			中中中		玉		語	IA	-						_	\vdash		
			中中中中		玉		語	ΙB	2			_	0					_
			中中中中		玉玉玉		語語	IIB IIA	2				0	0				
			中中中中中		国国国国		語語語	IIB IIA IIB	2				0		0			
			中中中中中中		国国国国		語語語語	IIB IIA IIB IVA	2 2 2				0	0				
			中中中中中中中		国国国国国国		語語語語語語	IIB IIIA IIIB IVA IVB	2 2 2				0	0	0			
			中中中中中中		国国国国		語語語語	IIB IIA IIB IVA	2 2 2 2				0					
			中中中中中中中中		国国国国国国国国国		語語語語語	IIB IIA IIB IVA IVB VA	2 2 2 2					0	0			
				<u>シ</u> シシ	国国国国国国国国		語語語語語語	IIB IIA IIB IVA IVB VA VB	2 2 2 2 2			0	0	0	0			
					国国国国国国国	 	語語語語語語	IIB IIA IIB IVA IVB VA VB I A	2 2 2 2 2			0		0	0			

教務センター

学部共通学部共通	語プ	第二外国語 日本語	イイタ! イイイ韓韓韓 日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	ア	語語語語語語語語語語語語語語語語語語語	IIIA								0000		
部共通学部固定	界の言語プログラ	二外国語 日本	ロロンシックリークター! イイイイ韓韓韓 日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	 アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア	語語語語語語語語語語語語語語語語語語語語	IVA VB VA VB IA IB IA IB IA IB IC IIA IIB IC IIA IIB IC IIA IIB IIC		0 0 0	0 0		0 0 0 0 0		0 0	0	000	
部共通学部固定	界の言語プログラ	二外国語 日本	ロロロスイイイイ韓韓韓韓 日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	 アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア	語語語語語語語語語語語語語語語語語語語語	VA VB IA IB IIA IB IIA IB IIA IB IIA IB IIA IB IC IIA IIB IC IIA IIB IC IIA IIB IC IIA IIB IC IIA		0 0 0	0 0		0 0 0 0 0		0 0 0	0	000	
部共通学部固定	界の言語プログラ	二外国語 日本	ローション タタ! イイタタ! 日日 2 3 4 5 6 7 8 9 1 1 2 2 2 2 2 2 2 3 4 4 5 6 7 8 9 1 1 <	ア フ フ フ ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア	語語語語語語語語語語語語語語語語語語	VA VB IA IB IA IB IA IB IA IB IA IB IC IIA IIB IC IIA IIB IC IIA IIB IC IIA		0 0 0	0 0		0 0 0 0 0	0000	0 0 0	0	000	
部共通学部固定	界の言語プログラ	. 国語日本	イイイイ 夕 ! タ ! イイイイ 韓 韓 韓 E E E E E E E E E E E E E E E	 アアアア	語語語語語語語語語語語語語語語語	IA IB IA IB IA IB IA IB IA IB IA IB IC IA IB IC IA IB IC IA IB IC IA IB IC IA IB IC IA IB IC IA IB IC IA IB IC IA IB IC IA IB IC IA IB IC IA IB IC IA IB IC IA IB IC IA IB IC IA IB IC IA IB IC IA IB IC IIA IIB IIC IIA IIB IIC IIA IIB IIC IIA	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0 0	0 0		0 0 0 0 0	000	0000	0	000	
部共通学部固定	界の言語プログラ	. 国語日本	イイタ! タ! なり! なり! なり! なり! なり! なり! なります なりまます なりまます <td>フノノコ国国国本本本本本本本本本本</td> <td>語語語語語語語語語語語語語語</td> <td>IB IIA IB IIA IB IIA IB IIA IB IIC IIA IIB IIC IIA IIB IIC IIA</td> <td>2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2</td> <td>0 0 0</td> <td>0 0</td> <td></td> <td>0 0 0 0 0</td> <td>000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>000</td> <td></td>	フノノコ国国国本本本本本本本本本本	語語語語語語語語語語語語語語	IB IIA IB IIA IB IIA IB IIA IB IIC IIA IIB IIC IIA IIB IIC IIA	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0 0	0 0		0 0 0 0 0	000	0	0	000	
部共通学部固定	界の言語プログラ	語 日本	イタ! イイ韓韓韓 日日 2 3 4 5 6 7 8 9 10 10 10 10 10 10 10 11 12 12 13 14 15 16 17 18 18 18 19 10	アア	語語語語語語語語語語語語語	IIA IIB I A IIB IIA IIB IIA IIB IIC IIA IIB IIC IIA IIB IIC IIIA IIB IIC IIIA	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0 0	0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	000	0	0	000	
部共通学部固定	界の言語プログラ	語 日本	イ韓 E E E E E E E E E		語語語語語語語語語語語語	IB IA IB IA IB IA IB IA IB IC IIA IB IIC IIA IIB IIC IIA IIB IIC IIA	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0 0	0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0	000	0	0	000	
部共通学部固定	界の言語プログラ	日本	韓韓 [] 韓韓 [] 日日 2 日本 3 日本		語語語語語語語語語語語	IA IB IA IB IC IIA IB IC IIA IB IC IIA IIB IC IIA IIB IIC	2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0 0	0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	000	0	0	000	
部共通学部固定	界の言語プログラ	本	韓韓 E 日日 2		語語語語語語語語語語	IIA IIB I A I B I C IIA IIB IIC IIA IIB IIC	2 2 2 2 2 2 2	0 0 0	0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	000	0	0	000	
部共通学部固定	界の言語プログラ	本	韓 E 日 2 日 </td <td></td> <td>語語語語語語語語語</td> <td>IB IA IB IC IIA IIB IIC IIA IIB IIC</td> <td>2 2 2 2 2 2</td> <td>0 0 0</td> <td>0 0</td> <td>0 0 0 0</td> <td>0000</td> <td>000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>000</td> <td></td>		語語語語語語語語語	IB IA IB IC IIA IIB IIC IIA IIB IIC	2 2 2 2 2 2	0 0 0	0 0	0 0 0 0	0000	000	0	0	000	
部共通学部固定	界の言語プログラ	本	日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2	*	語語語語語語語語	IA IB IC IIA IIB IC IIA IIC IIA IIB IIC	2 2 2 2 2	0 0 0	0 0	0 0 0	0000	000	0	0	000	
部共通学部固定	界の言語プログラ	本	日	*	語語語語語語語	IB IC IIA IIC IIA IIB IIC IIA IIB	2 2 2 2 2	0 0 0	0 0	0 0 0	000	000	0	0	000	
部共通学部固定	界の言語プログラ	本	日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2	*	語語語語語語語	IC IIA IIB IIC IIA IIB IIC	2 2 2 2	0 0 0	0	0	0	0	0	0	0	
部共通学部固定	界の言語プログラ	本	日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2	* * * * * *	語語語語語語	IIB IIC IIA IIB IIC	2 2 2	0	0	0	_	_	0	0	_	
部共通学部固定	界の言語プログラ	本	日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2	* * * * *	語語語語語	IIC IIA IIB IIC	2	Ō	-	-	\cap					
部共通学部固定	界の言語プログラ	本	日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2	* * * * *	語語語語	IIA IIB IIC	2				-	0	0	0	0	
部共通学部固定	界の言語プログラ	本	日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2	* * * *	語語語	IIB IIC	-		0	0	00	00	0	0	00	
部共通学部固定	の言語プログラ	本	日 2 日 2 日 2 日 2	*	語			0	Ö	0	0	0	0	0	0	
部共通学部固定	言語プログラ	本	日 2 日 2 日 2	*			2	Ō	Ō	Ō	Ö	Ō	Ö	Ö	Ö	
部共通学部固定	語プログラ	本	日 z 日 z		語	IVA	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
共 通	プログラ	本	日 z 日 z	+>		IVB	2	0	0	0	00	0	0	0	00	
学部固定	- ログラ.	本	日 2	<u> </u>	語語	VA VA	2	0	0	0		00	0	0	0	
学部固	グラ・	本		<u></u>	語	VB	2	0	0	0			0	0	0	
部固	5	本		*	語	VC	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
部固	ラム	本	大学生のオ				1	0	L	0		0		0		
部固	ム		大学生のた				1	0		0		0		0		
部固		亩台	大学生のた		1本記 3本語	_	1	0		0				0		
部固		71	大学生のが			語IB	1		0		0		0		0	
部固	1	枓	大学生のた	こめのE	∃本詞	吾ΙΙΒ	1		0		0		0		0	
部固				こめのE			1	_	0		0		0		0	
固		等	大学生のた総合 日		語	IA	2	0	0	0	0	0	0	0	0	540 A = 1 - T =
_				」 本	語	IC	2	0		0		0		0		総合日本語IA・ IB・IC・ID」を履
텕				3 本	語	ΙB	2		0		0		0		0	修する場合は、
1				本	語	ID	2		0		0		0		0	セットで履修登
科			総合日総合日		語	IIA IIC	2	0		0		0		0		録しなければならない。「総合
al			総合日総合日		語語	IB	2	0	0	0	0	0	0		0	日本語IA·IB·
_			総合日		語	ID	2		Ö		Ö		Ö		Ö	IC・ID」も同様。
			日本	事	情	ΙΑ	2	0		0		0		0		
			日本		情	ΙB	2		0		0		0		0	
			日本日本		<u>情</u> 情	IA IB	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
			日本		_	ШΑ	-	0		0		0		0		
			日本			ШB	2		0		0	_	0	_	0	
			ビジネ			語 I	2						0			
\vdash		-	ビジネ			語Ⅱ	2					\sqcup		0		
	専	暴。學	哲学・人間学				2	0	\vdash	\vdash		\vdash				
	攻	-	国際	関	係	論	2	0								
	基	撉	国際開	発号	学 入	門	2	0								
	一礎	農経	国際経済学》 国際経営学	、門I(ミ ク	かし経	済学)	2	0	L							
	科	李 0	国際経宮字. Ancient	人門」(社	織・!	戦略)	2	0								
	1	IJ	Critical Thou	ght and	Expre	ession	2	0								
	目	š	Intellect	ual Tra	aditi	ons	2	Ŭ	0							
		草	Introduction to P	hilosophy a	and Hun	nanities	2				0					
_			哲学·人間							0		\vdash				
	専	元 を	Introduction グローバル・ヒストリ	to Glob _概論T/Ac	Dal Hi	story	2		\vdash	0	0	\vdash				
攻	修	デ展	Introduction to	「Miniuソロー Internati	ional P	Olitics	2	\vdash		0		H				
科	基	野 淳	国際	関	係	史	2				0					
目		顯	International [Developm	ent St		2			0						
	科	翠	国際	協	力	論	2				0					
		關緩学	Introduction to				_				0	\vdash				
		字 쪵	国際経済学》				2	\vdash	\vdash	0		\vdash				
		影影	Introduction to				2				0	H		H		
	F	$\overline{}$	現代	哲 学	概	論	4			0						
	専	哲学・人間	現代人	間当	学 概	福	4				0					
	修	自		思想	概		4				0					
	科	学	Basics of Modern Phi				4			0		\vdash				
	目	学 恋美草	西洋世界 グローバル・ト				4	-		0		H				

						_							
				多元的アジア世界の形成	4	-			0				
				Basics of Global History	4	.			0				
			玉	日本政治外交史	4			0					П
			際	国際政治史	.	-	_	Ŭ	0	_		Н	-
			政			-		0		\vdash	\vdash	Н	\vdash
			治		-	4	_	\cup	_	_			Н
			学	International Politics	+	-			0	<u> </u>	Щ	Щ	\square
			国	社 会 開 発 論		-		0					Ш
			際盟	グローバル・ガバナンス論	4	.		0					
		_	開発	持続可能な開発論	4	-			0				
		専	発学	International Development StudiesI					0				
		修		計量経済学				0					П
		ŦΝ	際経:	金融論	-	-			0	_		М	\dashv
		科	経	貿 易 論	-	-	_			\vdash	Н	Н	\dashv
		目	済学	Japan & World Economy	-	-				_			-
			士		-	_		0	_		\vdash	\vdash	-
			沙丁	10000 7 (107 7 1	4	4			0	_	\vdash		\vdash
			ビジネラ	戦略・マーケティング	4	-		0					Ш
			李	ビジネスと会計・ファイナンス	4	_			0				
			学	Global Business and Leadership	4	-		0					
			_	Global Culture and Ideology	4	.		0					
			Ģ	Global Governance and Society	4	.		0					
			S	The Global Environment	4				0				
			0	The Global Economy					Ō				П
		H	折	哲学·人間学演習[(現代哲学)	-	_				0	\vdash	Н	\dashv
			哲学:	哲学·人間学演習[(比較思想)	<u> </u>	_					\vdash	Н	\vdash
			人		4	_	_	H		\vdash		Н	\vdash
			鼠	哲学・人間学演習Ⅱ(現代哲学)	.	-		H		-	0	Щ	\vdash
			学	哲学・人間学演習Ⅱ(比較思想)	4	4		\vdash			0	Щ	\square
			Z	グローバル・ヒストリー演習(西洋)	4	4		\vdash		0	\vdash	Щ	Ш
			グローバ:	グローバル・ヒストリー演習!(アジア)	4	-		\Box		0	\Box	Ш	Ш
			ル	グローバル・ヒストリー演習[(日本と世界)	4	-				0			
			・ヒストリ	グローバル・ヒストリー演習I(西洋)	4	. 1					0		П
			丘	グローバル・ヒストリー演習 [(アジア)	4						0		П
			Ú	グローバル・ヒストリー演習I(日本と世界)	-	-					Ō	Н	\dashv
			-	国際政治学演習[(日本政治外交史)	-	4				0		\vdash	\dashv
					4	4	_			0	\vdash	Н	-
			際	国際政治学演習(国際政治史)	-	-							-
			政	国際政治学演習[(国際政治学)		_				0			Ш
				国際政治学演習I(日本政治外交史)	4	4					0		Ш
			治	国際政治学演習Ⅱ(国際政治史)	4	_					0		Ш
محد			学	国際政治学演習Ⅱ(国際政治学)	4	-					0		
学			玉	国際開発学演習[(持続可能な開発論)	4	.				0			
部	専		際	国際開発学演習[(社会開発論)	4					0			
i I	i i	ゼ		国際開発学演習[(グローバル・ガバナンス論)	4					0			П
固	以	_	開	国際開発学演習Ⅱ(持続可能な開発論)	4	_				Ť	0		\dashv
有	科	-	発	国際開発学演習I(社会開発論)	4	4	_			_	0	Н	\dashv
					4	_				_	0		\vdash
科	H		学	国際開発学演習『(グローバル・ガバナンス論)	-	4							\vdash
目			国	国際経済学演習[(マクロ経済学)	4	4				0			Ш
			際	国際経済学演習「(ミクロ経済学)	4	-				0			Ш
			経	国際経済学演習[(計量経済学)	4	_				0			
				国際経済学演習 [(マクロ経済学)	4	.					0		
			済	国際経済学演習Ⅱ(ミクロ経済学)	4	-					0		
			学	国際経済学演習Ⅱ(計量経済学)	4						0		
			国	国際ビジネス学演習!(組織・人材マネジメント)	+					0		П	П
			際	国際ビジネス学演習[(会計・ファイナンス)	-					Ō			П
			P	国際ビジネス学演習[(戦略・マーケティング)	4	-	_			0	Н	\vdash	\dashv
			ジ		4	4	_			\vdash	0		\dashv
			字	国際ビジネス学演習[(組織・人材マネジメント)	-	_				-	-		\vdash
			タ 学	国際ピジネス学演習『(会計・ファイナンス)	-	-				_	0		\vdash
			士	国際ビジネス学演習『(戦略・マーケティング)	-	-					0		ш
				GLS SeminarI(Contemporary Global Issues)	4	4				0	$oxed{oxed}$		Ш
			اوا	GLS SeminarI(Society, Language, and Globalization		-				0		Ш	Ш
			S	GLS SeminarII(Ethical Inquiry)		-		\Box			0	Ш	Ш
		L		GLS Seminar II (Intercultural Communication Today)	-	-					0	Ш	Ш
			哲	グローバル現代思想		-				0	Ш	0	Ш
			学	心 とAIの 哲 学		_				0		0	
			子	応 用 倫 理 学	4	. 1				0		0	П
				哲学·人間学特殊講義	2					0	0	0	0
			人	アジア思想		-					0	П	Ō
				正 義 論	-	-					Ō	Н	ŏ
			間	Comparative Thought (East and West)	-	_	_			_	0	Н	
			学	Special Topics in Philosophical Anthropology		-	-	\vdash				\vdash	_
			۳.			-		\vdash			0		0
		\pp	2	歴史のなかの国民国家とナショナリズム	-	4		H		0	\vdash	0	\square
		選		資料とデータで読む世界史		-		\vdash		0	\vdash	0	\square
		択	バ	複数性のアジア史		_				0		0	
		١	ル	グローバル・ヒストリー特殊講義		-				0	0	0	\circ
		科	Ĺ	宗教からたどる世界史	4	. 7					0		0
		目	ス	越境する世界史		.					0		0
		1		History of Modern Japan	-	.					Ō	П	Ō
			ľ	Special Topics in Global History	2	_				0	Ö	0	Ŏ
				日本政治論		-					Ĭ	0	\dashv
			国	難足と国際政治	-	-				\vdash	0	\vdash	0
			際		-	-	_	H		\vdash	-	H	\vdash
						-		H		<u> </u>	0		0
					_	-				0	0	0	0
			治	安全保障論		-		Щ		_	0		0
			兴	比 較 政 治 学	+-	-				0	<u> </u>	0	Ш
			7	Lecture on Foreign Policy	4	-				0		0	

				Special Topics in International Politics	2					0	0	0	0	
				国際平和開発論	4					0		0		
			玉	地域特性と開発	4						0		0	
			際	国際環境政策論	4					0		0		
			開	国際開発学特殊講義	2					0	0	0	0	
				市民社会と開発	4						0		0	
			発	フィールドと 開発	4						0		0	
			学	International Development Policy	4					0		0		
				Special Topics in International Development Studies	2					0	0	0	0	
			一	開発経済学	4						0		0	
				産業組織論	4						0		0	
			際	海外投資論	4					0		0		
			経	国際経済学特殊講義	2					0	0	0	0	
l	專	55	済	環境経済学	_						0	_	0	
学				公共経済学	4					0		0		
部			学	Lecture on Economic Policy	2					0	0	0	0	
固	科	科		Special Topics in International Economics アドバンスト 会計・ファイナンス	4					0		0		
	目	⊐1	玉	アドバンスト 戦略・マーケティング	4			\vdash		\cup	0	\vdash	0	
有			際	多国籍企業論	4					0				
科			ビ	国際ビジネス学特殊講義	2					0	0	6	0	
			ジ	アドバンスト 組織・人材マネジメント	4					0				
			ネ	ビジネスデータ分析	4						0	Ť	0	
			ス	Lecture on Cross-cultural Management	4						0		0	
			学	Special Topics in International Business Studies	2					0	0	0	0	
				Global Media and Culture	4	0		0		0		0		
			_	International Academic Relations	4		0		0		0		0	
			G	Twenty-First Century Cities	4	0		0		0		0		
			L	Global Peace and Security	4		0		0		0		0	
			S	日 本 語 学	2				0		0		0	
			_	日本語教授法	2			0		0		0		
	Ш			日本語教育実習	2				0		0		0	
	ı	昇		海外留学科目	12			0	0	0	0	0	0	分割認定可
	Ì	関連科目		海外セミナー	2	0	0	0	0	0	0	0		
	1			国内インターンシップ	2	_	_	0	0	0	0	0	0	
\vdash		_		海外インターンシップ	2			Γ	\square	0	0	\Box	0	
			(-	付表) 履修制限単位に	関	する	表							

学 年	1年	F次	2年	F次	3年	≅次	4年	F次
学 期	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
セメスター	1	2	3	4	5	6	7	8
1学期間に履修できる 単位数の限度	24	24	24	24	24	24	24	24

教育課程表一覧

教務センター

国際学部 言語文化学科 教育課程

					0	必修	科	∃	O₫	呈択:	科目	●自由科
			ж.				_		ター			
科区		授業科目	単位数	1年春	F次 秋		_	3年春	F次 秋		F次 秋	摘 要
IC.	刀 [*]		数	1	2	3	4	5	秋	7		
	ゼミ	教養テーマゼミ	4	((((
		教養探究ゼミ	2								0	
		コンピュータ処理論A コンピュータ処理論B	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
		個人スポーツ・卓球Ⅰ	1	0		0		0	Ī	0		
		個人スポーツ・卓球Ⅱ	1		0		0		0		0	
		個人スポーツ・硬式テニスI	1	0		0		0		0		
		個人スポーツ・硬式テニスⅡ 個人スポーツ・バドミントンⅠ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
		個人スポーツ・バドミントンI	1		0		0		0		0	
		個人スポーツ·ゴルフI	1	0		0		0		0		
		個人スポーツ・ゴルフⅡ 個人スポーツ・フライングディスクⅠ	1		0		0		0		0	
		個人スポーツ・フライングディスク! 個人スポーツ・フライングディスク!	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	_	ティームスポーツ・バレーボールI	1	0		0		0		0		
	ス	ティームスポーツ・バレーボールI	1		0		0		0		0	
	ポ	ティームスポーツ・バスケットボールI ティームスポーツ・バスケットボールI	1	0		0	0	0	0	0	0	
		ティームスポーツ・ハスクットボールI	1	0	0	0		0	Ρ	0		2単位選択
	ツ	ティームスポーツ・ソフトボール!	1	Ĺ	0	Ĺ	0	Ĺ	0	Ĺ	0	必修
	/7:23	ティームスポーツ・サッカーI	1	0		0		0		0	Ĺ	
	健	ティームスポーツ・サッカーⅡ ティームスポーツ・カローリングI	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	康	ティームスポーツ・カローリングI	1		0		0		0		0	
		フィットネス・トレーニングI	1	0	Ĺ	0		0	Ĺ	0	Ĺ	
		フィットネス・トレーニングII	1		0		0		0		0	
		フィットネス・フィットネス! フィットネス・フィットネス!!	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
		フィットネス・エアロビクス	1	0		0		0		0		
		フィットネス・エアロビクスII	1		0		0		0		0	
		シーズンスポーツA・ゴルフ	1	0		0		0		0		
		シーズンスポーツB・スケート 障害者スポーツA	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
		障害者スポーツB	1		0		0		0		0	
		英語コミュニケーションIA	2			0	0	0	0	0	0	
5		英語コミュニケーションIIA	2			0	0	0	0	0	0	
	外	英語コミュニケーションIB 英語コミュニケーションIIB	2			0	0	0	0	0	0	
	国	メディア英語A	2			0	0	0	0	0	0	
	語	メディア英語B	2			Ō	Ō	Ō	Ō	Ō	Ō	
		英語資格対策IA	2			0	0	0	0	0	0	
	演	英語資格対策 IIA 英語資格対策 IB	2			0	0	0	0	0	0	
	習	英語資格対策 IB	2			0	0	Ö	Ö	0	Ö	
		英 語 セミナーA	_			0	0	0	0	0	0	
		英語 セミナーB	2			0	0	0	0	0	0	
		数 学 A 数 学 B	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
		統計学A	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自	統 計 学 B	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	然	物 理 学 A 物 理 学 B	2	0	0	0	0	0	0	0	0	√景保/251□
	の	物 理 学 B 化 学 A	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4単位選択 必修
	探	化 学 B	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	究	地 学 A	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
		地 学 B 生 物 学 A	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
		生物学B	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
		哲 学 A	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
				0	0	0	0	0	0	0	0	
		哲 学 B	2			0	0	0		0	0	
		倫 理 学 A	2	0	0	_	0			()	()	
			_	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人	倫 理 学 A 倫 理 学 B 論 理 学 A 論 理 学 B	2 2 2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人間	倫 理 学 A 倫 理 学 B 論 理 学 B 心 理 学	2 2 2 2	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0	0	0	0	0	
	間	倫 理 学 A 倫 理 学 B 論 理 学 B 心 理 学 日 本 史 A	2 2 2 2 2	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0	0 0 0	0 0	4単位選択
	間の	倫 理 学 A 倫 理 学 B 論 理 学 B 心 理 学	2 2 2 2	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0	0	0	0	0	4単位選択 必修
	間の探	偏 理 学 A 偏 理 学 B 論 理 学 B 心 理 学 A 日 本 x x 日 本 x x x 東 洋 y x y 東 洋 y x y	2 2 2 2 2 2 2	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0	0 0 0	
	間の	偏 理 学 A 偏 理 学 B 正 理 学 A B 正 理 要 D 日 本 本 史 D 未 本 上 D 基 注 史 B 西 洋 史 B	2 2 2 2 2 2 2 2	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	
	間の探	偏 理 学 A 偏 理 学 B 融 理 学 B 正 理 要 学 日日 本 中 D B 日日 東東 洋 史 D 西 洋 史 B 西 洋 史 B	2 2 2 2 2 2 2 2 2		0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	
	間の探	偏 理 学 A 偏 理 学 B 正 理 学 A B 正 理 要 D 日 本 本 史 D 未 本 上 D 基 注 史 B 西 洋 史 B	2 2 2 2 2 2 2 2	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	
	間の探	偏 理 学 A B 偏 理 学 B A B B A B A B A A B A	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				0 0 0 0 0 0 0 0				0 0 0 0 0 0 0 0 0	

全 サ A A B B A B	単位選択 が修
全 学 A 2 ○	
会 学 B 2 ○	
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	
探 接 済 学 B 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	州修
中央 地理学A2000000000000000000000000000000000000	
報育 学 A 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
文字 第 字 B 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
全 ジェンダー論A 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
学 共 健康科学A2000000000000000000000000000000000000	
建康科学A2000000000000000000000000000000000000	
通 新 環 境 科 学 A 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 期 境 科 学 B 2 ○ </td <td></td>	
村 期 境 科 学 B 2 0 </td <td></td>	
科 領 情 報 科 学 A 2 O O O O O O O O O O O O O O O O O O	
	単位選択
目 _域 情 報 科 学 B 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	修
域	
平 和 論 B 2 O O O O O O	
異文化研究2 00000	
職 業 と 社 会 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
グローバル・メディア論 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ テ 教養 テーマ 講義A 2	
教養テーマ講義日2	
数 養 テ ー マ 講 義C 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○	
マ 教養テーマ講義D 2	
中京大学を知る2〇〇〇〇〇〇〇〇	
3 0015 (-1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -	割認定可
基 人門でミ(アカテミック・人キル人) 2 ◎	
English for Practical Communication 2 0	
English for Discussion and Presentation 2 0	
英 English for Academic Purposes 2 〇 語 Integrated Academic Skills I 2	
語 Integrated Academic Skills I 2	
Overseas University Studies 12	
フランス語 IA 2 O	
フランス語 IB 2 O	
フランス語 IA 2 ○	
フランス語IB 2	
フ ラ ン ス 語 NA 2	
フランス語 NB 2	
フランス語 VA 2	
フランス語 VB 2 O IF イッ語 IA 2 O IF イッ語 IA 2 O IF イッ語 IA 2 O IF IA 2 O IF IA 2 O O O O O O O O O	
世 ド イ ツ 語 IB 2	
学 F イ ツ 語 IA 2 O	
部 学 の ド イ ツ 語 IB 2 O	
部学の ドイツ 語 IB 2 ○	
部学の	
部 学 の	
部 学 の	言語IA:
部 学 の	$\cdot \mathbb{I} A \cdot \mathbb{I} E$
部 学 の	
部 学 の	$\cdot \mathbb{I} A \cdot \mathbb{I} E$
部 学 の	$\cdot \mathbb{I} A \cdot \mathbb{I} E$
部 学 の	$\cdot \mathbb{I} A \cdot \mathbb{I} E$
部 学 の	$\cdot \mathbb{I} A \cdot \mathbb{I} E$
部 学 の	$\cdot \mathbb{I} A \cdot \mathbb{I} E$
部 学 が	$\cdot \mathbb{I} A \cdot \mathbb{I} E$
部 学 部 古 共	$\cdot \mathbb{I} A \cdot \mathbb{I} E$
部 学 部 古 共	$\cdot \mathbb{I} A \cdot \mathbb{I} E$
部 学 の	$\cdot \mathbb{I} A \cdot \mathbb{I} E$
部 学 が	$\cdot \mathbb{I} A \cdot \mathbb{I} E$
部 学 部 共 語 IB 2	$\cdot \mathbb{I} A \cdot \mathbb{I} E$
部 世	$\cdot \mathbb{I} A \cdot \mathbb{I} E$
# 部	$\cdot \mathbb{I} A \cdot \mathbb{I} E$
部 世	$\cdot \mathbb{I} A \cdot \mathbb{I} E$
部 学 部 共 通	$\cdot \mathbb{I} A \cdot \mathbb{I} E$

□ シ ア		- 1			_									- 1								_
□ シ ア 第 四月 2 □ ○ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	- 1								0											_		
□ シア 恵 M 2 □ ○ ○ □ □ □ □ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □								0			\perp						芸術から学ぶ宗教文化	4		0		L
□ シア 京 明 2 □ □ □ □ □ □ 特別 2 □ □ □ □ □ □ 特別 2 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				コ シ ア 語 IB	2				0								ポピュラー文化から学ぶメディア文化	4		0		L
# 1				コ シ ア 語 IIA	2					0						英	英語の文構造	4	0			
1				コ シ ア 語 IIB	2											語	英語の歴史	4	0			Ī
1		100	ŀ			П	П	\Box	\dashv	_	\top				車			4	$\overline{}$	П		ľ
Part		#	5⊢						\dashv	-		\vdash			1	122			Ť			ŀ
# 전 9 U 7 명 1A 2			-⊢						-	-	+	+			修	내하는						
### 1 2 9 1 7 점 1 1 2		l,		_ , , ,	_		\vdash	\vdash	\rightarrow	_	+	\vdash			科	13.7			+	_		ŀ
### 19 1		12	ᆘ	, ,, ,,					-	(7	_				月			1	\circ		ļ
### 2 9 9 7 週 10 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		ΙΞ	ıL		2											英	イギリス文学・文化研究(書物の形式と言語文化)	4	0			
# 2 9 7 第 節]/	イタリア語IB	2				0							證	アメリカ文学・文化研究(物語と映像メディア)	4		0		
中央		話	1	イタリア語 IA	2			0								9	英語圏の世界文学・文化研究	4	0			ĺ
中華 田 新 1 A 2 1	ı	ı	t	イタリア語 TB	2				\circ		\top					寧		4				ŀ
整数			\vdash	. , , , , , , , , , , , , , ,		\vdash			$\overline{}$	+	+	+				Ŀ				\vdash		ŀ
韓 回 近 旧 2			_					\Box		_	+	\vdash				1:01			10			ŀ
日本語 10 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			- 1		_				\circ	_	_	_				16			_	\circ		ļ
日 本 語 I B 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			- 10														言語学演習[(理論言語学)	4			0	ļ
田 本 語 I B 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		L	ţ	韓 国 語 IB	2				0							訚	言語学演習1(比較統語論)	4			0	l
日本 第1月2 日 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			E	∃ 本 語 I A	2	0	0		0	0 0						==	言語学演習[(統語と音韻の境界領域)]	4			0	
日本 第1日2 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	İ		E	∃ 本 語 IB	2	0	0	0	0	0 0		0		1		譜	言語学演習1(理論言語学)	4				Ì
日本第日8200000円			\vdash			-	-	\vdash	\rightarrow	-	_	+				学		4				ŀ
世 本 第 旧2 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			_		-	-	-	\vdash	\rightarrow	-	$\overline{}$	_							+			۱
日本第日に2000日本版目2000日			-		_	-	-		\rightarrow	-	_	+				H			+	H		ŀ
展	+	Н	\vdash			-	_		-			+-				異			+			ŀ
日 本 第 即 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	l.				_	-	-	\vdash	\rightarrow	-	_	-				₩			\perp	\Box		ļ
本	才	뷔	LE	<u></u> 善	2	0	0		\circ	0		0				^	異文化コミュニケーション演習(社会言語学)	4	\perp		0	l
本 第 IN 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0	a		E	本 語 IIB	2	0	0	0	0	0	0	0				1Ľ	異文化コミュニケーション演習(西洋精神文化論)	4	T		0	ſ
日 本 第 59 日 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○						0	0		0	010	010	-				j⊐ľ			\top			ľ
田 本 語 MB 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Ī	≣			_	-	_	-	-		-	+-				=			\top		-	f
日本	=	<u> </u>				-			-+			+-				1	7 0 112		+	\vdash		ŀ
日本 語 VA 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			_			-			-			+ -				ᆣ			+	\vdash	\cup	ŀ
日本語 VB 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	-	プ				-	-	-	\rightarrow		-	-				=			+		H	ļ
日 本 語 VC 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Г	٦l	- 100			0	0		0	0 0		0				ケ	異文化コミュニケーション演習11(比較文学論)	4				L
大学生のための日本部IA			E	∃ 本 語 VB	2	\circ	0		0	0 0						ا ، ا	異文化コミュニケーション演習1(社会言語学)	4				l
日 大学生のため回本語四A 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	-	기	E	∃ 本 語 VC	2	0	0		0	0						[異文化コミュニケーション演習『(西洋精神文化論)	4				
□ 大学生のための日本部旧 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 本 大学生のための日本部旧 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	=	5l_	.F	大学生のための日本語IA	1	0		0		0						~[異文化コミュニケーション演習Ⅱ(多文化共生論)	4				ſ
本 大学生のための日本部4 1	١,	=	归	大学生のための日本語IIA	1	\cap				0				- 1		∃	異文化コミュニケーション演習((比較文化論)	4				Ì
B 大学生のための日本部N A 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1	ᅬォ			1	-		\vdash	\rightarrow	-	_	t			ゼ	l 🗸 , F		4				r
1		- 1 '	1		1	-	\vdash	\vdash	\rightarrow	-	_	\vdash				\rightarrow			+			ŀ
科 大学生のための日本語回路 1		語	⋾⊢		1			\vdash	-	_	_	1			=	احسا			+		_	ŀ
大学生のための日本語 日		私	11 -		1				\rightarrow	_	_	-		子		ᆵᅭᅡ			+			ŀ
日 大学生のための日本部間 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0			닏		-		-		\rightarrow	-	$\overline{}$	-		!!! 博	Į.	學.			_			ļ
勝金 日本 語 I A 2 0 0 0 0 186日本語 I B 2 0 0 0 0 186日本語 I B 2 0 0 0 0 186日本語 I B 2 0 0 0 0 186日本語 I B 2 0 0 0 0 186日本語 I B 2 0 0 0 0 0 186日本語 I B 2 0 0 0 0 0 186日本語 I B 2 0 0 0 0 0 186日本語 I B 2 0 0 0 0 0 186日本語 I B 2 0 0 0 0 0 186日本語 I B 2 0 0 0 0 0 186日本語 I B 2 0 0 0 0 0 186日本語 I B 2 0 0 0 0 0 0 186日本語 I B 2 0 0 0 0 0 0 186日本語 I B 2 0 0 0 0 0 0 186日本事 情 I B 2 0 0 0 0 0 0 0 186日本語 I B 2 0 0 0 0 0 0 0 186日本語 I B 2 0 0 0 0 0 0 0 186日本語 I B 2 0 0 0 0 0 0 0 186日本事 I B 2 0 0 0 0 0 0 0 0 186日本事 f I B 2 0 0 0 0 0 0 0 0 186日本事 f I B 2 0 0 0 0 0 0 0 0 186日本事 f I B 2 0 0 0 0 0 0 0 0 186日本事 f I B 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		ΙE	1/2	大学生のための日本語IIB	1		0		0			0						4			0	L
総合日本語 IA 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		至	<u> </u>	大学生のための日本語IVB	1		0		0					ᆌᅜ	ζ		英語学·英語教育演習II(英語科教育学)	4				
総合日本語 IC 2 0 0 0 18 16 10 12 2 2 2 2 3 4 3 2 2 3 4 3 2 2 3 4 3 2 2 3 4 3 2 2 3 4 3 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 2 2 3 2 3 2 2 3 3 2 2 3 3 2 2 3 3 2 2 3 3 2 2 3 3 2 2 3 3 2 3 2 2 3 3 2 2 3 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 3 2 3 3 2 3 3 2 3		1	1	総合日本語 IA	2	0		0		0			¬+≅ĭ∧.	51秒	1	翦	英語学・英語教育演習Ⅱ(英語の文構造)	4				Γ
総合日本語 IB 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			- 10		_				\neg	0			TOLER	- I .		3 X		4				r
総合日本語 II 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0			- 10		_	1			-	_				뷔트	1			4				ŀ
総合日本語 IIC 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			- 10		-		-		\rightarrow	-	_	+		al		\vdash						L
総合 日本語 IIC 2 ○ ○ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			- 100				$\overline{}$		\rightarrow	-	_	\vdash	CUDIOTEM	-		I F			+			ŀ
総合日本語 IB 2 0 0 0 0 0 0 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			- 10		_	-	\vdash	\vdash	\rightarrow	_	_	\vdash							+		_	ŀ
Re			- 100			\cup		\cup	-	_		-				語.			_			Ļ
日 本 事 情 I A 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0					_		-	Ш	\rightarrow	_											_	Ļ
日本事情 IB 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					2		0		0			0	7] OIPINA					4			0	L
日本事情 IB 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			E	∃ 本 事 情 I A	2	0		0		0						文	英語画文学·文化漢智(North American Literature in Context)	4			0	
日本事情ⅡA2000000000000000000000000000000000000			\vdash				0	\Box	\rightarrow	-	_	0				iΓ		4				ſ
日本事情ⅡB2000000000000000000000000000000000000										0								4				ŀ
日本事情 II			\vdash			Н		Н	\rightarrow	-	\rightarrow								+	\vdash		ŀ
日本事情 I B 2			-				\vdash		\rightarrow	-	_	\vdash				ا ا			+			ŀ
ビジネス日本語 2						\cup		\square	\rightarrow	-	_	1							+		H	ŀ
ビジネス日本語						\vdash	\cup	\sqcup	\cup	-	\rightarrow	10							+	\vdash	\vdash	ļ
専変						Ш		Ш			_					\vdash	7 0000 13 7 12 2 10 1				$oxed{oxed}$	L
審議		\perp									10	L				П	言語_獲_得	4			0	l
 2 変 英 語 圏 文 学 概 論 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	卓	早篇			2	0		ıŢ	T		1										0	ĺ
一方 一方 一方 一方 一方 一方 一方 一方		Z S						\Box	\neg	\neg	\neg											ſ
専 理論言語学入門2	6	對英	Į į	英語 学 概 論		-		\vdash	\dashv	\dashv	\top					1 1			\top	П	\cap	ŀ
専 国	木F	뷞	計			-	\vdash	\vdash	\dashv	+	+								+		Ť	ŀ
Introduction to Linguistics 2 日本	\vdash		12	人			\vdash	\vdash	\dashv	+	+	\vdash				⇒	Current Topics in Linguistics		+	\vdash		ŀ
Introduction to Theory of Culture 2 ○ 日本	i	뷔턂				Н	\vdash	$ \cup $	$\overline{}$	\perp	+	-					ounent ropics in Linguistics	4	+	\vdash	\cup	ŀ
Special ropics in Linguistics 2 コニュニケーション論概論 2 コニュニケーション論概論 2 コニュニケーション論概論 2 コニュニケーション論概論 2 コニュニケーション論概論 2 コニュニケーション論概論 2 コニュケーション論概論 4 コニュケーション特殊講義 2 田間 Wistron in Froting Toma and Petry 2 コニュケーション特殊講義 2 コニュケーション特殊講義 2 コニュケーション特殊講義 2 コニュケーション特殊講義 2 コニケーション特殊講義 2 コニケーション特殊講義 2 コニケーション特殊講義 2 コニケーション特殊講義 2 コニューケーション特殊講義 2 コニューケーション特殊講義 2 コニューケーション特殊講義 2 コニューケーションが表講義 2 コニューケーションが表述 2 コニューケーションが表述 2 コニューケーションが表述 2 コニューケーションが表述 2 コニューケーションが表述 2 コニューケーションが表述 2 コニューケーションが表述 2 コニューケーションが表述 2 コニューケーションが表述 2 コニューケーションが表述 2 コニューケーションが表述 2 コニューケーションが表述 2 コニューケーションが表述 2 コニューケーションが表述 2 コニューケーションが表述 2 コニューケーションが表述 2 コニューケーションが表述 3 2 コニューケーションが表述 3 3 4 コニューケーションが表述	化	刨				Ш		Ш	\bigcirc		\perp								\perp		lacksquare	ļ
で	ı	- 1									\perp	\perp							\perp		0	L
では	占	E 2	5 =	コミュニケーション論概論	2				0	\top	\top						ヨーロッパ文化研究	4	I		0	ĺ
一型	R	- 京							\neg	\neg	\neg								1		0	Γ
Mindestanding Fiction, Drama and Poetry 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		200				Н	\vdash	H		+	+	<u> </u>			禕	ハベ			+		_	r
Workshouling Film and Popular Culture 2 1 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3	Ŧ.					Н	\vdash	$\vdash\vdash$	\rightarrow	+	+	\vdash			1 1				+	\vdash	_	ŀ
漢 (Understanding Him and Popular Culture) 2 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1		. 15				Н	\vdash		\cup	\perp	+	-			択				+	\vdash		ŀ
Total Caling U Ju Fr 領域 4		日春	§ U			Ш	\Box	\vdash	_	\perp	1	_							1	Ш	\circ	ļ
B			<u> </u>	統語と音韻の境界領域	4	L1	L Ì		[╧	L			1	ᆕ			\perp	L Ì	LÌ	ĺ
専		- 1	Ī	北 較 統 語 論	4			0	\neg	\top					目				T			ſ
Workshop in Linguistic Research 4	₫	間語	÷⊢			П		H	\cap	\dashv	\top								\top			ľ
Bedal Topics in Intervalual Communication 2 0 1 2 1 2 1 2 3 3 4 3 3 4 3 3 4 3 3						\vdash	\vdash	\vdash	\rightarrow	+	+					삵	<u> ハ ハ カ ツ </u>	4	+			ŀ
科当文学から学ぶ言語文化 4 ○ 日 多文化共生から学ぶ宗教文化 4 ○ 映画から学ぶメディア文化 4 ○ Glocal Studies in Japan 4 ○ 英	偱	計	11/	vorkation iii Filieniatic UE2Eqicii 国語供図れた出来を手持ち	4	\vdash	H	\vdash	\Box	+	+	+							+			ŀ
B 多文化共生から学ぶ宗教文化 4 ○	Ŧ	劉				\vdash	\vdash	-	-	\perp	+	-				\vdash			+			ŀ
映画から学ぶメディア文化 4 ○ 学実用英語運用法 4 ○ 英語の通訳 I 2 ○ 英語の翻訳 I 2 ○			# I			Ш		-		\perp	\perp								\perp	\Box	_	L
映画から字がメティア文化 4 0	E	3 <u>\$</u>		多文化共生から学ぶ宗教文化	4	L]	L Ì	Lo[ſ	¯	⊥ ¯	L					教育文法論	4	⊥	L 1		ĺ
Glocal Studies in Japan 4		12						0	\Box	\neg	\top								T		0	Γ
		1411				Н		H	\cap	\dashv	\top					i • t			\top		_	r
	1	1	L	sa. stadios in oupdit				ш	<u> </u>				1						+		_	H
														- 1		即			+	\vdash	-	ŀ

教務センター

																			,
			英	Cha	ang	es	in	Engl	ish	4						0		0	
			學	認失	言	語学	26	英語教	育	4						0		0	
			英	英	語	の) 追	1 訳	Π	2						0		0]
			語学·英語教	英	語	の	番	別訳	Π	2						0		0]
			眷	Speci	al Top	ics in	Engli	sh Lingu	istics	2					0	0	0	0]
				Мe	di	а	Lit	era	СУ	4						0		0]
	専	選	英	Pro	fes	sio	nal	Engl	ish	4					0		0		1
学	妆	択	語	職弟	اح≸	して	の;	文学教	対育	4						0		0	1
部	1			lСп	rre	e n 1	t T	opi	СS	4					0		0]
固	科	科	圏	Eng	lish	Proj	ect	Works	hop	4						0		0	1
	目	目	文	英語	交圈	学:	文化	_特殊	講義	2					0	0	0	0	1
有			学	Literatu	re and N	ledia for	r Childre	and Young	Adults	4					0		0]
科			ľ	映			画		論	4						0		0]
			Ŀ	市	民	権	の :	文 化	史	4					0		0]
ľ			文	都下	方文	化	デサ	ザイン	/論	4					0		0]
			化	クリ	ティ	カル	· IJ-	ーディ	ング	4						0		0]
				Special	Topics	in Engl	lish Lite	rature and	Culture	2					0	0	0	0	
		闡		海	外	留			目	12			0	0	0	0	0	0	分割認定可
		関連科目		海	外	セ			_	2	0	0	0	0	0	0	0		
		科						ンシ		2			0	0	0	0	0	0	
		日						ンシュ		2			0	0	0	0	0	0	
				教		育		京	論	2]
				学	習	٠			論	2									
							亅度	と経		2									
	孝	夊		教		職		λ	門	2]
	耶	骮		教	育		課	程	論	2				•					
	L:	_						論と身		2					•				中学校のみ
								の 方	法	1						•			
	B	月		-	的な			間の指		1						•]
	9	ŧ		教	育		方	法	論	1					•]
	7	3						うの記		1					•				
				特	別	支	援		育	1					•				
	木	4						導の		2				_			•]
	E	1						ングを記		2						•			
								(中・	高)	2									
				教	育		実	習	I	5									
				教	育		実	習	Π	3									高等学校のみ

(付表) 履修制限単位に関する表

学 年	1年	F次	2年	F次	3年	下次	4年	次
学 期	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
セメスター	1	2	3	4	5	6	7	8
1 学期間に履修できる 単位数の限度	24	24	24	24	24	24	24	24

時間割を組み立てるフォーマットです。科目名と単位を記入し、各自で時間割を作成してください。

1年生

時限	曜日	月	火	水	木	金
	春	()単 [,]	位 ()単位	()単位	()単位	()単位
1限	秋	()単	位 ()単位	()単位	()単位	()単位
	春	()単			()単位	()単位
2限	秋	()单			()単位	()単位
	春					
3限	秋	()単			()単位	()単位
	春	()単	位 ()単位	()単位	()単位	()単位
4限		()単	位 ()単位	()単位	()単位	()単位
	秋	()単	位 ()単位	()単位	()単位	()単位
5限	春	()単	位 ()単位	()単位	()単位	()単位
	秋	()单·	位 ()単位	()単位	()単位	()単位

	① 半期科目の単位	② 通年科目の単位 ÷ 2	① + ② 履修合計	履修制限 単位	※履修制限単位に 含まない科目の単位
春	単位	単位	単位	単位	単位
秋	単位	単位	単位	単位	単位

2年生

時限	曜日	月		火		水		木		金	
178	春	()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
1限	秋	()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	春	()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
2限	秋	()単位)単位	()単位	()単位
	春	()単位)単位	()単位)単位)単位
3限	秋	()単位)単位	()単位)単位)単位
	春	()単位)単位	()単位)単位)単位
4限	秋	()単位)単位	()単位	()単位)単位
	春	()単位)単位	()単位	(
5限	秋	()単位)単位	()単位)単位)単位

	① 半期科目の単位	② 通年科目の単位 ÷ 2	① + ② 履修合計	履修制限 単位	※履修制限単位に 含まない科目の単位
春	単位	単位	単位	単位	単位
秋	単位	単位	単位	単位	単位

教務センター

23

3年生

時限	曜日	月	火	水	木	金
178	春	()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
1限	秋	()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	春	()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
2限	秋	()単位		()単位		()単位
	春	()単位		()単位		
3限	秋	()単位		()単位		()単位
	春	()単位		()単位		()単位
4限	秋	()単位		()単位		
	春	()単位		()単位		
5限	秋	()単位		()単位		

	① 半期科目の単位	② 通年科目の単位 ÷ 2	① + ② 履修合計	履修制限 単位	※履修制限単位に 含まない科目の単位
春	単位	単位	単位	単位	単位
秋	単位	単位	単位	単位	単位

4年生

時限	曜日	月		火		水		木	金
1限	春	()単位	()単位	()単位	()単位	〔 ()単位
1 PAX	秋	()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
2限	春	()単位	()単位	()単位	()単位	[()単位
	秋	()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
3限	春	()単位	()単位	()単位	()単位	[()単位
Opk	秋	()単位	()単位	()単位	()単位	[()単位
4限	春	()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
PJX	秋	()単位	()単位	()単位	()単位	[()単位
5限	春	()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
ZIPIX	秋	()単位	()単位	()単位	()単位	()単位

	① 半期科目の単位	② 通年科目の単位 ÷ 2	① + ② 履修合計	履修制限 単位	※履修制限単位に 含まない科目の単位
春	単位	単位	単位	単位	単位
秋	単位	単位	単位	単位	単位

CHUKYO UNIVERSITY